

令和4年度市場検証(中間報告)

【電気通信事業分野における市場動向の分析】

令和5年4月24日
事務局

○ 電気通信事業分野における市場動向の分析

- ① 移動系通信市場を巡る市場環境の変化の影響(重点的検証項目)
- ② ローカル5G事業における実態の把握(重点的検証項目)
- ③ 移動系通信市場
- ④ 固定系通信市場
- ⑤ 法人向けサービスの実態把握

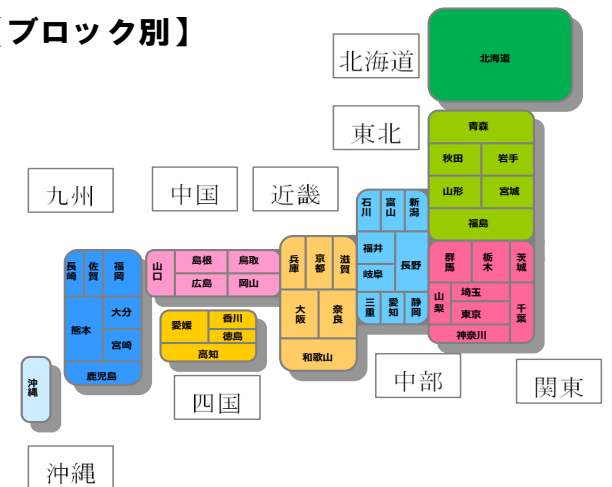
(参考資料)

- ・利用者アンケート(移動系・固定系)について
- ・事業者アンケートについて
- ・法人向けサービスのユーザ企業等アンケートについて

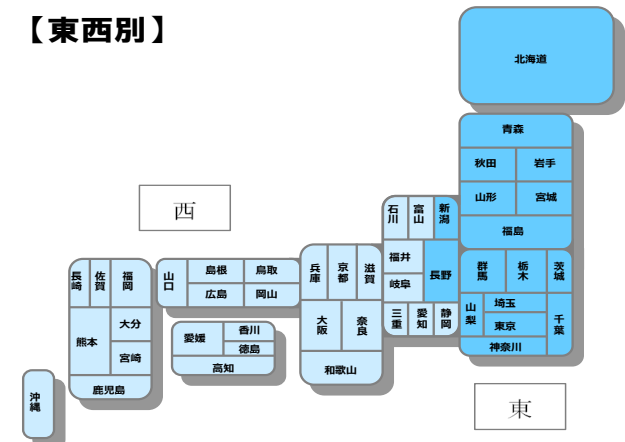
- 「電気通信事業分野における市場検証に関する基本方針」(令和3年12月17日)において定められている電気通信事業分野における検証対象市場(サービス範囲及び地理的範囲)は以下のとおり。
- なお、このほか、前記基本方針においては、電気通信事業分野における市場動向の分析として、法人向けサービスの実態把握等を実施することとしている。

		サービス範囲	地理的範囲		
移動系通信	小売市場	移動系通信市場	全国		
		<table border="1"> <tr><td>携帯電話向け通信サービス市場</td></tr> <tr><td>通信モジュール市場</td></tr> </table>		携帯電話向け通信サービス市場	通信モジュール市場
	携帯電話向け通信サービス市場				
	通信モジュール市場				
卸売市場	移動系通信市場				
	<table border="1"> <tr><td>携帯電話向け通信サービス市場</td></tr> <tr><td>通信モジュール市場</td></tr> </table>	携帯電話向け通信サービス市場	通信モジュール市場		
携帯電話向け通信サービス市場					
通信モジュール市場					
固定系通信	データ通信	固定系ブロードバンド市場	ブロック別		
		<table border="1"> <tr><td>固定系超高速ブロードバンド市場</td></tr> <tr><td>FTTH 市場</td></tr> </table>		固定系超高速ブロードバンド市場	FTTH 市場
		固定系超高速ブロードバンド市場			
	FTTH 市場				
	ISP 市場				
卸売市場	FTTH 市場	ブロック別			
	<table border="1"> <tr><td>固定電話市場</td></tr> <tr><td>050-IP 電話市場</td></tr> </table>	固定電話市場	050-IP 電話市場	東西 全国	
固定電話市場					
050-IP 電話市場					

【ブロック別】



【東西別】



固定系通信市場

移動系通信市場

NTT東西
(光サービスシェア**63.3%**)
(回線シェア**71.8%**)

ネットワークの貸出し

CATV* (光サービスシェア**7.4%**)
※ 収益の50%超が通信事業

電力系事業者 (光サービスシェア**8.5%**)

KDDIグループ (光サービスシェア**11.2%**)

ドコモ光

ネットワークの貸出し

ソフトバンク光

楽天ひかり

NTTドコモ
(シェア**36.3%**)

KDDIグループ
(シェア**27.1%**)

ソフトバンク
(シェア**21.1%**)

楽天モバイル
(シェア**2.4%**)

ネットワークの貸出し

MVNO (シェア**13.0%**)

注: 数値は令和4年3月末時点
注: 移動通信市場におけるシェアについて、MVNOへの提供に係るものを含めたMNO4グループのシェアは、以下のとおり。
NTTドコモ41.7%、KDDIグループ30.5%、ソフトバンク25.4%、楽天モバイル2.4%

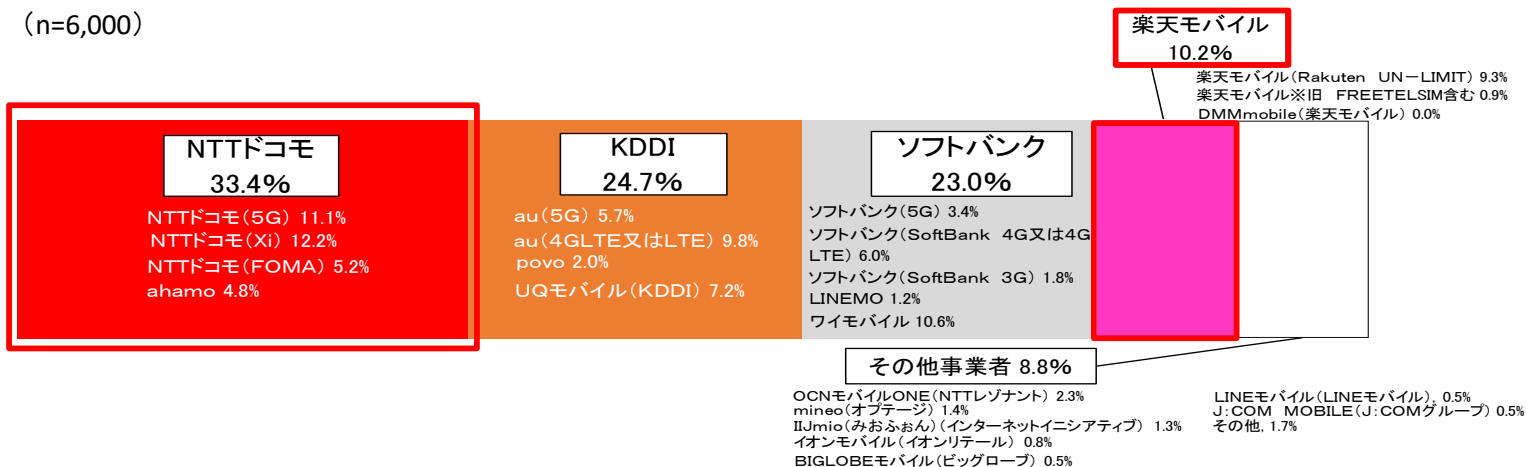
※ 楽天モバイルのシェアは、MNOとしてのシェア。
※ **MVNO** (**M**obile **V**irtual **N**etwork **O**perator):
電波の割当てを受けてサービスを提供する電気通信事業者から無線ネットワークを借りて、移動通信サービスを提供する電気通信事業者。

**① 移動系通信市場を巡る市場環境の変化の影響
（重点的検証項目）**

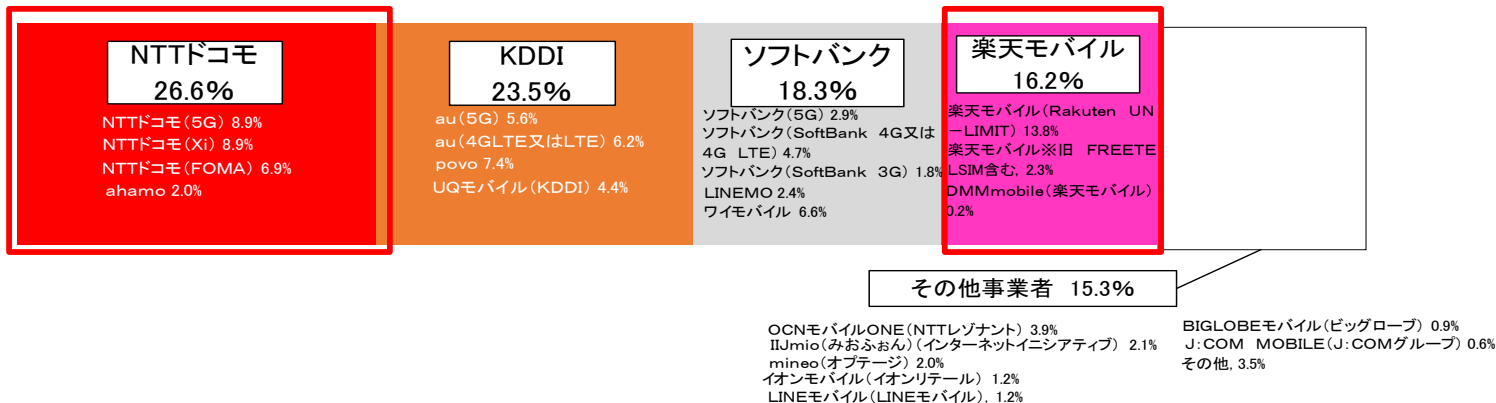
- 令和3年2月以降、携帯電話事業者各社が従来に比べて低廉な新しい料金プランの提供を開始したこと、令和4年度には、楽天モバイルが料金プランの変更を行ったことのほか、MNOによる通信事故が断続的に発生したことで、利用者の認識に変化がおき、移動系通信市場を巡る市場環境に一定程度変化が生じている可能性がある。
- 楽天モバイルはMNOとして参入して以降、携帯電話向け通信サービスのシェアを緩やかに伸ばしていたものの、令和4年度における料金プランの変更時期を境に、シェアの伸びが微減している。NTTドコモ、KDDIがシェアを緩やかに減少させている一方、ソフトバンク・MVNOはシェアを伸ばしている。また、利用者の動向を分析すると、利用期間2年未満の利用者が3割程度である。利用期間が短い利用者の動向を分析すると、同一事業者又はグループ内事業者が提供する低廉なプランへ変更する利用者が多い。
- サブ回線の利用者のうち、3割以上は、利用期間が1年未満*の利用者であり、通信事故が発生した時期(令和3年9月)以降に、サブ回線の利用を始めた利用者が一定数いることが窺える。また、複数回線を利用する理由を分析すると、「通信障害に備えるため」とした利用者が、利用期間が1年未満の利用者では15%程度と若干上昇の傾向にある。 ※アンケート実施時期は令和4年12月27日
- 5Gの契約数は伸び続けており、利用者の5Gサービスへの切り替え意向について分析すると、「既に5Gサービスを利用開始した」と回答した者は、昨年度(17.8%)より大幅に増加し、31.8%となっている。法人ユーザ企業等の5G導入時期を分析すると、令和4年度からの導入が46.3%となっており、利用者・法人ユーザ企業等の双方で、活用が進んでいることが窺える。
- 近年、提供数が増えていると考えられる、ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)の利用者は、大都市圏に居住している割合が高く、戸建て(持ち家)又は集合住宅(賃貸)の利用者が全体の8割程度を占め高い傾向にある。また、ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)を選択した理由として、「工事が不要だった」が35.0%と最も高い。
- 移動系通信を固定系通信の代替として捉えている利用者は、大都市圏に居住している割合が高い。また、利用用途としては「インターネット検索」「メール・メッセージ」の割合が高く、「仕事・業務(テレワーク含む)」「オンライン会議(授業・講義)」の割合が低い。
- 円安・物価高騰による携帯電話サービスや固定インターネットサービスの契約に係る影響を分析すると、特に契約を変更しなかった利用者が80%以上を占めた。また、利用者の認識については、「以前よりもサービス料金への興味・関心が高まった」との回答が最も多く、円安・物価高騰は、利用者の実際の契約切替にまで大きく影響しているものではないが、利用者の料金への意識を高めることにつながっていることが窺える。

- 現在利用している携帯電話サービス(メイン端末・サブ端末)の回答は以下のとおり。メイン端末、サブ端末ともNTTドコモが最多であり、サブ端末については、楽天モバイルの割合がメイン端末に比べて大きい。

メイン端末 (n=6,000)



サブ端末 (n=720)



- 10年以上同一の事業者の携帯電話サービスをメイン回線として継続して利用している者が4割程度となっている。一方、3分の1程度の者は、2年未満の継続利用年数となっており、「比較的頻繁に事業者を変更する利用者」と「長期間同一の事業者のサービスを継続する利用者」との分化がなされていることがうかがえる。
- 一方で、複数の携帯電話サービスを利用している者におけるサブ回線についてみると、2年未満の継続利用年数となっている者が45%超となっており、新たにサービスを利用し始めた場合又はサービスを切り替えてから間もない場合が多いことがうかがえる。

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
該当数を除き、単位：%									
全体		6000	16.2	14.1	9.8	10.5	6.2	4.6	38.7
現在利用しているサービス（メイン端末）	NTTドコモ	1713	4.0	3.7	4.1	7.1	3.3	5.4	72.4
	ahamo	289	34.6	34.6	10.0	3.1	1.7	1.7	14.2
	au	929	6.6	5.0	5.1	8.9	6.0	6.6	61.9
	povo	120	44.2	38.3	6.7	4.2	0.8	0.0	5.8
	ソフトバンク	673	8.6	3.6	6.8	11.1	6.8	6.4	56.6
	LINEMO	70	45.7	34.3	7.1	8.6	2.9	0.0	1.4
	楽天モバイル(MNO)	556	21.4	37.6	24.3	10.6	4.0	1.3	0.9
	ワイモバイル	634	24.9	23.8	14.8	19.6	9.1	3.3	4.4
	UQモバイル	431	44.8	24.8	13.9	10.7	3.9	0.7	1.2
その他MVNO	585	21.7	12.6	16.1	17.6	18.1	7.7	6.2	

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
該当数を除き、単位：%									
全体		720	30.3	15.6	10.8	10.8	6.5	2.8	23.2
現在利用しているサービス（サブ端末）	NTTドコモ	164	15.2	6.7	7.9	12.2	6.7	2.4	48.8
	ahamo	13	46.2	15.4	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7
	au	78	16.7	7.7	6.4	11.5	7.7	3.8	46.2
	povo	49	75.5	14.3	6.1	4.1	0.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	62	21.0	12.9	8.1	9.7	4.8	6.5	37.1
	LINEMO	16	62.5	12.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル(MNO)	92	26.1	39.1	25.0	6.5	1.1	1.1	1.1
	ワイモバイル	44	25.0	18.2	9.1	11.4	15.9	2.3	18.2
	UQモバイル	29	55.2	20.7	6.9	10.3	3.4	0.0	3.4
その他MVNO	173	36.4	15.0	10.4	13.9	10.4	4.0	9.8	

- メイン回線・サブ回線ごとに、現在利用している携帯電話サービスの継続利用期間が3年未満の利用者に対して、以前利用していた携帯電話サービスについて確認した。
- メイン回線については、NTTドコモからahamoに、auからpovo・UQモバイルに、ソフトバンクからワイモバイル・LINEMOといった、同一事業者又はグループ内の事業者が提供する低廉なプランへ変更した利用者が多くなっている。楽天モバイルからはpovo、LINEMO、IIJmio、Biglobe・mineoに変更した利用者が多くなっている。また、NTTドコモ、au及びソフトバンクの間での変更も、比較的多くみられる。

該当数を除き、単位：%

		以前利用していた携帯電話サービス(メイン)																						
		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(MNO)	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	mineo(オプテージ)	LINEMOモバイル	楽天モバイル(MVNO)	その他	わからない/覚えていない	現在利用している携帯電話サービスが初めて	
	全体	2402	20.5	1.4	22.5	0.7	19.2	0.4	5.0	4.7	3.6	0.5	0.7	0.7	0.3	0.7	0.2	1.0	1.3	1.0	7.2	2.1	1.5	4.7
現在利用している携帯電話サービス(メイン)	NTTドコモ	202	55.9	1.5	10.9	0.0	9.4	0.0	2.5	2.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.5	3.5	10.9
	ahamo	229	63.3	0.0	8.7	1.3	7.4	0.4	4.8	3.9	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.4	0.0	1.3	1.3	1.3	0.9	2.2
	au	154	11.7	0.6	48.7	0.6	13.0	0.0	1.9	1.9	5.2	0.0	1.3	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.2	8.4
	povo	107	0.0	1.9	66.4	0.0	1.9	0.0	15.0	2.8	4.7	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.9	0.0	1.9
	ソフトバンク	128	8.6	3.1	10.2	0.0	46.1	0.8	3.1	13.3	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	7.8
	LINEMO	61	3.3	6.6	4.9	0.0	41.0	0.0	21.3	1.6	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.6	0.0	1.6	0.0	3.3
	楽天モバイル(MNO)	463	14.3	1.7	13.2	1.1	9.9	0.6	0.0	5.4	4.5	1.3	1.5	1.3	0.4	2.2	0.0	1.3	2.8	2.2	29.8	0.9	0.9	4.8
	ワイモバイル	403	12.2	2.0	10.2	0.2	53.1	0.2	2.0	0.0	8.4	0.0	0.0	0.5	0.5	0.2	0.0	0.7	0.5	1.0	1.7	1.7	0.2	4.5
	UQモバイル	360	10.6	0.3	55.6	1.4	7.8	0.6	4.4	10.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	1.4	0.0	0.6	2.2	1.1	2.2
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	41	14.6	0.0	4.9	0.0	4.9	0.0	19.5	2.4	7.3	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	7.3	7.3	2.4	4.9	7.3	2.4	4.9
	イオンモバイル(イオンリテール)	25	28.0	0.0	12.0	0.0	8.0	0.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	4.0	4.0	4.0
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	85	17.6	1.2	10.6	0.0	11.8	0.0	5.9	4.7	4.7	3.5	2.4	0.0	0.0	2.4	1.2	7.1	7.1	1.2	7.1	2.4	4.7	4.7
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	14	28.6	7.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1
	DMMmobile(楽天モバイル)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
mineo(オプテージ)	24	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	8.3	8.3	4.2	
LINEMOモバイル	14	7.1	0.0	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	28.6	7.1	0.0	0.0	
楽天モバイル(MVNO)	23	26.1	0.0	13.0	0.0	13.0	0.0	34.8	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	63	14.3	0.0	7.9	1.6	11.1	1.6	20.6	3.2	1.6	4.8	1.6	0.0	0.0	3.2	1.6	1.6	1.6	0.0	4.8	12.7	1.6	4.8	

- 他方で、サブ回線については、「現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて」という回答が圧倒的に多く、NTTドコモ利用者、au利用者及びソフトバンク利用者については、自社のサービス内での変更(3Gから4G、4Gから5Gなど)も、比較的多くみられる。

該当数を除き、単位：%

該当数	以前利用していた携帯電話サービス(サブ端末)																				現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて				
	NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(MNO)	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグ)	mineo(オプテージ)	LINEMOモバイル	楽天モバイル(MVNO)	その他		わからない/覚えていない			
全体	777	11.5	1.4	10.2	0.9	7.1	0.8	9.1	2.6	2.3	0.6	0.5	0.8	0.3	0.5	0.0	0.6	0.9	0.5	5.8	3.3	6.7	33.6		
現在利用している携帯電話サービス(サブ端末)	NTTドコモ	82	51.2	6.1	1.2	1.2	0.0	6.1	2.4	2.4	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	3.7	12.2	
	ahamo	26	42.3	0.0	7.7	3.8	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	
	au	42	7.1	4.8	38.1	0.0	7.1	0.0	4.8	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	16.7	11.9	
	povo	88	2.3	1.1	12.5	0.0	1.1	0.0	27.3	2.3	2.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	2.3	0.0	3.4	3.4	4.5	4.5	35.2	
	ソフトバンク	53	7.5	0.0	7.5	1.9	37.7	0.0	3.8	5.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	7.5	7.5	24.5	
	LINEMO	18	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	16.7	38.9	
	楽天モバイル(MNO)	149	3.4	0.7	4.0	1.3	2.7	0.7	0.0	2.0	2.7	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	22.1	0.0	4.7	4.7	53.0	
	ワイモバイル	66	1.5	1.5	6.1	0.0	22.7	0.0	3.0	0.0	7.6	0.0	3.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	6.1	6.1	6.1	37.9	
	UQモバイル	46	6.5	0.0	37.0	0.0	4.3	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	4.3	4.3	28.3	
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3	17.4	
	イオンモバイル(イオンリテール)	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	38	7.9	0.0	10.5	0.0	2.6	0.0	15.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	5.3	0.0	2.6	5.3	0.0	5.3	0.0	44.7
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	DMMmobile(楽天モバイル)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグ)	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	
mineo(オプテージ)	15	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7	
LINEモバイル	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	
楽天モバイル(MVNO)	12	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	50.0	
その他	37	0.0	0.0	5.4	2.7	0.0	2.7	16.2	0.0	0.0	5.4	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	5.4	21.6	2.7	2.7	32.4		

- 現在利用契約している携帯電話サービスが仮に利用できなくなった場合、他のどの事業者のサービスに変更するかを確認した。
- メイン回線については、総じて、同一事業者が提供するブランドが変更先として回答される傾向にあり、同一事業者が提供するブランド間での代替性がより高くなっていることがうかがえる。また、楽天モバイルは、幅広い事業者のサービスについての代替先となっており、複数の事業者サービスとの間で一定程度の代替性が存在することがうかがえる。特にサブブランドからの変更率が高い。なお、NTTドコモ及び、au・ソフトバンクの間については、互いに主要な代替先となっていることがうかがえる。

		現在利用している携帯電話サービス(メイン)が利用できなくなった場合の変更先																		
		該当数	NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	mineo(オプテージ)	その他
全体		6000	7.5	12.7	5.6	6.1	7.8	3.6	18.4	9.6	9.8	1.5	1.4	4.0	1.7	1.3	0.4	1.1	1.7	5.8
現在利用している携帯電話サービス(メイン)	NTTドコモ	1713	0.0	30.8	10.2	1.5	10.7	0.8	18.6	4.0	3.5	0.9	1.3	5.6	2.1	1.0	0.5	1.2	0.9	6.3
	ahamo	289	39.8	0.0	2.8	12.8	2.1	4.5	17.3	7.3	3.5	0.0	0.3	2.4	0.7	0.7	0.7	1.0	1.7	2.4
	au	929	16.7	4.2	0.0	14.6	6.7	0.3	17.1	3.1	24.8	0.6	0.4	1.3	1.9	0.9	0.2	0.3	1.4	5.4
	povo	120	0.0	21.7	14.2	0.0	0.8	4.2	20.0	3.3	12.5	5.0	1.7	5.8	1.7	0.0	0.0	0.0	3.3	5.8
	ソフトバンク	673	13.5	3.9	3.9	1.2	0.0	7.4	20.4	37.4	3.4	0.7	0.9	1.6	1.3	0.6	0.1	0.4	0.4	2.7
	LINEMO	70	2.9	15.7	0.0	12.9	5.7	0.0	20.0	11.4	10.0	2.9	2.9	1.4	1.4	0.0	1.4	4.3	2.9	4.3
	楽天モバイル(MNO)	556	4.1	10.6	2.5	12.1	3.2	6.8	0.0	14.2	14.2	2.2	3.6	7.2	2.0	6.7	0.0	1.3	2.7	6.7
	ワイモバイル	634	3.6	2.4	3.8	2.4	26.5	7.1	27.3	0.0	16.7	0.8	1.4	1.1	1.1	0.3	0.2	0.9	1.1	3.3
	UQモバイル	431	3.5	3.9	13.9	10.7	3.0	3.7	22.5	20.2	0.0	0.9	1.2	3.0	1.6	1.6	0.7	0.9	3.7	4.9
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	75	1.3	6.7	1.3	4.0	1.3	2.7	13.3	1.3	6.7	0.0	6.7	21.3	2.7	1.3	1.3	8.0	6.7	13.3
	イオンモバイル(イオンリテール)	48	6.3	2.1	0.0	4.2	4.2	4.2	20.8	8.3	12.5	0.0	0.0	12.5	2.1	0.0	0.0	2.1	6.3	14.6
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	136	5.9	12.5	0.7	1.5	1.5	2.2	22.8	4.4	14.0	11.8	0.7	0.0	1.5	0.0	1.5	2.2	6.6	10.3
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	27	11.1	3.7	3.7	0.0	14.8	3.7	18.5	18.5	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8
	DMMmobile(楽天モバイル)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	31	3.2	9.7	3.2	3.2	0.0	0.0	12.9	16.1	12.9	9.7	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	12.9
mineo(オプテージ)	84	2.4	4.8	2.4	3.6	2.4	6.0	25.0	0.0	14.3	8.3	1.2	7.1	2.4	0.0	0.0	3.6	0.0	16.7	
LINEモバイル	29	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4	27.6	24.1	3.4	0.0	0.0	3.4	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	6.9	
楽天モバイル(MVNO)	53	5.7	7.5	1.9	0.0	0.0	5.7	45.3	1.9	13.2	0.0	0.0	5.7	3.8	1.9	0.0	1.9	0.0	5.7	
その他	100	6.0	2.0	4.0	10.0	2.0	5.0	20.0	4.0	4.0	7.0	3.0	9.0	1.0	1.0	0.0	1.0	2.0	19.0	

- 前頁のメイン回線についての結果は、サブ回線についても同様である。

		現在利用している携帯電話サービス(サブ)が利用できなくなった場合の変更先																		
		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(MNO)	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	mineo(オプテージ)	その他	
該当数																				
全体		1367	6.4	10.7	4.4	6.5	5.0	5.0	16.1	7.7	8.9	4.8	2.2	6.5	2.2	1.5	0.6	2.2	2.0	7.3
現在利用している携帯電話サービス(サブ)	NTTドコモ	310	0.0	29.4	10.6	1.3	7.1	3.2	13.5	4.2	3.5	1.3	1.0	10.0	1.3	1.3	1.0	1.9	2.3	7.1
	ahamo	30	46.7	0	4	7	3	5	14	1	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0
	au	142	10.6	2.1	0.0	13.4	5.6	2.1	14.1	3.5	22.5	2.8	2.8	1.4	2.1	3.5	2.1	0.7	1.4	9.2
	povo	93	0.0	11.8	5.4	0.0	2.2	4.3	18.3	0.0	9.7	9.7	3.2	14.0	2.2	0.0	0.0	2.2	5.4	11.8
	ソフトバンク	123	11.4	2.4	3.3	2.4	0.0	6.5	26.0	25.2	6.5	0.8	1.6	1.6	4.1	0.8	0.0	3.3	0.8	3.3
	LINEMO	23	0.0	13.0	0.0	21.7	4.3	0.0	4.3	21.7	8.7	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0
	楽天モバイル(MNO)	165	9.1	9.1	1.8	11.5	1.8	10.9	0.0	12.1	10.9	7.9	2.4	7.3	3.0	2.4	0.6	1.2	2.4	5.5
	ワイモバイル	108	5.6	2.8	0.9	2.8	12.0	8.3	33.3	0.0	16.7	0.0	2.8	2.8	2.8	0.9	0.0	0.0	0.9	7.4
	UQモバイル	62	6.5	1.6	4.8	4.8	0.0	3.2	30.6	17.7	0.0	1.6	3.2	6.5	3.2	3.2	0.0	4.8	3.2	4.8
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	35	0.0	5.7	2.9	14.3	5.7	2.9	5.7	5.7	11.4	0.0	5.7	20.0	2.9	0.0	0.0	5.7	5.7	5.7
	イオンモバイル(イオンリテール)	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	16.7
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	49	14.3	8.2	2.0	10.2	2.0	6.1	8.2	2.0	8.2	20.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	14.3
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	DMMmobile(楽天モバイル)	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	14	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0	7.1	14.3	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	
mineo(オプテージ)	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	45.5	0.0	4.5	36.4	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
LINEモバイル	14	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	21.4	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	
楽天モバイル(MVNO)	22	4.5	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	22.7	13.6	4.5	4.5	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	
その他	48	2.1	6.3	2.1	14.6	8.3	4.2	12.5	0.0	0.0	18.8	4.2	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	14.6	

- メイン回線及びサブ回線に係る変更先として回答した事業者の選択理由(最も当てはまるもの)については、いずれも総じて「月額料金が安い」が選択されている。
- NTTドコモ、au及びソフトバンクを選択した利用者においては、「通信品質が良い・速度が速い」、「利用可能エリアが広い」など、通信品質を重視した回答も一定程度みられた。なお、いずれの事業者を選択した者についても、「特に理由はない」という回答が一定程度みられたことに留意が必要である。

メインに係る変更先として回答したサービスの選択理由(最も当てはまるもの)

該当数	初期費用(手数料・端末価格等)が安い	月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	固定電話や固定インターネット回線、プロバイダ(IISP)などの通信サービスとの一括契約による割引サービスがある	家族割引サービスがある	その他割引サービスが充実している	キヤッシュバックが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	通信事業者のブランドイメージが良い	新たに利用したいと思っている端末が利用できるから	端末をそのまま使えるから	魅力的な付加サービス(オプション)がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	量販店やWebで手軽に購入・契約できる	解約の条件や手続きがわかりやすい	販売店や電話等で強く勧められた	特に理由はない	その他		
																								該当数を除き、単位:%	
全体	6000	2.2	31.8	5.0	4.9	2.5	2.9	1.2	1.1	5.4	4.7	2.0	3.3	1.0	3.5	1.2	4.9	1.2	1.3	1.5	0.8	0.6	15.9	1.6	
現在利用している携帯電話サービス(メイン)が利用できる携帯電話サービス(サブ)が利用できないようになった場合の変更先	NTTドコモ	451	0.7	5.1	1.8	3.1	2.7	4.9	0.4	0.7	16.2	14.4	8.9	6.7	2.0	4.4	0.4	2.9	0.9	2.0	1.3	0.9	0.0	18.6	1.1
	ahamo	760	2.2	27.4	5.4	5.4	1.1	2.1	1.2	0.7	8.4	10.0	1.8	6.3	1.1	4.1	1.3	3.3	0.5	0.9	1.6	0.8	0.7	13.3	0.5
	au	335	0.9	8.4	1.2	1.8	3.3	5.7	1.5	1.8	10.7	12.5	6.3	5.4	1.2	5.1	1.8	2.7	1.2	2.1	2.1	1.8	0.3	20.0	2.4
	povo	365	2.2	44.7	11.0	5.2	1.1	1.1	0.8	0.0	4.4	2.5	1.1	2.7	0.5	3.0	0.5	1.6	0.3	1.6	1.9	0.5	0.0	12.6	0.5
	ソフトバンク	469	1.7	11.3	3.2	3.4	4.7	7.0	1.7	2.3	6.2	3.8	2.8	5.1	0.6	3.2	2.6	6.6	2.1	2.8	0.6	0.9	0.9	23.2	3.2
	LINEMO	213	1.4	42.7	9.9	5.6	1.4	1.4	1.4	2.3	3.8	2.3	0.5	1.9	0.9	2.8	1.9	3.3	0.9	0.5	0.9	0.0	0.5	13.1	0.5
	楽天モバイル	1106	2.8	44.3	5.1	7.8	0.7	1.8	1.2	1.5	1.0	1.9	0.6	1.2	0.5	2.4	0.8	13.3	1.9	0.7	1.3	0.1	0.5	8.1	0.5
	ワイモバイル(ソフトバンク)	576	2.4	42.9	3.5	5.2	2.1	3.6	1.7	0.9	1.9	1.4	0.5	2.3	1.0	4.7	1.6	3.3	0.2	0.3	1.2	1.6	0.5	14.6	2.6
	UQモバイル(KDDI)	590	3.4	45.3	4.9	4.4	3.2	2.4	1.4	1.2	4.4	2.2	1.0	2.9	0.5	3.6	0.7	0.8	0.7	1.2	1.0	0.3	0.3	12.7	1.5
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	89	2.2	47.2	10.1	3.4	2.2	1.1	1.1	2.2	4.5	1.1	1.1	3.4	3.4	2.2	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	2.2	7.9	0.0
	イオンモバイル(イオンリテール)	84	3.6	36.9	2.4	6.0	0.0	2.4	1.2	0.0	2.4	2.4	0.0	1.2	3.6	3.6	2.4	4.8	1.2	1.2	3.6	1.2	1.2	17.9	1.2
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	239	2.5	41.0	6.7	2.5	2.9	0.4	0.8	0.4	7.1	5.0	0.4	2.9	0.4	6.3	0.8	0.8	1.3	1.3	1.7	1.3	0.8	12.6	0.0
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	103	2.9	17.5	1.9	1.9	21.4	3.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	3.9	2.9	2.9	6.8	4.9	3.9	2.9	1.0	13.6	1.9
	DMMmobile(楽天モバイル)	80	1.3	25.0	6.3	7.5	2.5	1.3	3.8	0.0	1.3	0.0	2.5	0.0	1.3	1.3	1.3	10.0	1.3	1.3	3.8	1.3	3.8	23.8	0.0
	NifMo(ニフティ)	22	0.0	9.1	0.0	4.5	9.1	9.1	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	31.8	0.0
	BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	64	3.1	18.8	9.4	4.7	3.1	1.6	3.1	1.6	3.1	3.1	1.6	1.6	6.3	3.1	1.6	4.7	3.1	0.0	6.3	4.7	3.1	12.5	0.0
	mineo(オブテージ)	104	3.8	36.5	18.3	6.7	6.7	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	1.0	1.0	0.0	2.9	1.9	0.0	1.9	1.0	1.0	1.9	1.0	7.7	1.0
その他	350	0.3	22.3	1.7	2.6	1.4	2.3	0.3	0.0	4.0	2.3	0.6	0.3	0.6	1.1	0.6	2.0	1.1	1.4	0.9	0.6	0.3	45.4	8.0	

サブに係る変更先として回答したサービスの選択理由(最も当てはまるもの)

該当数	初期費用(手数料・端末価格等)が安い	月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	固定電話や固定インターネット回線、プロバイダ(ISP)など他の通信サービスとの一括契約による割引サービスがある	家族割引サービスがある	その他割引サービスが充実している	キャッシュバックが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	通信事業者のブランドイメージが良い	新たに利用したいと思っっている端末が利用できるから	端末をそのまま使えるから	魅力的な付加サービス(オプション)がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	量販店やWebで手軽に購入・契約できる	解約の条件や手続きがわかりやすい	販売店や電話等で強く勧められた	特に理由はない	その他		
																								該当数	2.5
全体	720	2.5	29.4	5.7	4.9	2.2	2.6	1.1	1.4	4.3	4.9	2.4	2.5	1.1	2.8	1.0	2.9	2.2	1.3	1.7	1.4	1.4	17.9	2.5	
現在利用している携帯電話サービス(サブ)が利用できない場合の変更に	NTTドコモ	43	4.7	16.3	4.7	0.0	2.3	7.0	0.0	4.7	14.0	4.7	7.0	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	4.7	18.6	2.3	
	ahamo	81	3.7	25.9	8.6	6.2	0.0	2.5	1.2	2.5	6.2	7.4	2.5	4.9	0.0	4.9	0.0	4.9	1.2	1.2	0.0	1.2	1.2	12.3	1.2
	au	30	0.0	3.3	0.0	0.0	10.0	3.3	3.3	0.0	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	20.0	0.0
	povo	59	1.7	49.2	11.9	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7	3.4	5.1	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	3.4	5.1	1.7	1.7	1.7	0.0	6.8	0.0
	ソフトバンク	34	0.0	20.6	0.0	5.9	2.9	11.8	0.0	0.0	8.8	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9	20.6	0.0
	LINEMO	34	0.0	41.2	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	8.8	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9	2.9	5.9	14.7	0.0
	楽天モバイル	113	0.9	37.2	8.0	8.0	0.9	0.9	3.5	2.7	0.9	0.0	0.9	2.7	0.0	3.5	0.0	7.1	0.9	0.9	2.7	0.0	0.9	17.7	0.0
	ワイモバイル(ソフトバンク)	62	6.5	38.7	1.6	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	1.6	3.2	3.2	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	3.2	1.6	0.0	24.2	1.6
	UQモバイル(KDDI)	65	3.1	30.8	3.1	6.2	3.1	3.1	0.0	3.1	4.6	4.6	1.5	3.1	0.0	7.7	4.6	3.1	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	13.8	1.5
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	33	3.0	45.5	12.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
	イオンモバイル(イオンリテール)	12	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	42	7.1	26.2	11.9	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	11.9	9.5	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	2.4	0.0	4.8	2.4	11.9	0.0
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	15	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0
	DMMmobile(楽天モバイル)	8	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	NifMo(ニフティ)	6	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグLOBE)	18	0.0	33.3	5.6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	0.0	
mineo(オプテージ)	14	0.0	21.4	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	
その他	51	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	49.0	25.5		

出所:2022年度利用者アンケート(市場検証会議)

- メイン回線及びサブ回線に係る変更先として回答した事業者に現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)については、いずれも総じて「現在利用しているサービスに満足しているから」が選択されており、メイン回線の場合は18.9%、サブ回線の場合は18.3%にのぼっている。他方で、「通信会社を変更するのが面倒だから」との回答は、メイン回線の場合は16.2%、サブ回線の場合は15.6%であった。

メインに係る変更先として回答したサービスに現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)

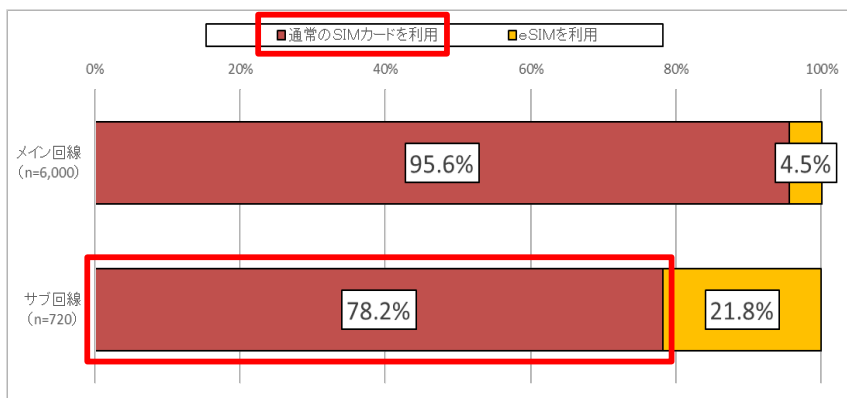
該当数	サブ利用している(2回線目以降)の回線として利用している	サブ利用している(2回線目以降)の回線と	サービスの内容をよく知らないから	身近で契約できる場所がないから	契約の仕方がわからないから	初期費用が高いから	月額利用料金が高いから	トータルのコストが高いから	電話料金やオプション料金を安く抑えるためには、電話の際に専用のアプリを利用しなければならぬから	都合の良い料金体系がないから	料金プランがわかりにくいから	割引やキャッシュバックがないから	利用できないサービスやオプションサービスとのセット契約、セット割引がないから	固定通信やインターネット接続サービスとのセット契約がないから	通信速度が遅いと思うから	通信品質に不安があるから	アフターサービスやサポートに不安があるから	設定が難しいから	メールアドレスを変更したくないから	利用可能な端末に魅力を感じないから	端末にSIMロックがかかっておりそのまま端末を利用できないから	魅力的なサービスがないから	ブランドイメージが良くないから	通信会社を変更するのが面倒だから	現在利用しているサービスに満足しているから	その他	
																								16.2	18.9		
全体																											
6000	0.4	4.4	1.8	2.1	1.3	7.9	3.5	2.2	3.4	2.0	1.7	3.4	2.2	5.3	2.0	2.7	6.5	1.8	0.8	2.7	0.8	16.2	18.9	6.2			
現在利用している携帯電話サービス(メイン)が利用できなくなった場合の変更先	NTTドコモ	451	0.4	2.9	1.6	0.9	1.8	16.0	6.4	2.7	3.8	2.4	1.3	2.9	1.6	2.2	1.6	2.9	5.8	1.6	0.4	3.8	0.7	17.5	13.7	5.3	
	ahamo	760	0.1	4.5	2.1	2.6	0.9	6.4	2.8	1.4	2.6	2.6	2.0	4.5	2.2	1.3	3.4	5.3	9.9	1.7	0.4	3.3	0.8	16.2	19.6	3.3	
	au	335	0.3	3.3	1.8	1.2	1.2	11.0	5.4	1.8	2.1	0.9	0.6	4.2	1.5	3.9	0.9	1.8	5.7	0.9	0.9	4.2	2.1	17.3	24.2	3.0	
	povo	365	1.1	4.4	0.8	3.8	0.8	6.8	3.3	1.1	3.8	3.3	3.0	4.1	1.6	3.6	3.6	3.0	3.0	5.2	1.9	0.3	2.5	0.8	15.3	21.4	4.4
	ソフトバンク	469	0.0	4.9	1.5	3.0	2.8	14.7	5.1	3.0	3.6	1.9	1.1	2.3	2.8	2.3	2.1	2.3	4.7	1.5	0.6	1.7	0.2	13.9	18.8	5.1	
	LINEMO	213	1.4	2.3	0.5	3.8	0.5	6.6	3.8	2.3	7.5	0.9	2.8	3.3	0.5	4.2	2.3	2.8	5.6	3.3	0.9	2.3	0.5	10.8	23.9	7.0	
	楽天モバイル	1106	0.7	4.3	2.4	1.5	1.3	4.2	2.7	2.9	2.7	1.4	1.7	2.8	3.2	14.2	2.0	1.9	6.7	1.5	0.8	2.3	0.7	16.5	16.5	5.2	
	ワイモバイル(ソフトバンク)	576	0.0	3.1	1.4	2.3	1.4	7.8	2.8	1.6	3.6	1.9	2.6	4.3	1.9	2.4	1.9	1.6	5.9	1.7	0.3	3.1	0.7	18.8	22.0	6.8	
	UQモバイル(KDDI)	590	0.0	6.1	1.4	1.4	0.8	7.1	3.2	1.9	2.5	1.2	1.5	3.2	0.8	6.4	1.2	2.9	7.8	1.2	1.0	2.2	0.3	18.8	20.8	6.1	
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	89	1.1	4.5	3.4	0.0	2.2	7.9	4.5	5.6	3.4	3.4	2.2	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	3.4	2.2	2.2	1.1	2.2	13.5	14.6	5.6	
	イオンモバイル(イオンリテール)	84	1.2	6.0	4.8	1.2	1.2	4.8	4.8	1.2	2.4	0.0	0.0	1.2	3.6	3.6	3.6	4.8	3.6	4.8	2.4	4.8	1.2	11.9	19.0	8.3	
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	239	1.3	2.5	2.1	2.5	1.3	7.1	1.7	1.3	2.5	2.9	2.1	2.9	1.3	2.5	2.9	3.3	7.5	3.3	0.8	0.8	0.4	18.8	22.2	5.9	
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	103	0.0	3.9	1.9	4.9	1.0	3.9	2.9	1.9	3.9	2.9	0.0	1.0	4.9	6.8	1.9	1.0	10.7	2.9	1.0	1.9	1.9	1.9	16.5	18.4	3.9
	DMMmobile(楽天モバイル)	80	0.0	3.8	1.3	3.8	2.5	11.3	2.5	3.8	3.8	1.3	0.0	5.0	3.8	6.3	1.3	6.3	6.3	2.5	7.5	2.5	2.5	2.5	10.0	11.3	1.3
	NifMo(ニフティ)	22	0.0	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	9.1	27.3	9.1	0.0	
BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	64	0.0	4.7	4.7	4.7	1.6	7.8	4.7	4.7	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	6.3	0.0	0.0	3.1	1.6	6.3	1.6	3.1	10.9	14.1	1.6		
mineo(オブテージ)	104	1.0	5.8	3.8	0.0	1.9	7.7	3.8	3.8	3.8	1.0	4.8	6.7	6.7	6.7	0.0	1.0	3.8	1.0	1.0	1.9	0.0	12.5	18.3	4.8		
その他	350	0.0	7.1	0.9	1.1	0.6	5.7	1.7	1.1	5.7	3.4	0.0	4.7	0.9	2.0	1.1	2.3	4.3	2.9	0.3	2.9	0.6	13.7	15.4	24.6		

サブに係る変更先として回答したサービスに現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)

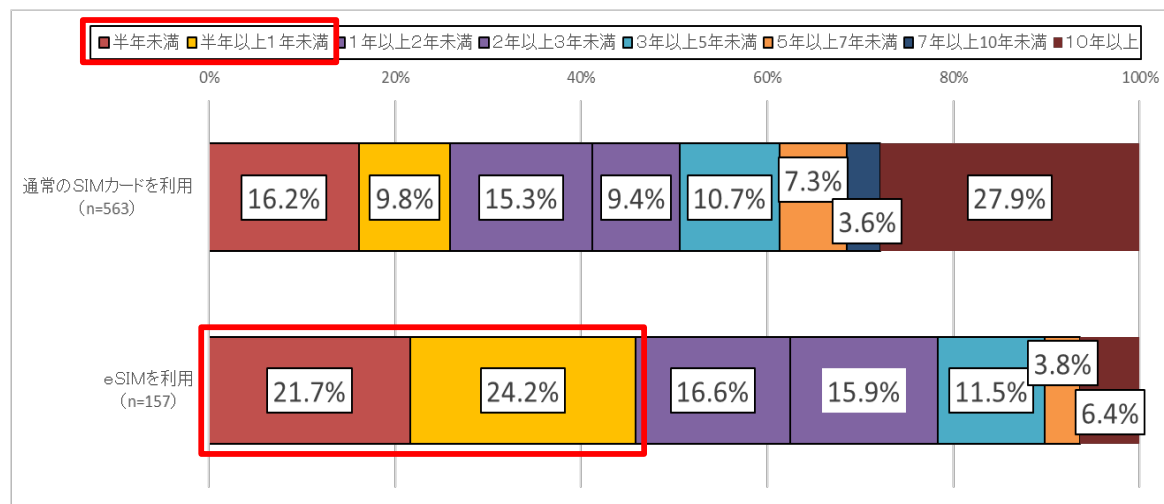
		サブ利用(3回線目以降)の回線として	サービスの内容をよく知らないから	身近で契約できる場所がないから	契約の仕方がわからないから	初期費用が高いから	月額利用料金が高いから	トータルのコストが高いから	実際に専用のアプリを利用しなければならぬ面倒くさいから	都合の良い料金体系がないから	料金プランがわかりにくいから	割引やキャッシュバックがないから	固定通信やインターネット接続サービスとのセット契約、セット割引が利用できなくなるから	通信速度が遅いと思うから	通信品質に不安があるから	アフターサービスやサポートに不安があるから	設定が難しそうだから	メールアドレスを変更したくないから	利用可能な端末に魅力を感じないから	端末にSIMロックがかかっておりそのまま端末を利用できないから	魅力的なサービスがないから	ブランドイメージが良くないから	通信会社を変更するのが面倒だから	現在利用しているサービスに満足しているから	その他	
該当数		720	1.9	2.8	2.1	2.4	1.5	6.3	3.9	2.1	4.0	2.4	3.2	2.5	1.9	5.6	1.4	2.5	5.7	1.8	1.3	4.0	0.3	15.6	18.3	6.7
全体		720	1.9	2.8	2.1	2.4	1.5	6.3	3.9	2.1	4.0	2.4	3.2	2.5	1.9	5.6	1.4	2.5	5.7	1.8	1.3	4.0	0.3	15.6	18.3	6.7
現在利用している携帯電話サービス(サブ)が利用できなくなった場合の変更先	NTTドコモ	43	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	14.0	4.7	0.0	4.7	0.0	7.0	0.0	4.7	0.0	2.3	2.3	4.7	0.0	4.7	2.3	2.3	20.9	4.7	9.3
	ahamo	81	1.2	3.7	3.7	3.7	1.2	4.9	2.5	1.2	3.7	0.0	1.2	1.2	1.2	3.7	3.7	1.2	8.6	1.2	1.2	6.2	0.0	16.0	24.7	3.7
	au	30	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	10.0	3.3	0.0	6.7	0.0	33.3	13.3	3.3
	povo	59	3.4	0.0	1.7	0.0	0.0	3.4	5.1	1.7	6.8	0.0	6.8	5.1	1.7	3.4	3.4	6.8	3.4	5.1	0.0	5.1	0.0	11.9	20.3	5.1
	ソフトバンク	34	0.0	2.9	2.9	8.8	8.8	5.9	0.0	5.9	0.0	8.8	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	17.6	14.7	5.9
	LINEMO	34	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9	8.8	2.9	0.0	8.8	0.0	5.9	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	11.8	20.6	8.8
	楽天モバイル	113	0.9	2.7	3.5	1.8	1.8	7.1	4.4	2.7	4.4	1.8	3.5	2.7	1.8	12.4	0.0	5.3	5.3	0.9	0.0	3.5	0.0	12.4	15.9	5.3
	ワイモバイル(ソフトバンク)	62	3.2	0.0	0.0	4.8	1.6	4.8	3.2	3.2	4.8	4.8	3.2	1.6	3.2	3.2	0.0	0.0	6.5	3.2	4.8	3.2	0.0	14.5	24.2	1.6
	UQモバイル(KDDI)	65	1.5	6.2	4.6	0.0	0.0	4.6	3.1	0.0	4.6	1.5	4.6	4.6	0.0	6.2	0.0	0.0	9.2	1.5	1.5	1.5	0.0	16.9	23.1	4.6
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	33	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1	3.0	6.1	0.0	3.0	6.1	6.1	6.1	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	15.2	18.2	9.1
	イオンモバイル(イオンリテール)	12	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	0.0
	OCNモバイルONE(NTTレゾナント)	42	7.1	0.0	0.0	4.8	2.4	7.1	2.4	4.8	7.1	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	4.8	7.1	4.8	0.0	2.4	0.0	21.4	16.7	0.0
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	15	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	20.0	6.7
	DMMmobile(楽天モバイル)	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0
	NifMo(ニフティ)	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	18	0.0	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	11.1	0.0	
mineo(オプテージ)	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	28.6	0.0	
その他	51	0.0	3.9	0.0	0.0	2.0	9.8	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	7.8	2.0	3.9	2.0	0.0	0.0	5.9	2.0	5.9	13.7	35.3	

- サブ回線の利用者のうち、3割以上は、利用期間が1年未満の利用者であり、直近1年間にサブ回線の利用を始めた利用者が多い。
- サブ回線をeSIMにしている利用者の割合は、特に利用期間が1年未満の利用者に多いものの、サブ回線を物理SIMにしている利用者の割合の方が、サブ回線をeSIMにしている利用者の割合より高い。

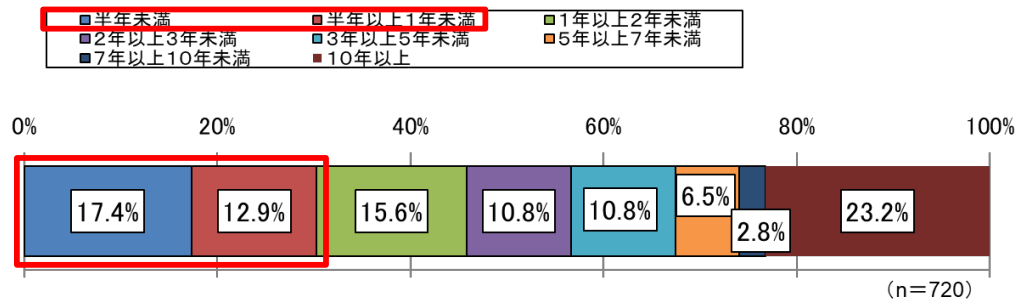
【SIM利用状況】



【サブ回線利用者のSIM利用期間】



【サブ回線利用者の利用期間】



- サブ回線を利用する理由として、「通信障害に備える」は1年未満ユーザーでは15%程度選択されており、若干上昇の傾向も窺える。

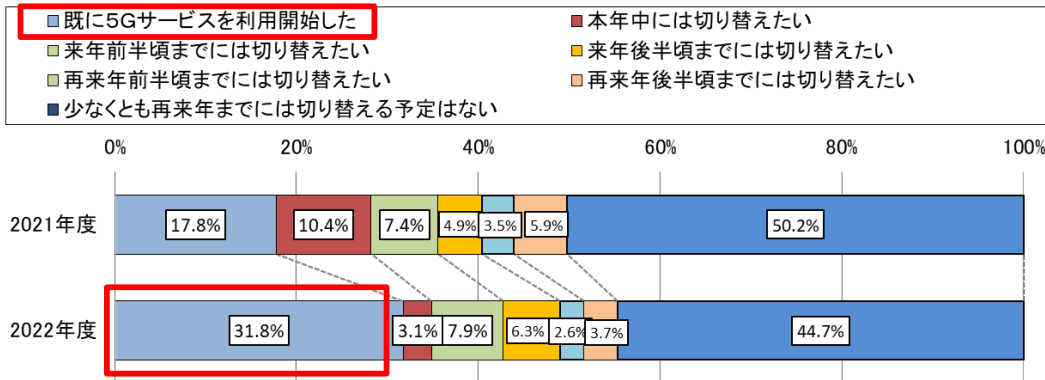
	該当数	複数回線を利用する最な理由											
		用途を分けたいから（仕事とプライベート、通話とネット利用など）	主に利用している事業者とは別の事業者のサービスを使ってみたかったから	主に利用しているサービスで使っている端末とは別の端末を使いたかったから	以前使用していた端末など中古品を活用しなかったから	通信契約をする際に端末が格安で購入できたため	キャッシュバックや一括契約による割引サービスがあるから	販売店や電話等で強く勧められたから	通信障害が起きた場合に備えるため	維持費がゼロ円もしくは安いから	今後、いつでもMNPで携帯電話端末を安く購入できるチャンスを維持したいから	その他	
全体	720	22.6	4.7	6.7	4.0	10.0	6.9	2.2	11.3	18.1	4.2	9.3	
サブ回線の利用期間	半年未満	125	12.8	5.6	5.6	2.4	10.4	9.6	1.6	13.6	28.0	3.2	7.2
	半年以上1年未満	93	26.9	5.4	3.2	3.2	9.7	4.3	0.0	15.1	20.4	4.3	7.5
	1年以上2年未満	112	23.2	2.7	7.1	6.3	10.7	4.5	2.7	10.7	19.6	2.7	9.8
	2年以上3年未満	78	23.1	7.7	9.0	6.4	11.5	6.4	2.6	7.7	16.7	6.4	2.6
	3年以上4年未満	49	16.3	10.2	0.0	2.0	16.3	12.2	4.1	10.2	10.2	12.2	6.1
	4年以上5年未満	29	34.5	6.9	17.2	0.0	6.9	6.9	0.0	10.3	3.4	0.0	13.8
	5年以上6年未満	38	28.9	2.6	7.9	7.9	7.9	5.3	2.6	7.9	13.2	7.9	7.9
	6年以上7年未満	9	44.4	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1
	7年以上8年未満	11	45.5	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0
	8年以上9年未満	6	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	9年以上10年未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	10年以上	167	23.4	2.4	7.2	4.2	7.2	7.8	3.0	10.8	15.6	3.0	15.6

- 移動系通信の最近の主な重大な事故は以下のとおり。令和4年度利用者アンケートの実施時期(令和4年12月27日)を踏まえると、特に利用期間1年未満の利用者は、主な重大な事故発生後に利用を開始している。

発生日時 (継続時間)	通信事業者	影響サービス	影響範囲 (地域、利用者数)	発生原因
令和3年9月11日 (4時間3分)	楽天モバイル	データ通信等	全国 100万人以上	設備故障
令和3年10月14日 (2時間20分)	NTTドコモ	音声通話、 データ通信	全国 約100万人	人為的ミス
令和4年7月2日 (61時間25分)	KDDI	音声通話、SMS※、ホーム電話、データ通信	全国 音声通話:約2,278万人 データ通信:765万人以上	人為的ミス
令和4年9月4日 (2時間6分)	楽天モバイル	音声通話、 データ通信	全国エリア 最大130万回線	設備故障
令和4年12月17日 (4時間54分)	NTTドコモ	データ通信	西日本エリアの一部 データ通信:約242万人	設備故障
令和4年12月20日 (2時間2分)	NTTドコモ	データ通信	西日本エリアの一部 データ通信:約69万人	人為的ミス

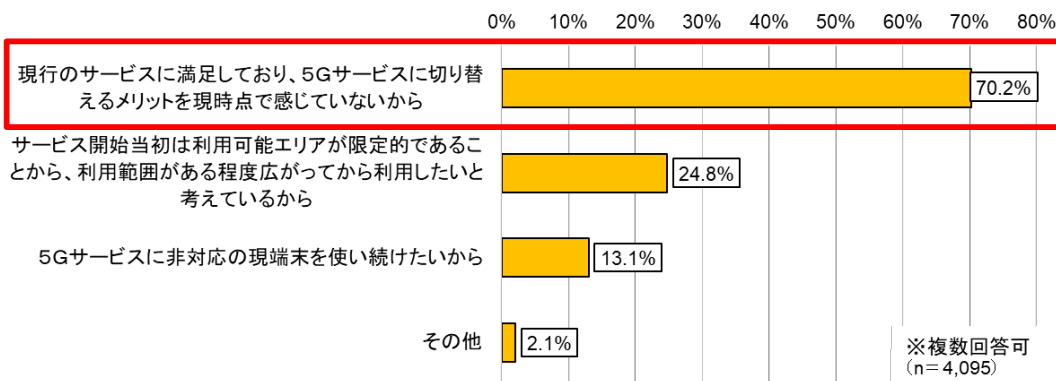
- 5Gサービスへの切り替え意向については、「既に5Gサービスを利用開始した」と回答した利用者は31.8%であり、昨年度(17.8%)より大幅に増加した。
- 5Gサービスにすぐに切り替えない理由としては、「現行のサービスに満足しており、5Gサービスに切り替えるメリットを現時点で感じていないから」を挙げる者が多かった(70.2%)。

【5Gサービスへの切り替え時期】

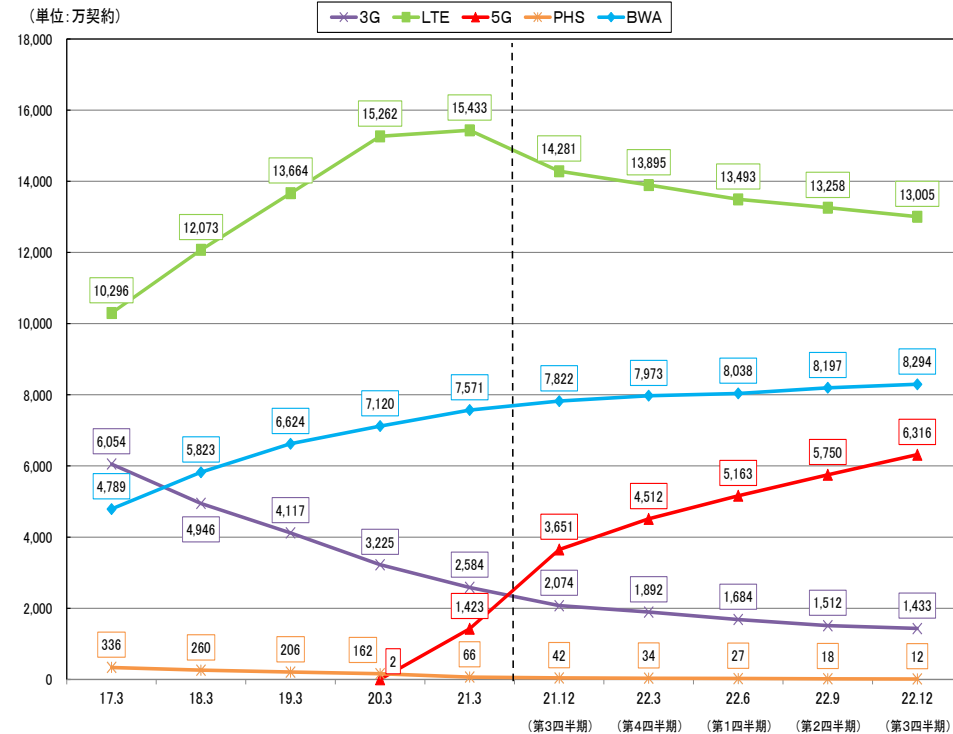


注: 2020年度調査における「本年」は2021年、2021年度調査における「本年」は2022年を指す。

【5Gに切り替えない理由】

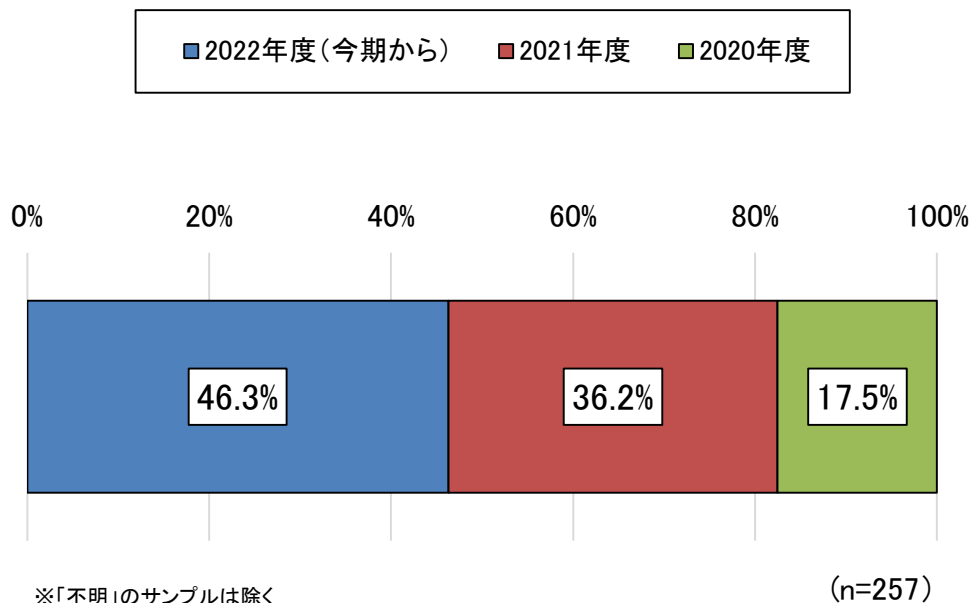


(参考) 3G・LTE・5G・PHS・BWAの各契約数の推移(単純合算)

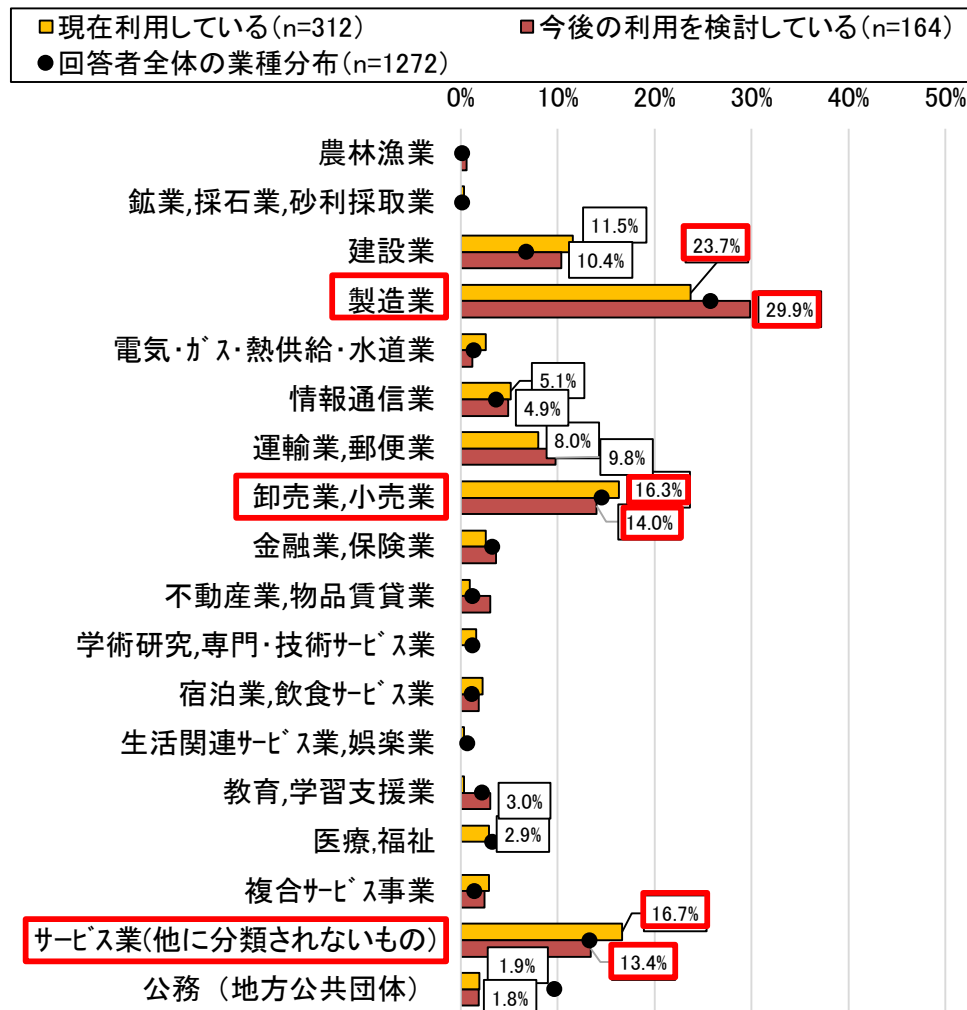


- 5Gは令和4年(2020年)の提供開始以降、導入する法人ユーザ企業等が増加している。
- 5Gの利用法人ユーザ企業等のうち、**製造業が2割程度**。次いで、サービス業(他に分類されないもの)や卸売業、小売業と続く。

導入時期

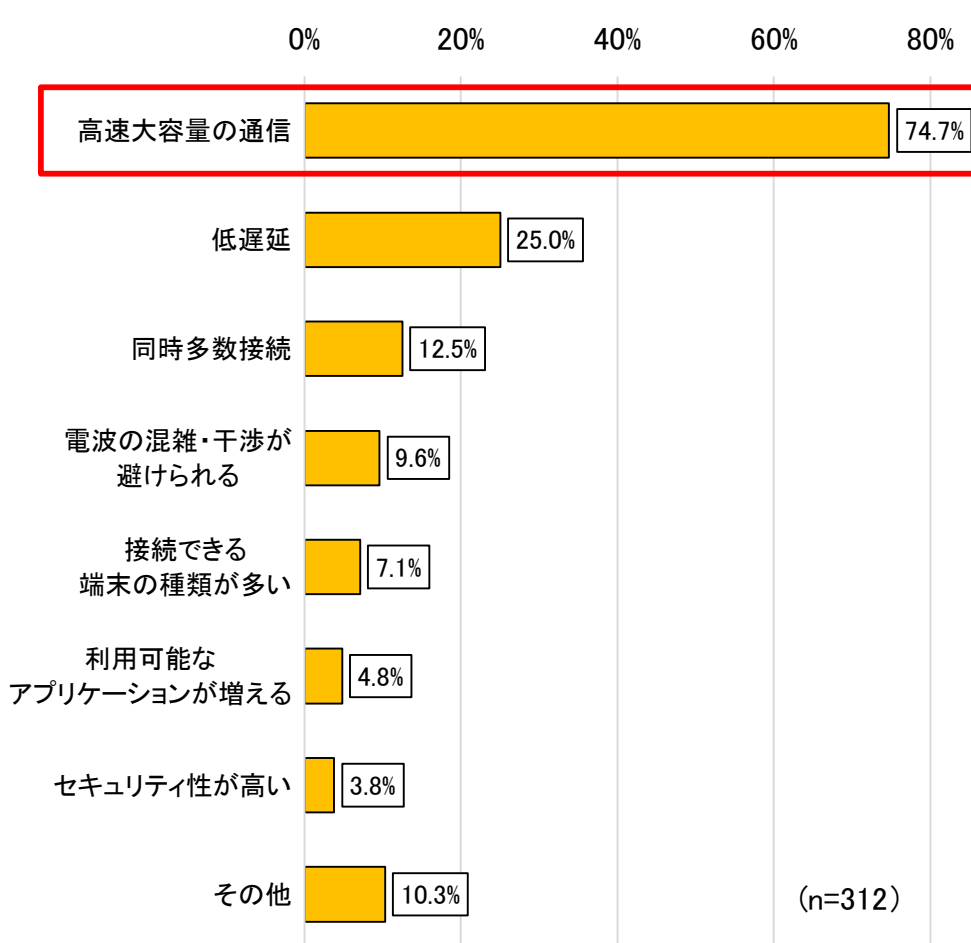


利用・今後利用を検討している業種の割合

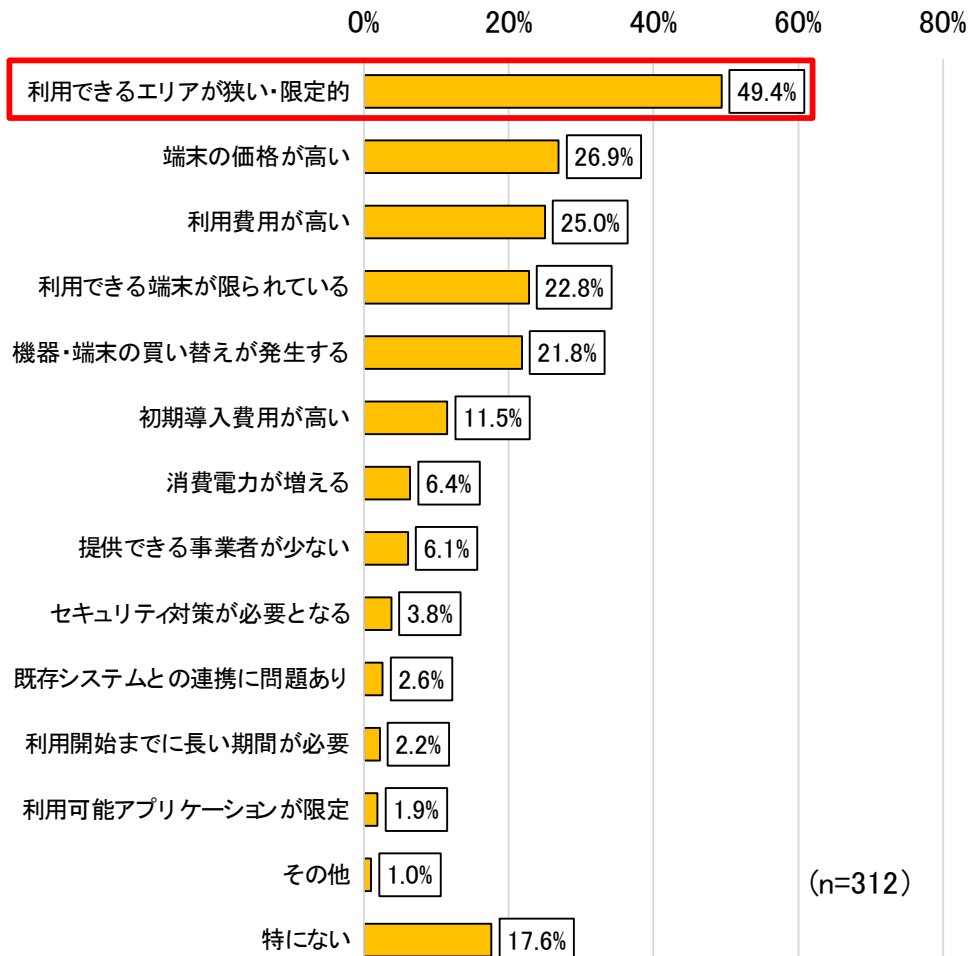


- 5Gを利用するメリットとして7割超が「高速大容量の通信」を挙げた。
- デメリットとして挙げられたもののうち最多は「利用できるエリアが狭い・限定的」で、約5割の企業等が挙げた。

■ メリット

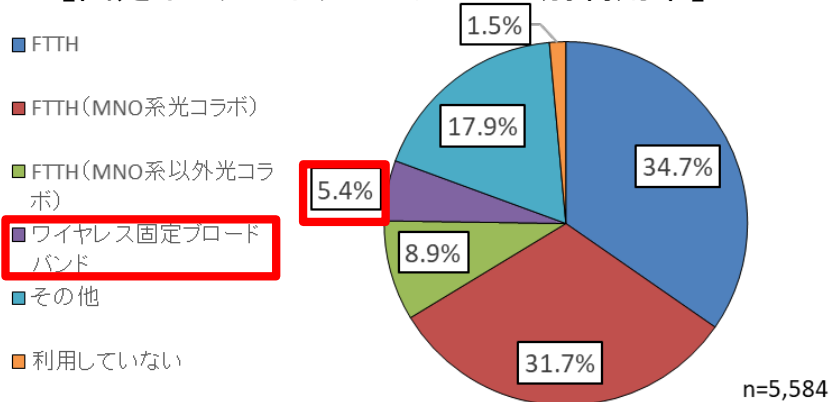


■ デメリット

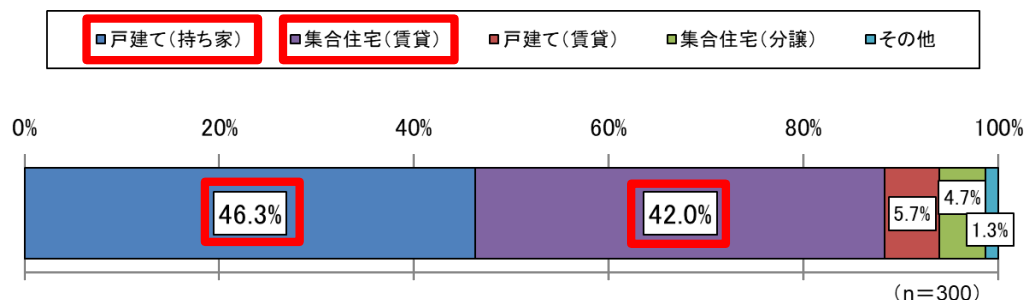


- ワイヤレス固定BB(共用型)(Softbank Air, auスマートポート、docomo home5G)の利用者の全利用者に占める割合は5.4%。
- ワイヤレス固定BB(共用型)の利用者は、東京都(12.0%)、福岡県(8.0%)、神奈川県(7.0%)など大都市圏に居住している割合が高く、利用者の居住形態は、戸建て(持ち家)又は集合住宅(賃貸)の利用率が高い。
- 利用者の年齢構成は、30代が最も多く、次いで40代、50代の順に利用率が高い。

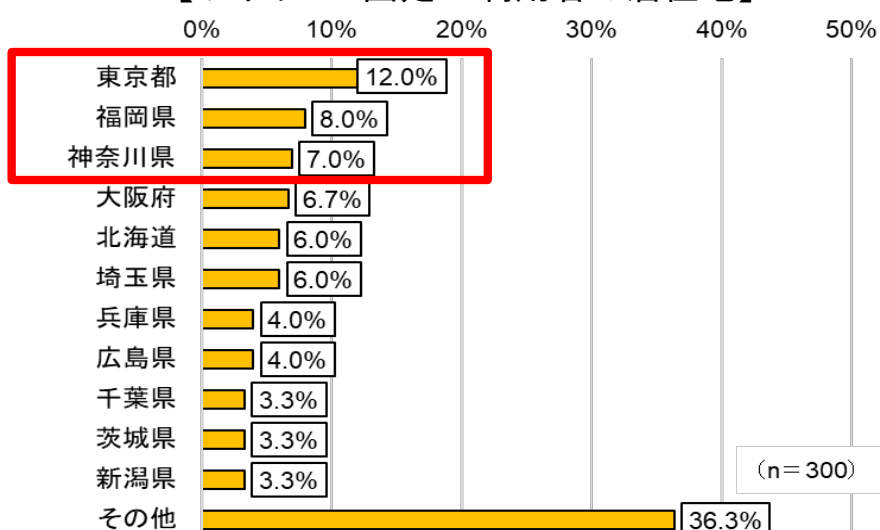
【固定インターネットのサービス別利用率】



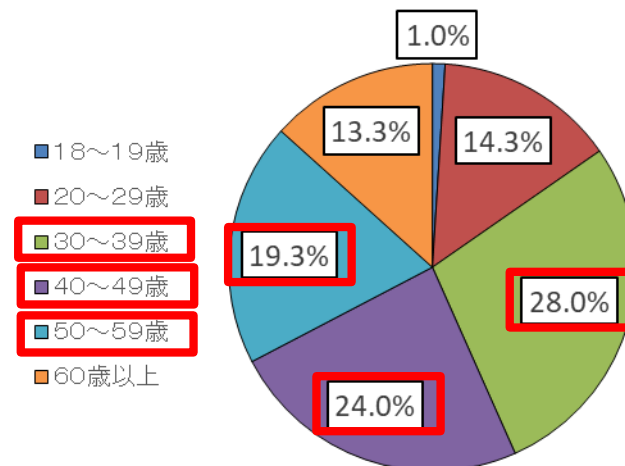
【ワイヤレス固定BB利用者の居住形態】



【ワイヤレス固定BB利用者の居住地】

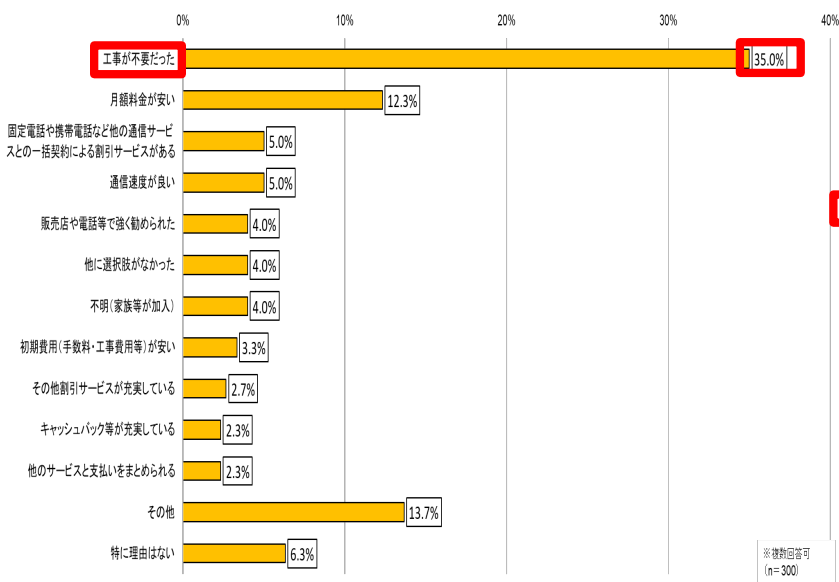


【ワイヤレス固定BB利用者の年齢構成】

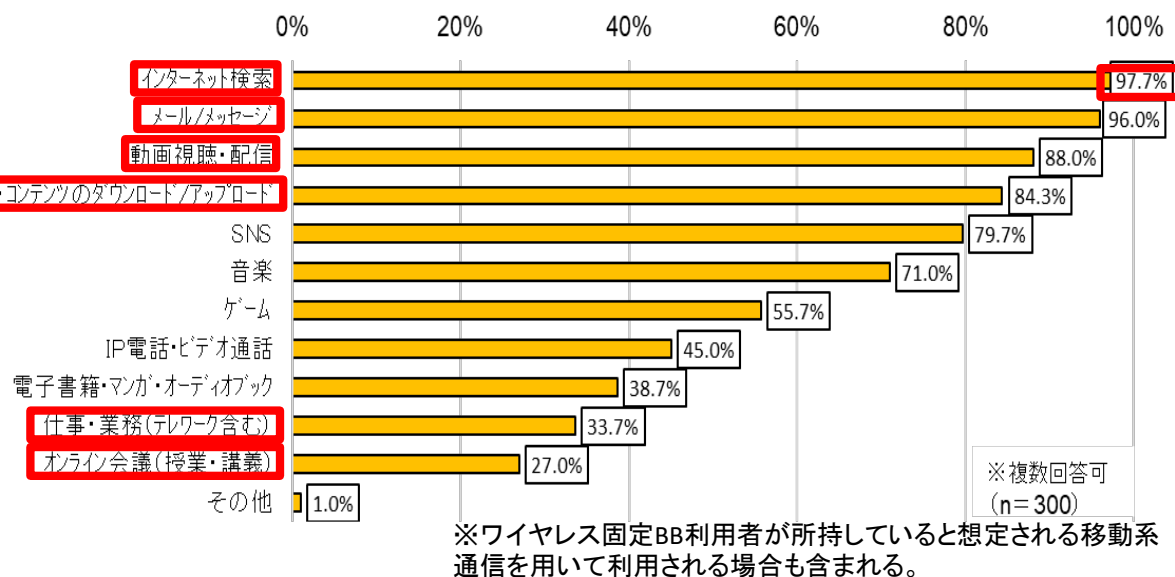


- ワイヤレス固定BB(共用型)の選択理由として、「工事が不要だった」の割合が最も多い。
- 利用用途としては、「インターネット検索」、「メール・メッセージ」の割合が最も多く、次いで「動画視聴・配信」、「アプリコンテンツのダウンロード/アップロード」の割合が高い。一方、「仕事・業務(テレワーク含む)」、「オンライン会議(授業・講義)」の割合が低い。
- 利用者の移動系メイン回線の月間データ通信量は、1GB又は3GBの割合が高い。

【ワイヤレス固定BBの選択理由】



【ワイヤレス固定BB利用者のインターネット利用用途】

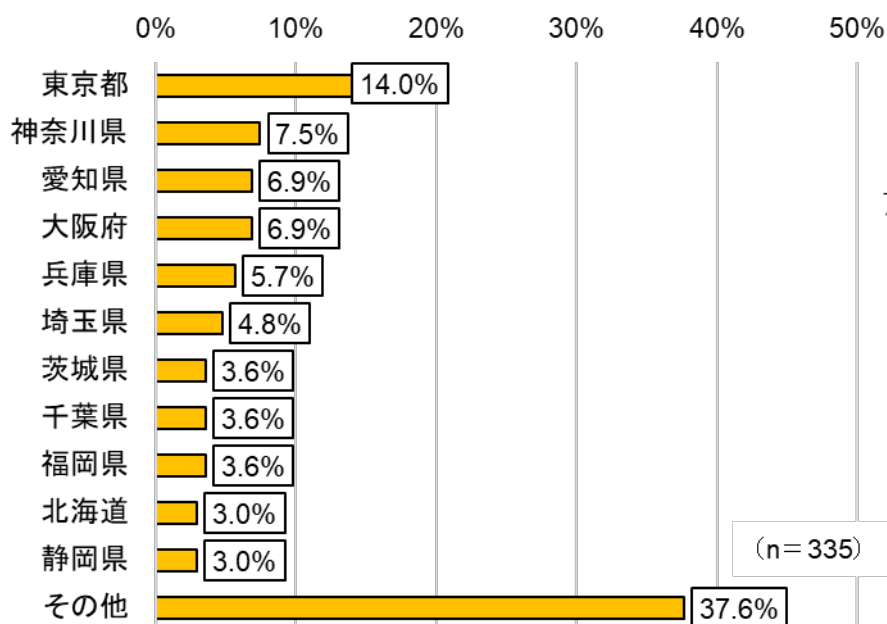


【ワイヤレス固定BB利用者の移動(メイン回線)のデータ通信量】

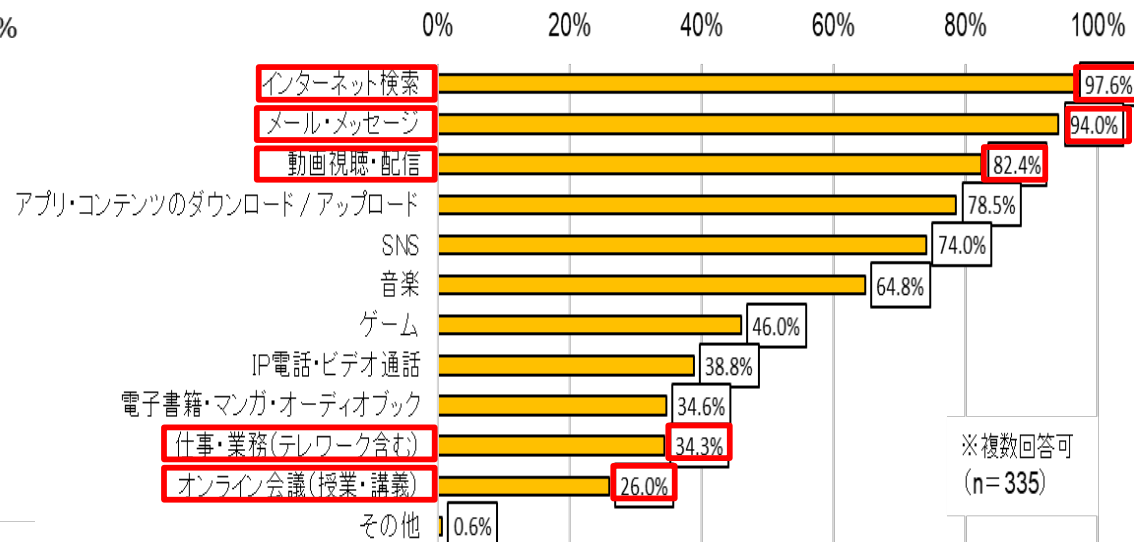
	該当数	データ通信量 (GB)																		わからない
		0.0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全体	300	6.0	15.7	5.7	21.0	4.0	5.7	1.3	1.7	1.3	0.7	6.0	3.3	4.0	5.7	2.7	3.0	1.3	1.0	10.0

- 仮に固定インターネット回線が利用できなくなった場合に携帯電話を代替すると認識しているの利用者は、大都市圏に居住している割合が高い。
- 利用用途としては、「インターネット検索」、「メール・メッセージ」の割合が最も多く、次いで「動画視聴・配信」、「アプリコンテンツのダウンロード/アップロード」の割合が高い。一方、「仕事・業務(テレワーク含む)」、「オンライン会議(授業・講義)」の割合が低い。
- 利用者の移動系メイン回線の月間データ通信量は、1GB又は3GBの割合が高い。

【携帯電話を固定代替と認識している利用者の居住地】



【携帯電話を固定代替と認識している利用者の利用用途】



【携帯電話を固定代替と認識している利用者の移動(メイン回線)のデータ通信量】

該当数	わからない	500MB	1GB	2GB	3GB	4GB	5GB	6GB	7GB	8GB	9GB	10GB	11~15GB	16~20GB	21~30GB	31~40GB	41~50GB	51~100GB	100GB超	
携帯・スマートフォン(テザリングを含む)	335	16.1	4.8	16.1	4.2	17.6	3.6	7.5	0.6	3.6	0.9	0.9	4.2	5.4	4.2	3.0	1.8	2.1	1.8	1.8

- 円安・物価高騰により、携帯電話サービスの契約を何らかに変更したかについて確認した結果、「特に変更しなかった」との回答が83.0%と大多数を占めている。
- 携帯電話サービスの契約を何らかに変更したという利用者においては、「家計支出が変化するため、安い通話料金プランを変更した」、との回答が最も多く、「家計支出が変化するため、安いデータ通信料金プランに変更した」及び「家計支出が変化するため、他の携帯会社へ乗り換えた」との回答が一定程度みられた。

	該当数を除き、単位：%	該当数	%
		6000	100
家計支出が変化するため、安い通話料金プランに変更した		411	6.9
家計支出が変化するため、安いデータ通信料金プランに変更した		219	3.7
家計支出が変化するため、オプションを解約した		146	2.4
家計支出が変化するため、他の携帯会社へ乗り換えた		189	3.2
サブ(2回線目)の携帯電話サービスを解約した		72	1.2
過去購入した携帯端末より安い携帯端末を購入した		96	1.6
新品端末の値上げにより、中古携帯端末を購入した		41	0.7
携帯電話端末の買い替え・新規購入をやめた		105	1.8
携帯電話端末を購入する際、過去の利用端末を下取り・売却した		43	0.7
その他		10	0.2
特に変更しなかった		4982	83.0

- 円安・物価高騰により、携帯電話サービスに関する認識・行動等において、何らかの変化が生じたかについて確認した結果、「特に変化はなかった」との回答が71.6%と大多数を占めている。
- 携帯電話サービスに関する認識・行動等において何らかの変化が生じたという利用者においては、「以前よりもサービス料金への興味・関心が高まった」との回答が最も多く、「以前よりも通話料金を意識するようになった」及び「以前よりもデータ通信料金を意識するようになった」との回答が一定程度みられた。

	該当数を除き、単位:%	該当数	%
		6000	100.0
以前よりもサービス料金への興味・関心が高まった		962	16.0
以前よりも通話料金を意識するようになった		575	9.6
以前よりもデータ通信料金を意識するようになった		518	8.6
携帯電話サービスによる通話ではなくアプリケーションの無料通話の利用が増加した		261	4.4
携帯電話サービスによる通話ではなくアプリケーションの無料通話の利用が減少した		79	1.3
以前よりも携帯電話端末の買い替え・新規購入意欲が増した		157	2.6
以前よりも携帯電話端末の買い替え・新規購入意欲が減少した		224	3.7
以前よりも中古携帯電話端末への興味・関心が高まった		112	1.9
以前よりも中古携帯電話端末への興味・関心が薄まった		19	0.3
以前よりも携帯電話端末の下取り・売却への興味・関心が高まった		99	1.7
以前よりも携帯電話端末の下取り・売却への興味・関心が薄まった		9	0.2
その他		2	0.0
特に変化はなかった		4294	71.6

- 円安・物価高騰により、固定インターネットサービスの契約を何らかに変更したかについて確認した結果、「特に変更しなかった」との回答が89.4%と大多数を占めている。
- 固定インターネットサービスの契約を何らかに変更したという利用者においては、「家計支出が変化したため、安い通話料金プランを変更した」、との回答が最も多く、「家計支出が変化したため、オプションを解約した」及び「家計支出が変化したため、他の事業者へ乗り換えた」との回答が一定程度みられた。

	該当数	%
	5503	100.0
家計支出が変化したため、安い料金プランに変更した。	280	5.1
家計支出が変化したため、オプションを解約した。	178	3.2
家計支出が変化したため、他の事業者へ乗り換えた。	134	2.4
品質の良い高い料金プランへの変更をやめた。	42	0.8
その他	4	0.1
特に変更しなかった。	4918	89.4

該当数を除き、単位：%

- 円安・物価高騰により、固定インターネットサービスに関する認識・行動等において、何らかの変化が生じたかについて確認した結果、「特に変化はなかった」との回答が81.7%と大多数を占めている。
- 固定インターネットサービスに関する認識・行動等において何らかの変化が生じたという利用者においては、「以前よりもサービス料金への興味・関心が高まった」との回答が最も多く、「以前よりもオプションサービスへの興味・関心が高まった」との回答が一定程度みられた。

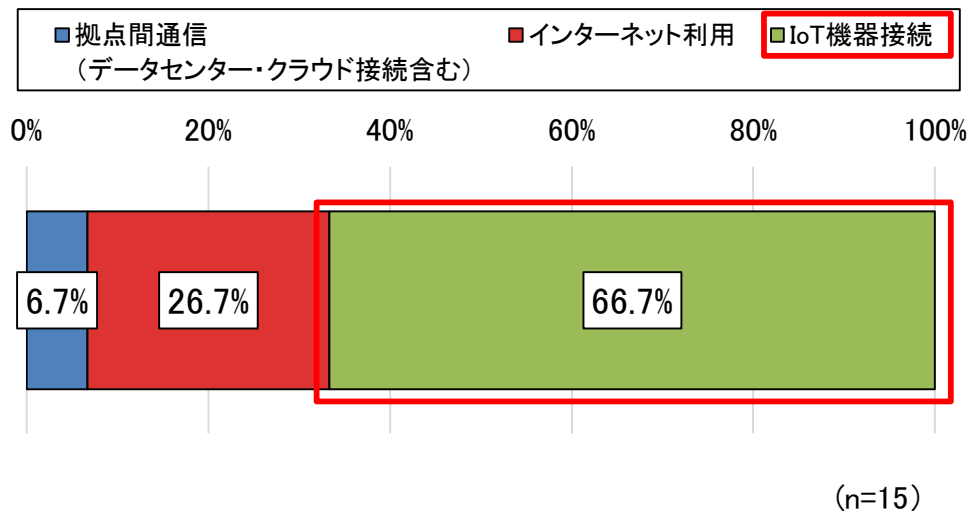
	該当数	%
	5503	100.0
以前よりもサービス料金への興味・関心が高まった。	629	11.4
以前よりもオプションサービスへの興味・関心が高まった。	293	5.3
以前よりもオプションサービスへの興味・関心が薄まった。	105	1.9
品質より価格を重視するようになった。	128	2.3
その他	1	0.0
特に変化はなかった。	4497	81.7

**② ローカル5G事業における実態の把握
（重点的検証項目）**

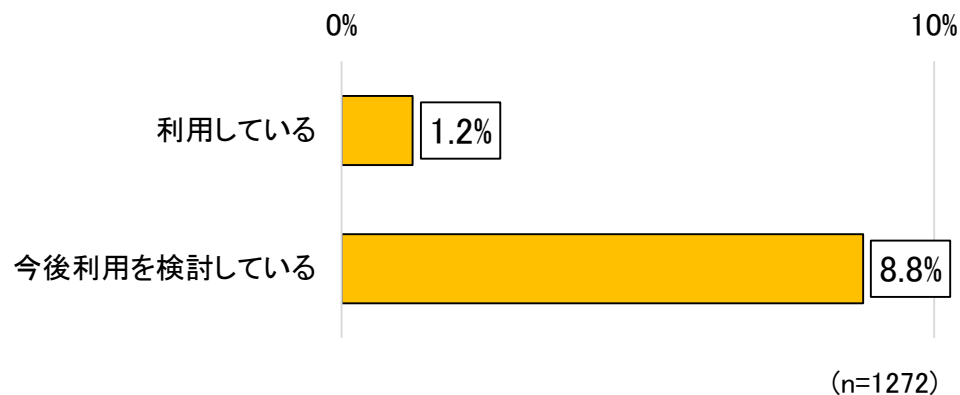
- ローカル5Gの用途は、IoT機器接続の割合が7割と多く、インターネット利用が続いている。業種別には、製造業における利用が、全体の3分の1であり、突出している。
- ローカル5G事業の活動領域は多岐に渡っているが、大半が実証段階の案件であり、商用段階に進んでいるものは少なく、ローカル5G事業は黎明期にあると言える。
- ローカル5Gのメリットとして、サービス供給者側からは、「工場内のIoTセンサーの利用において、アップロード・ダウンロード比率をカスタマイズ可能な点」や、「帯域確保を必須とする通信に対応可能な点」、「スライシング等5G技術の特性を柔軟に活用したユースケース創出・応用が可能な点」、「地域BWAやMNOのFWA事業と比較した場合の通信速度の速さ」が認識されている。一方、サービス需要者側の法人ユーザ企業等は、「高速大容量の通信」、「低遅延」、「セキュリティ性の高さ」を挙げる割合が高い。
- 事業化への課題について、サービス供給者側からは、「コストの高さ」、「ローカル5G対応端末の少なさ及び価格の高さ」、「技術面への対応可能な人材の確保」、「顧客に対してコストを上回る価値提供方法の模索」、が課題として上げられた。これらの課題は、サービス需要者側の認識も、おおむね、一致しており、「利用費用が高い」、「初期導入費用が高い」、「利用できる端末が限られている」をローカル5Gのデメリットとして上げている割合が高い。
- 事業化に当たっては、上記のメリットをどのように活かし、上記課題を克服した上で、法人ユーザ企業等のニーズをいかに満たすか、という視点が重要であると思われる。
- NTT東西はNTTドコモ・NTTコムを含め、特定の通信事業者と排他的連携は行っていないことが確認された。また、ケーブルテレビ事業者と全国BWA事業者・地域BWA事業者との連携、ベンダーとMNOの連携、地域BWA事業者と全国BWA事業者との連携が図られている。
- 公正競争上の懸念を各事業者を確認したところ、NTT東西から、限定的・補完的にローミング接続を行うことに対し、柔軟に対応してほしい旨、要望があった一方、他事業者からは、NTT東西によるローカル5G事業の提供により、公正競争の観点から懸念があり、引き続き検証を続けてほしい旨、意見があった。

- ローカル5Gの用途はIoT機器接続が約7割を占め、最多となっている。
- ローカル5Gの利用法人ユーザ企業等では**製造業**が突出し、全体の3分の1を占めている。

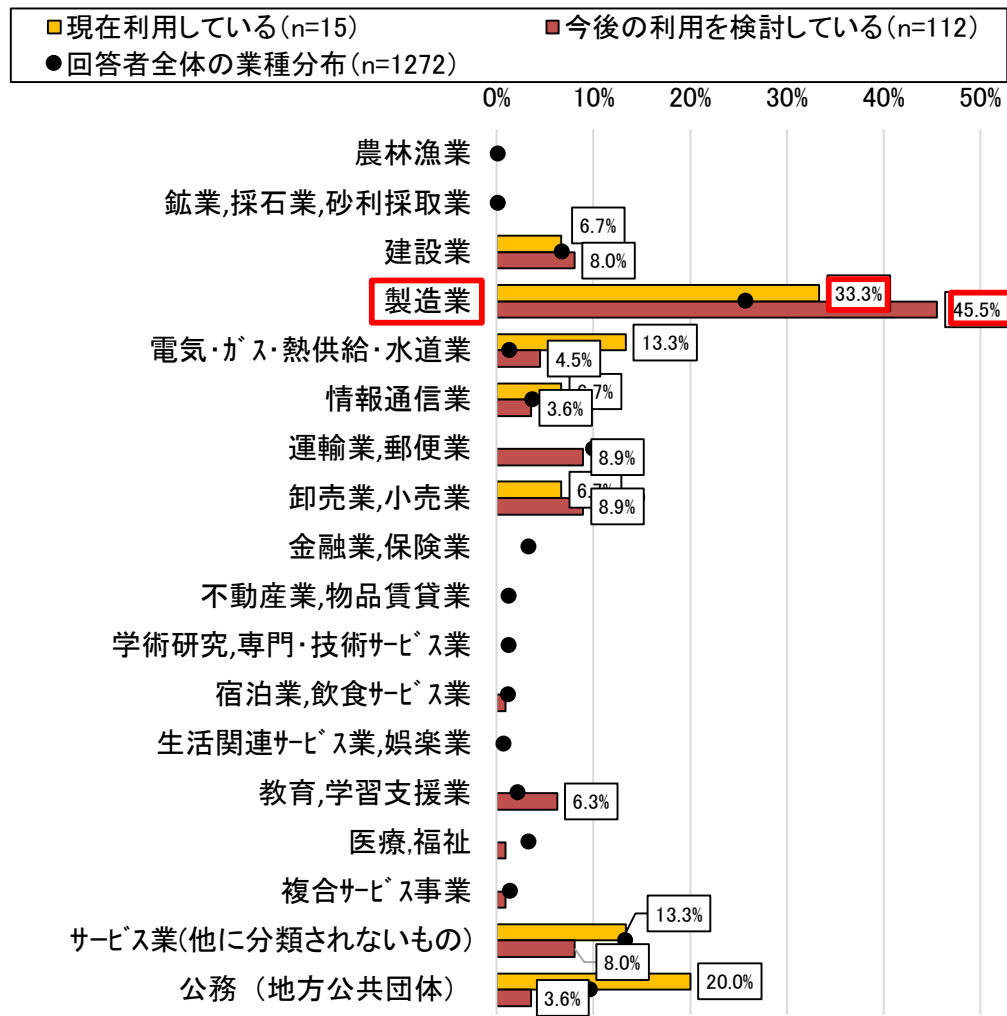
用途



ローカル5Gを利用・今後利用を検討している利用者の割合



利用・今後利用を検討している業種の割合



- ローカル5G事業の活用領域ごとの動向等は以下のとおり。(活用事例について事業者ヒアリングで紹介されたものを分類)

活用領域	実証段階	商用段階
FWA		集合住宅向けインターネット接続サービス(ソニーワイヤレスコミュニケーションズ、愛媛CATV、ケーブルテレビ)、ローカル5Gの回線を提供するシェアオフィス(愛媛県東温市)
工場	中小企業における地域共有型ローカル5GシステムによるAI異常検知等の実証(愛媛CATV)、ローカル5Gを活用した精製物のAI粒度判定等による離島プラント工場の業務効率化の実現(ハートネットワーク)、スマートファクトリー実現、倉庫業務の効率化(日立)、ローカル5Gカメラを用いた高精細映像測位、データセンターにおけるローカル5Gを活用した運用省人化及び安定運営(富士通)	ロボット遠隔操作、遠隔業務支援、AMR制御、AMRとロボット連携(NEC)、敷地内監視による異常検知(NTTコム)
発電所	ローカル5Gを活用した風力発電の設備利用率向上によるカーボンニュートラル社会の実現(秋田ケーブルテレビ)	
鉄道・道路	ワンマン/ドライバレス運転支援(高精細カメラ映像伝送)、ホームドア監視、日常巡視点検の効率化・高度化(NEC)、線路巡視業務の高度化、車両ドア閉扉判断の高度化(住友商事/富士通)、道路保全事業における作業の効率化と安全確保(日立)	駅係員業務や保守業務の効率化、利用者の利便性向上(NTT東)
空港・港湾	MR空港体験(新たな空港バックヤード見学の体験サービス)、MRを活用した日常巡視点検の効率化・高度化(NEC)、ローカル5Gを活用した操船支援情報の提供および映像監視による港湾内安全管理の取組み(ZTV)、外来車両の待機列の自動判別、コンテナダメージチェックの遠隔化・デジタル化、将来的なクレーン等の遠隔操作(NTT西)、ローカル5Gカメラを用いた高精細映像測位(富士通)	ターミナル間連絡バスの遠隔型自動運転(NTT東)
インフラ	日常巡視点検、遠隔作業支援(NEC)、ガス保安業務の高度化(広島ガス/富士通)	

- ローカル5G事業の活用領域ごとの動向等は以下のとおり。(活用事例について事業者ヒアリングで紹介されたものを分類)

活用領域	実証段階	商用段階
放送	ライブ中継映像配信(NEC)、災害時におけるテレビ放送の応急復旧(地域ワイヤレスジャパン)	映像伝送(NEC)
防災・減災	ドローン・高精細カメラを活用した災害状況把握、無人化施工による復旧作業支援(NEC)、防災業務の高度化及び迅速な住民避難行動の実現(地域ワイヤレスジャパン)	
防犯	遠隔巡回・遠隔監視による施設内警備(NTTコム)	
医療・ヘルスケア	入院患者モニタリング、救急車-病院間データ連携(NEC)、遠隔医療(NTT西グループ)	
観光	XRを活用した観光体験(NEC)、観光ガイドによるリアルタイム映像とお土産購入体験(日立)	
教育	XRを活用した体験学習(NEC)	大学キャンパス内のローカル5G環境(都立大/NTT東/富士通)
建設	遠隔施工、自動施工(NEC)、建設機械の遠隔操作(西松建設/富士通)	
農業	製茶の生産性向上と省人化・軽労力化(関西ブロードバンド/富士通)	
林業	ローカル5Gを活用した山間部林業現場での生産性向上および安全性向上のための実用化モデル検証(となみ衛星通信テレビ)	
漁業	ローカル5Gを活用したAI画像認識によるブリ養殖の効率化に向けた実証(ZTV)	
文化・スポーツ	ゴルフ場におけるローカル5Gを活用したコース運営の効率化及び新たなゴルフ体験の実現(地域ワイヤレスジャパン)、障害者スポーツにおけるリモートコーチング(電通九州/富士通)、	試合映像自動撮影(射水ケーブルネットワーク)
その他	ロボットの遠隔操作によるリモートショッピング(ケーブルメディアワイワイ)、TIS DIGITAL Innovation Center(TIS/富士通)	

- ローカル5G事業は、実証段階の取組が比較的多く、ユースケース創出の加速が必要な、黎明期にある。

【ローカル5Gのメリット】

- サービス供給者側としては、「工場内のIoTセンサーの利用において、アップロード・ダウンロード比率をカスタマイズ可能な点」や、「帯域確保を必須とする通信に対応可能な点」、「スライシング等5G技術の特性を柔軟に活用したユースケース創出・応用が可能な点」、「地域BWAやMNOのFWA事業と比較した場合の通信速度の速さ」がメリットとして認識されている。
- 一方、サービス需要者側としては、ローカル5Gのメリットとして、法人ユーザ企業等は、「高速大容量の通信」、「低遅延」、「セキュリティ性の高さ」を挙げる割合が高い。

【事業化への課題】

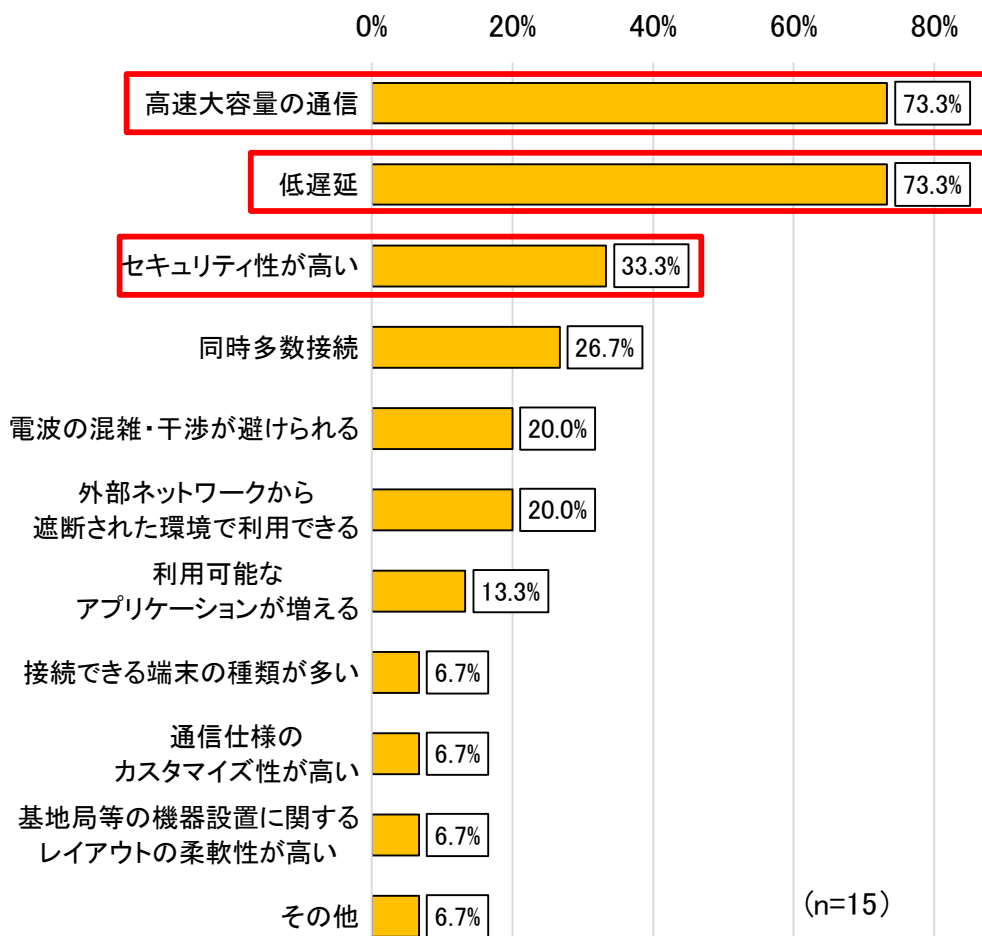
- 事業化への課題について、サービス供給側の事業者からは、「コストの高さ」、「ローカル5G対応端末の少なさ及び価格の高さ」、「技術面への対応可能な人材の確保」、「顧客に対してコストを上回る価値提供方法の模索」、が課題として上げられた。
- これらの課題は、サービス需要者側の認識とも、おおむね、一致しており、「利用費用が高い」、「初期導入費用が高い」、「利用できる端末が限られている」をローカル5Gのデメリットとして上げている割合が高い。
- 事業化に当たっては、上記のメリットをどのように活かし、上記課題を克服した上で、法人ユーザ企業等のニーズをいかに満たすか、という視点が重要であると思われる。

【ローカル5G事業における連携状況】

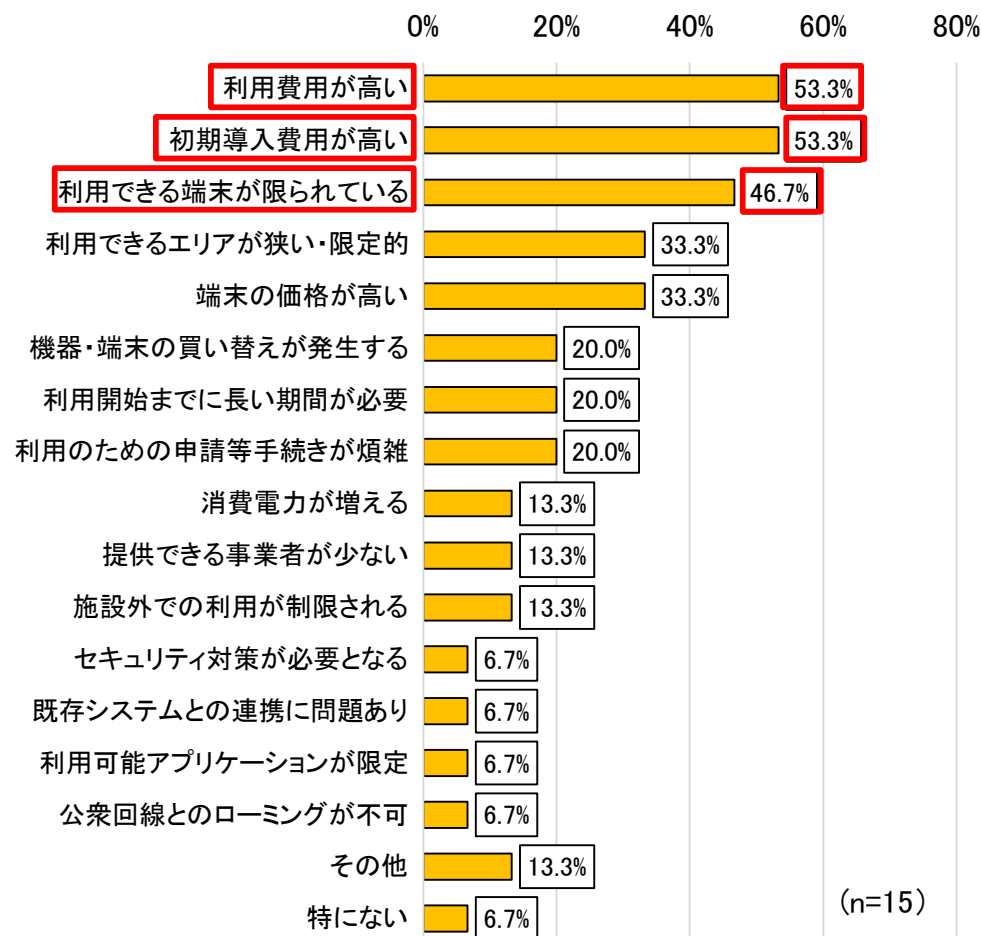
- ローカル5G事業における、連携状況を確認したところ、以下のとおりであった。
 - NTT東西はNTTドコモ・NTTコムを含め、特定の通信事業者と排他的連携は行っていない。
 - ケーブルテレビ事業者と全国BWA事業者・地域BWA事業者との連携、ベンダーとMNOの連携、地域BWA事業者と全国BWA事業者との連携が行われている。

- ローカル5Gを利用するメリットとして7割超の法人ユーザ企業等が「高速大容量の通信」や「低遅延」を挙げたほか、次いで「セキュリティ性が高い」も3割超挙げられている。
- デメリットとしては約5割が「利用費用が高い」、「初期導入費用が高い」と、料金面について挙げた。また「利用できる端末が限られている」も5割近く挙げた。

■ メリット



■ デメリット



【公正競争上の課題】

- ローカル5G事業の公正競争上の課題について、確認したところ、以下の意見があった。
 - スマート農業等の全国MNO基地局エリアを跨ぐユースケースが今後想定される。顧客のニーズに応えるため、NTT東西が限定的・補完的にローミング接続を行うことに対し、柔軟に対応いただきたい。
 - Sub6のローカル5Gの周波数(4.6-4.9GHz)とドコモに割り当てられている4.5GHz帯(4.5-4.6GHz)は隣接しており、技術的には、ドコモの5G設備をローカル5Gの帯域にも対応させることが可能。このため、NTT東西が競争事業者よりも優位にローカル5Gのネットワークを構築できるようなることや、NTT東日本、NTT西日本とNTTドコモが一体的に5Gを提供することを懸念。「ローカル5G導入に関するガイドライン」(令和4年3月最終改定)4の(3)公正競争の確保との関係で、継続的な検証をお願いしたい。
 - 令和4年度「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」の採択案件をみても、20案件中NTTグループの案件が半数近くとなっている。ローカル5Gのような新たな技術を利用して地域の人材力、技術力を底上げしつつデジタル田園都市国家構想の目指す地域の活性化に繋げていくという観点から、強大なNTTグループの通信市場における影響力、市場支配力が、地域独自のローカル5Gの取組みを阻害する可能性を懸念している。継続的な競争状況の検証をお願いしたい。
 - NTT東西によるローカル5Gサービスは、グループ内の排他的連携のみならず、全国の地域BWA等事業者側からの連携、又は全国MNO等との連携によりローカル5Gの免許人と同様にFWAサービスエリアを全国に数多く構築する事が可能であると考えており、必要に応じた禁止行為規制により市場支配力を有せない仕組み作りが必要。

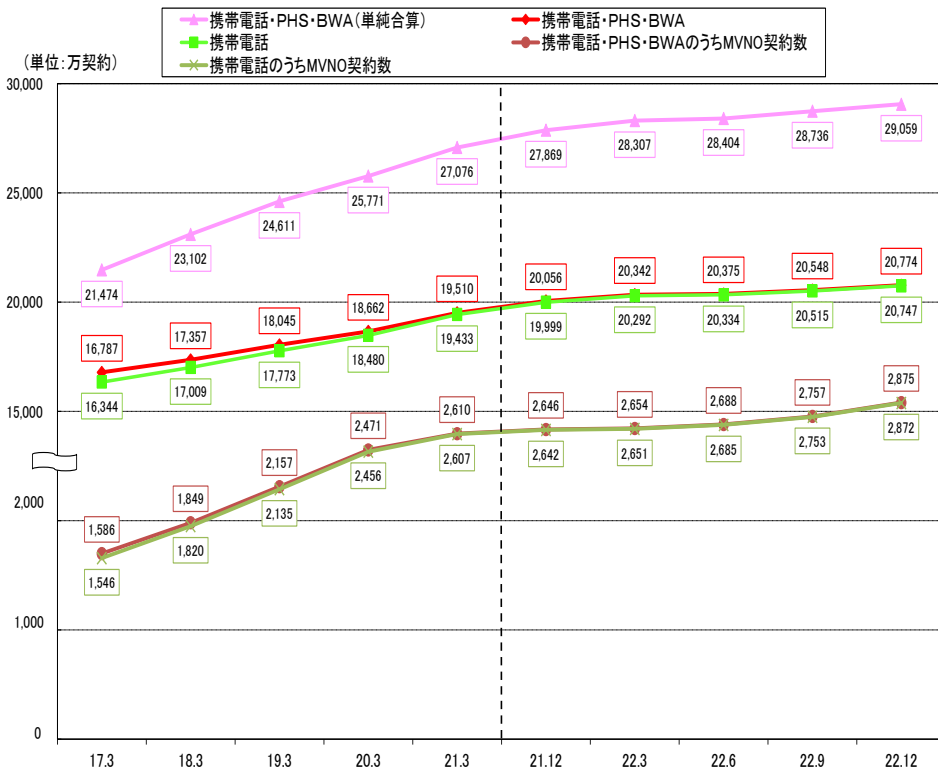
③ 移動系通信市場

- 2022年12月末時点における移動系通信の契約数は、2億774万(前期比+1.1%、前年同期比+3.6%)、携帯電話向け通信サービス※の契約数は、1億6,261万(前期比+0.3%、前年同期比+1.0%)となっている。また、MNOの卸契約数は2,875万(前期比+4.3%、前年同期比+8.7%)となっており、引き続き増加傾向にある。
※ 携帯電話契約数から通信モジュール契約数を除いたもの
- 携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアは、ソフトバンク・MVNOが微増、楽天モバイルが同率、NTTドコモ・KDDIが微減となっている。また、利用者の動向を分析すると、利用期間2年未満の利用者が3割程度である。利用期間が短い利用者の動向を分析すると、同一事業者又はグループ内事業者が提供する低廉なプランへ変更する利用者が多い。
- MNO4グループ及びMVNO別の携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアの分布(2022年12月末)
 - ・ NTTドコモ: **37.4%**(前期比▲0.2pt、前年同期比▲0.3pt)
 - ・ KDDIグループ: **24.4%**(前期比▲0.2pt、前年同期比▲0.3pt)
 - ・ ソフトバンク: **23.6%**(前期比▲0.1pt、前年同期比+0.3pt)
 - ・ 楽天モバイル: **2.8%**(前期比、前年同期比ともに±0pt)
 - ・ MVNO: **12.0%**(前期比+0.5pt、前年同期比+0.4pt)
- MNPの利用数が増加している要因を分析するため、利用期間3年未満のMNP転入利用者に限定した利用期間別の理由を確認したところ、利用者が事業者を選択する理由としては、メイン・サブともに「月額料金が安い」「都合の良い料金体系がある」「料金プランがわかりやすい」の3つが上位であり、月額料金に関する事項を選択理由とする割合が高い。
- 音声通話アプリケーション及びメッセージングアプリについて、携帯電話サービスにおける通話及びメールとの使い分けについて確認したところ、「使い分けている」と回答した利用者が圧倒的に多かった。このことから、携帯電話サービスにおける通話及びメールとの代替性はあるものの、現時点においては、その代替性の程度は大きくないといえる。

移動系通信市場の契約数・事業者別シェア

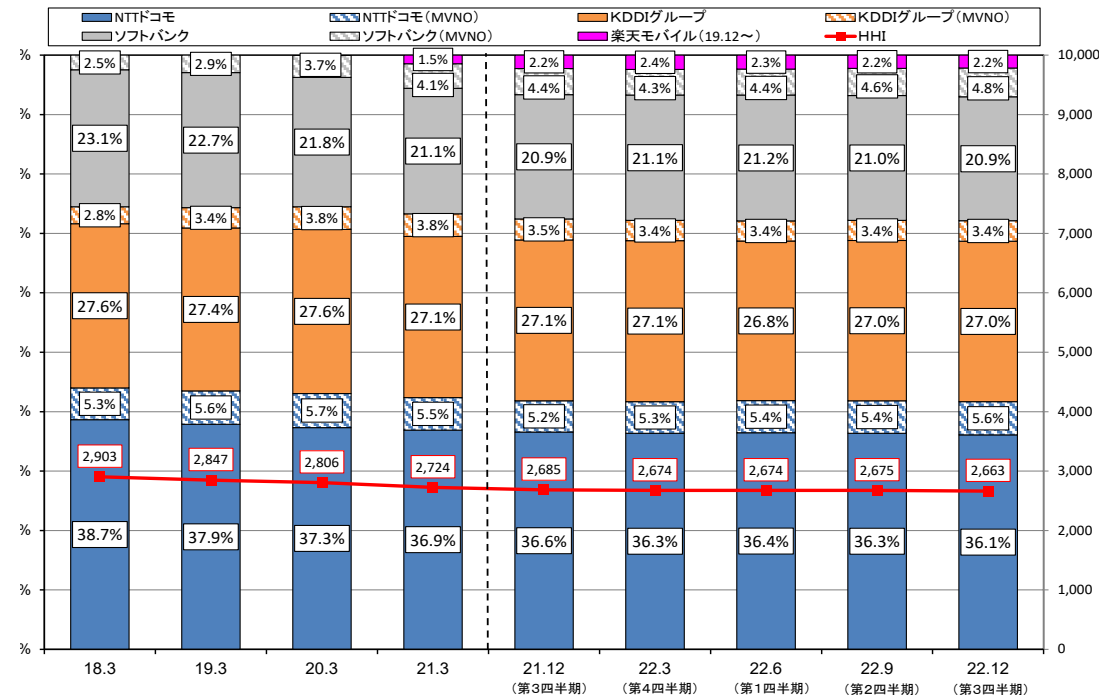
- 2022年12月末時点における移動系通信(携帯電話(3G、LTE及び5G)、PHS及びBWA)の契約数は、2億774万(前期比+1.1%、前年同期比+3.6%)、携帯電話の契約数は、2億747万(前期比+1.1%、前年同期比+3.7%)となっている。
- MNO4グループ及びMVNO別の移動系通信市場におけるシェアの分布(2022年12月末)は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが36.1%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.5ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると41.7%)
 - ・ KDDIグループが27.0%(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると30.4%)
 - ・ ソフトバンクが20.9%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると25.7%)
 - ・ 楽天モバイルが2.2%(前期比、前年同期比ともに▲0.1ポイント)
 - ・ MVNOが13.8%(前期比+0.4ポイント、前年同期比+0.6ポイント)

【移動系通信の契約数の推移】



注: MNOからの報告を基に作成。

【移動系通信市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



注1: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。

注2: MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。

注3: 楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。

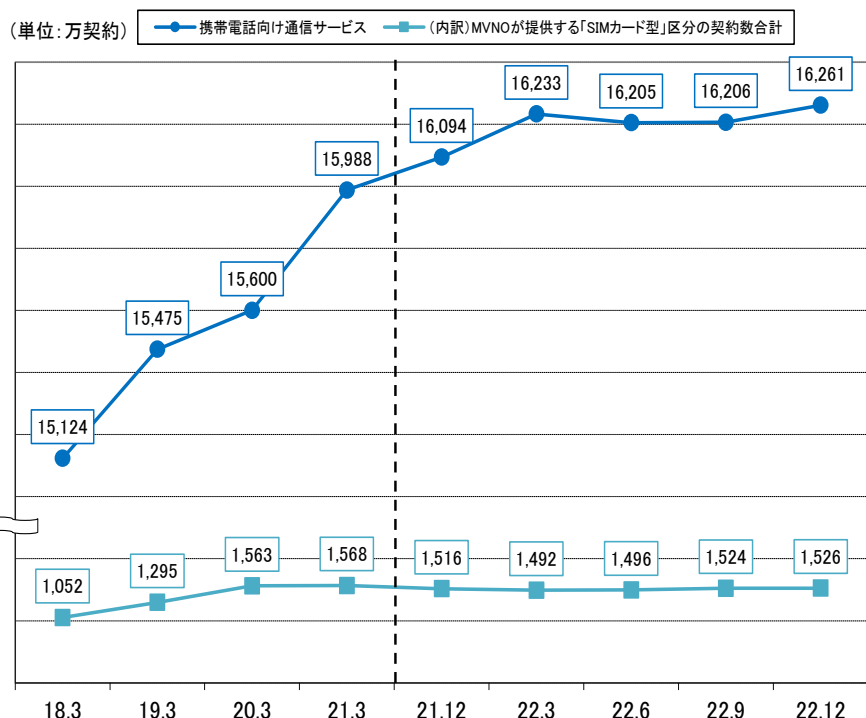
注4: HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2022年12月末時点における携帯電話向け通信サービス※の契約数は、1億6,261万（前期比+0.3%、前年同期比+1.0%）となっている。
- MNO4グループ及びMVNO別の携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアの分布（2022年12月末）は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが37.4%（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると44.1%）
 - ・ KDDIグループが24.4%（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると27.1%）
 - ・ ソフトバンクが23.6%（前期比▲0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると26.0%）
 - ・ 楽天モバイルが2.8%（前期比、前年同期比ともに±0ポイント）
 - ・ MVNOが12.0%（前期比+0.5ポイント、前年同期比+0.4ポイント）

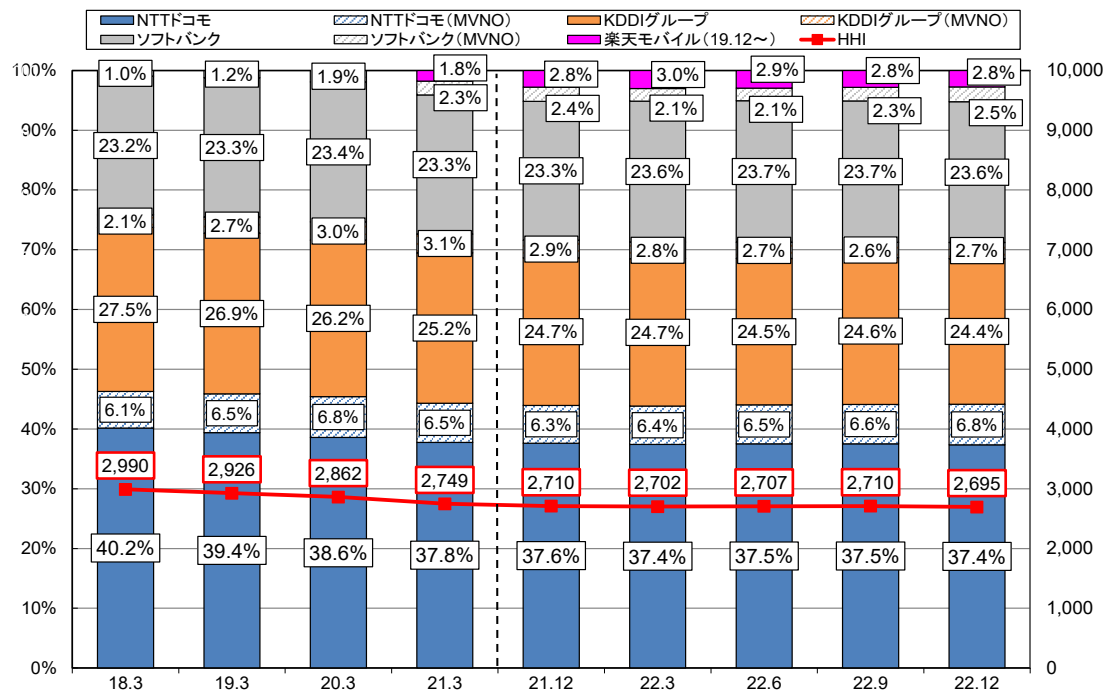
※ 携帯電話契約数から通信モジュール契約数を除いたもの

【携帯電話向け通信サービスの契約数の推移】



注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

【携帯電話向け通信サービス市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



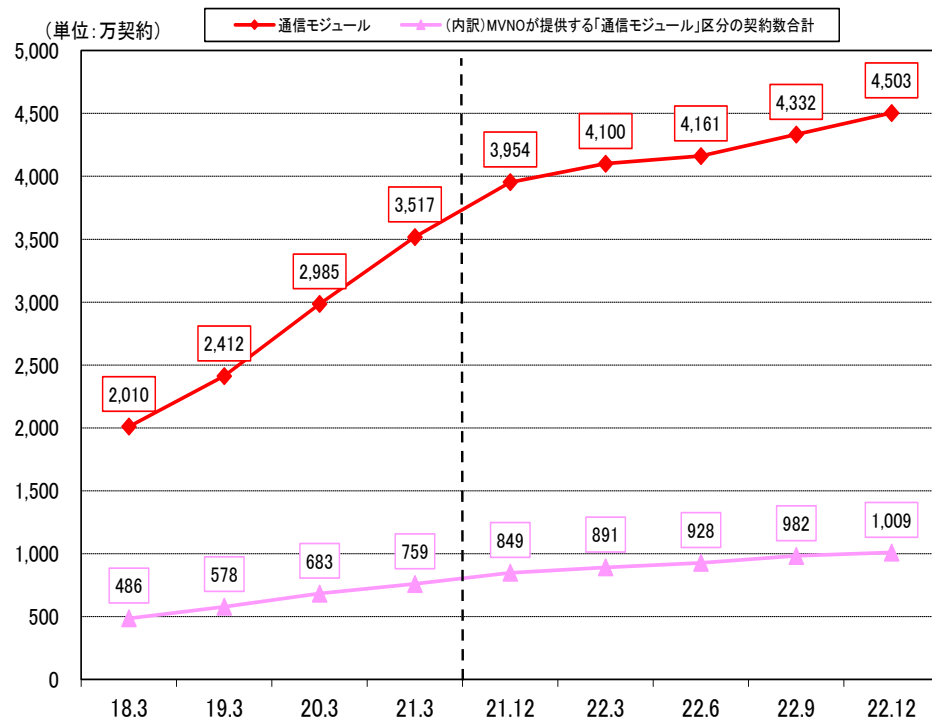
注1: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズ(2020年度第2四半期まで)が含まれる。
 注2: MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
 注3: 楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。
 注4: HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。
 注5: 各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

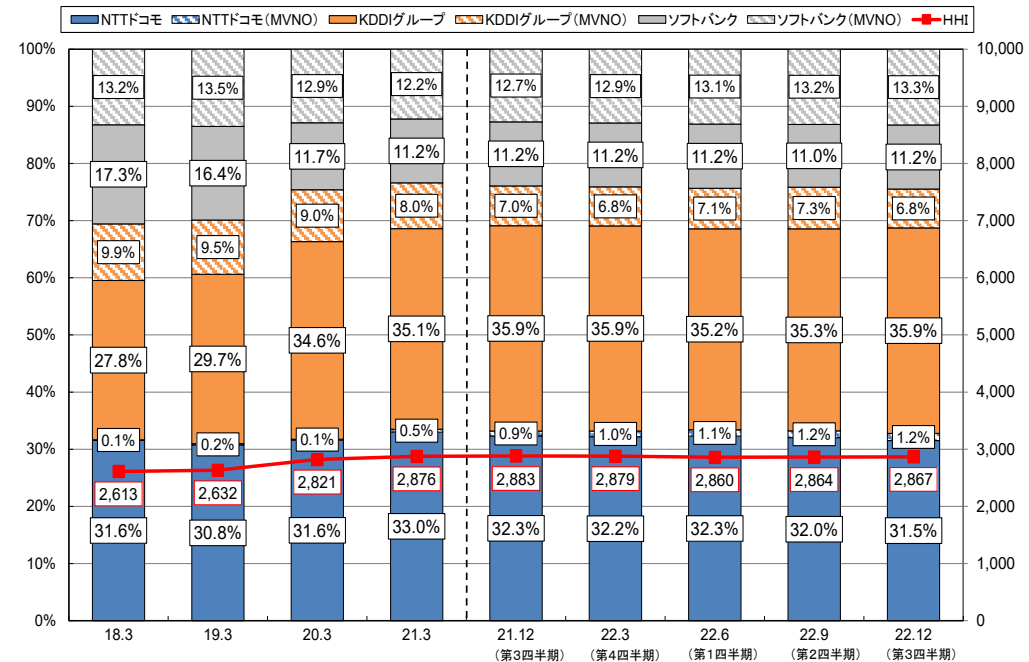
- 2022年12月末時点における通信モジュールの契約数は、4,503万(前期比+3.9%、前年同期比+13.9%)となっている。
- MNO3グループ及びMVNO別の通信モジュール市場におけるシェアの分布(2022年12月末)は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが31.5%(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲0.8ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると32.8%)
 - ・ KDDIグループが35.9%(前期比+0.6ポイント、前年同期比±0ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると42.8%)
 - ・ ソフトバンクが11.2%(前期比+0.2ポイント、前年同期比±0ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると24.5%)
 - ・ MVNOが21.3%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比+0.8ポイント)

【通信モジュールの契約数の推移】



注:MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

【通信モジュール市場におけるシェア及び市場集中度の推移】

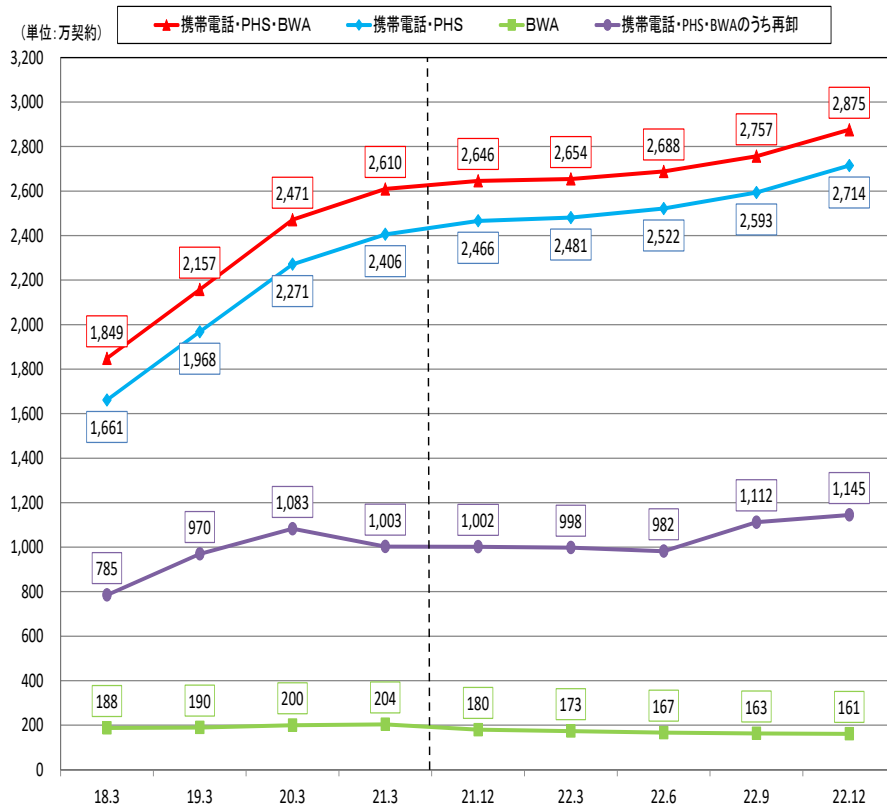


- 注1:「KDDIグループ」には、KDDI及び沖縄セルラーを含む。
- 注2: MVNOのシェアを提供元のMNOごとに合算し、当該MNO名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
- 注3: 各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。
- 注4: 実質的にはIoT向けと考えられるものの、MVNOから「通信モジュール」ではなく「SIMカード型」として契約数の報告がなされている場合も存在する可能性があるため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。
- 注5: 通信モジュールを提供するMVNOの中には、MNOと同様の形態でサービスを提供していないものも含まれている可能性がある。
- 注6: 本グラフでは、携帯電話回線を用いた通信モジュール契約数からシェアを算出している。

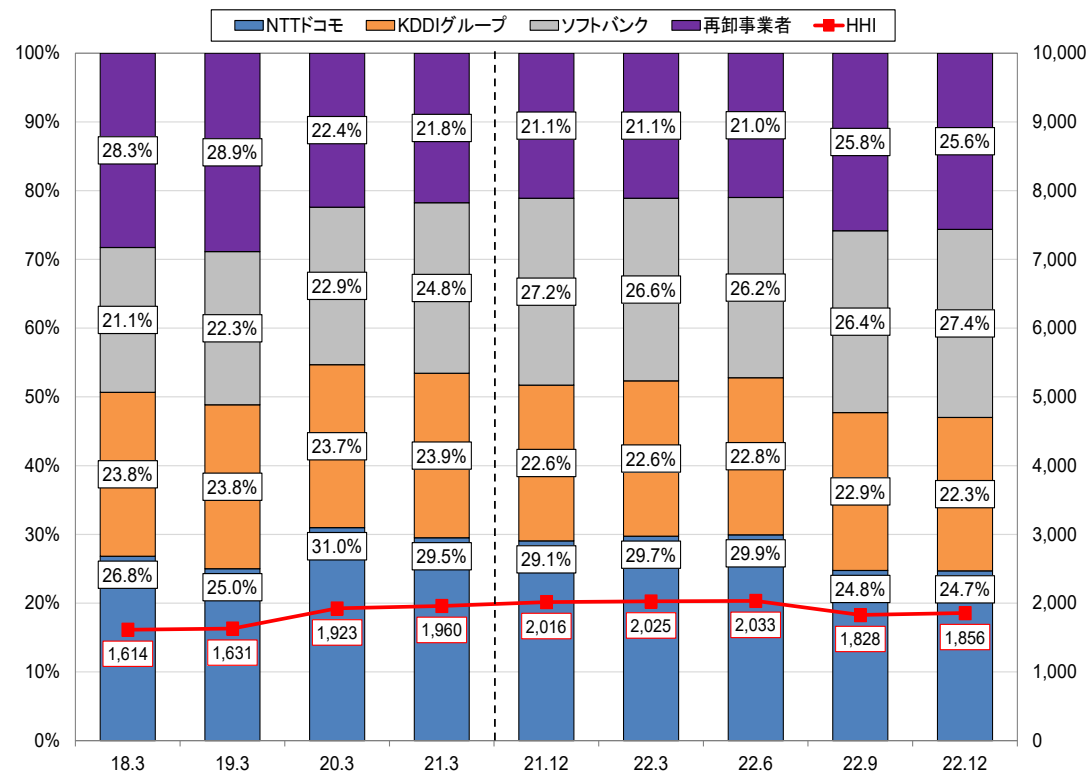
- 2022年12月末時点におけるMNOの卸契約数は**2,875万**(前期比+4.3%、前年同期比+8.7%)となっており、引き続き**増加傾向**にある。また、再卸事業者が提供する契約数は**1,145万**(前期比+2.9%、前年同期比+14.2%)となっており、直近では**横ばい**となっている。
- 2022年12月末時点における**最終利用者に提供するMVNO***の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**24.7%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲4.4ポイント)、KDDIグループが**22.3%**(前期比▲0.6ポイント、前年同期比▲0.3ポイント)、ソフトバンクが**27.4%**(前期比+0.9ポイント、前年同期比+0.2ポイント)、再卸事業者が**25.6%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比+4.5ポイント)となっている。HHIは**1,856**となっている。

※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【移動系通信の卸契約数の推移】



【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1:「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

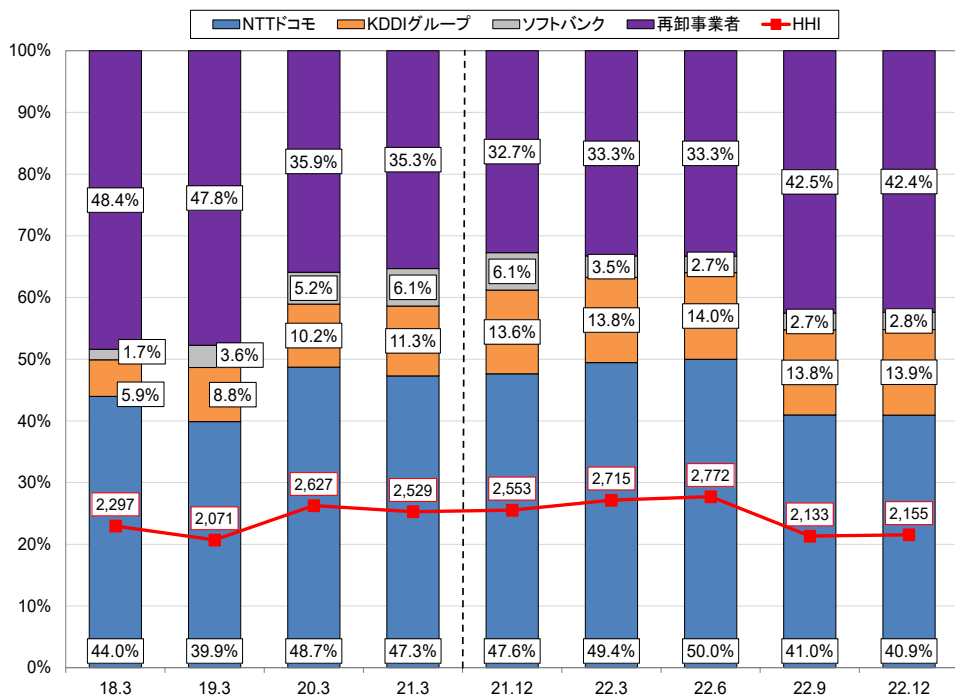
注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

● 2022年12月末時点における携帯電話向け通信サービス市場の最終利用者に提供するMVNO*の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**40.9%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲6.7ポイント)、KDDIグループが**13.9%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、ソフトバンクが**2.8%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+3.3ポイント)、再卸事業者が**42.4%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比+9.7ポイント)となっている。HHIは**2,155**となっている。

● 2022年12月末時点における通信モジュール市場の最終利用者に提供するMVNO*の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**5.5%**(前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.4ポイント)、KDDIグループが**30.8%**(前期比▲1.7ポイント、前年同期比▲2.1ポイント)、ソフトバンクが**59.4%**(前期比+1.2ポイント、前年同期比±0ポイント)、再卸事業者が**4.3%**(前期比+0.2ポイント、前年同期比+0.7ポイント)となっている。HHIは**4,495**となっている。

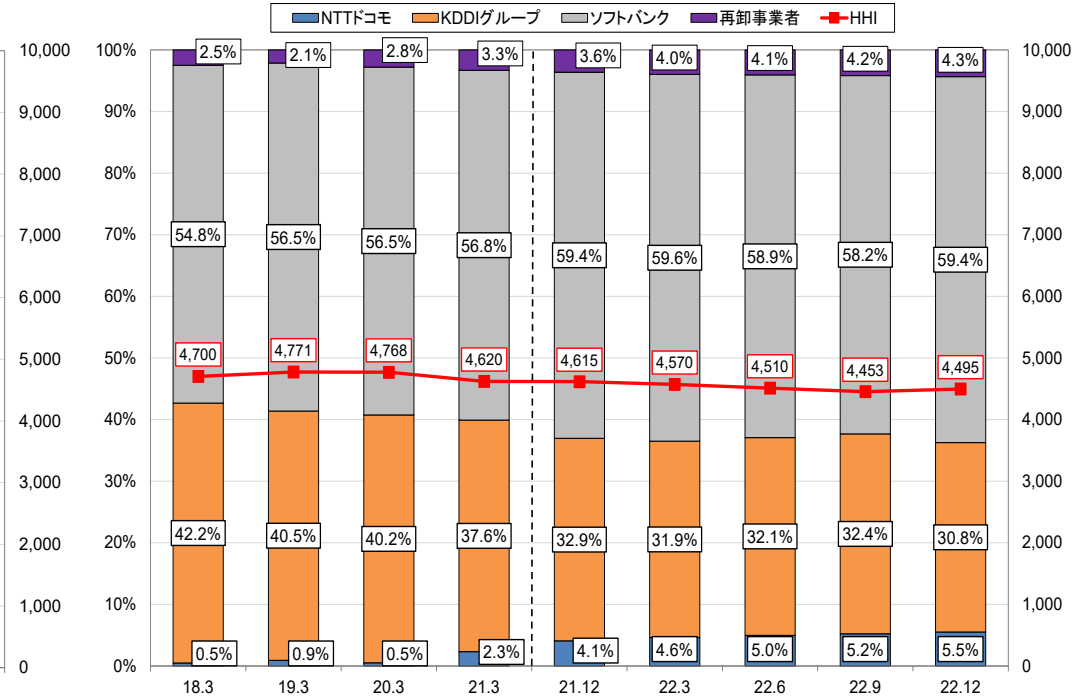
※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(SIMカード型)】



注1:「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(通信モジュール)】



注1:「KDDIグループ」には、KDDI及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

- 10年以上同一の事業者の携帯電話サービスを継続して利用している利用者が4割程度となっている。一方、3分の1程度の利用者は、2年未満の継続利用年数となっており、「比較的頻繁に事業者を変更する利用者」と「長期間同一の事業者のサービスを継続する利用者」との分化がなされていることがうかがえる。
- 一方で、複数の携帯電話サービスを利用している利用者におけるサブ回線についてみると、2年未満の継続利用年数となっている利用者が45%超となっており、新たにサービスを利用し始めた場合又はサービスを切り替えてから間もない場合が多いことがうかがえる。

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
該当数を除き、単位：%									
全体		6000	16.2	14.1	9.8	10.5	6.2	4.6	38.7
現在利用しているサービス(メイン端末)	NTTドコモ	1713	4.0	3.7	4.1	7.1	3.3	5.4	72.4
	ahamo	289	34.6	34.6	10.0	3.1	1.7	1.7	14.2
	au	929	6.6	5.0	5.1	8.9	6.0	6.6	61.9
	povo	120	44.2	38.3	6.7	4.2	0.8	0.0	5.8
	ソフトバンク	673	8.6	3.6	6.8	11.1	6.8	6.4	56.6
	LINEMO	70	45.7	34.3	7.1	8.6	2.9	0.0	1.4
	楽天モバイル(MNO)	556	21.4	37.6	24.3	10.6	4.0	1.3	0.9
	ワイモバイル	634	24.9	23.8	14.8	19.6	9.1	3.3	4.4
UQモバイル	431	44.8	24.8	13.9	10.7	3.9	0.7	1.2	
その他MVNO	585	21.7	12.6	16.1	17.6	18.1	7.7	6.2	

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
該当数を除き、単位：%									
全体		720	30.3	15.6	10.8	10.8	6.5	2.8	23.2
現在利用しているサービス(サブ端末)	NTTドコモ	164	15.2	6.7	7.9	12.2	6.7	2.4	48.8
	ahamo	13	46.2	15.4	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7
	au	78	16.7	7.7	6.4	11.5	7.7	3.8	46.2
	povo	49	75.5	14.3	6.1	4.1	0.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	62	21.0	12.9	8.1	9.7	4.8	6.5	37.1
	LINEMO	16	62.5	12.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル(MNO)	92	26.1	39.1	25.0	6.5	1.1	1.1	1.1
	ワイモバイル	44	25.0	18.2	9.1	11.4	15.9	2.3	18.2
UQモバイル	29	55.2	20.7	6.9	10.3	3.4	0.0	3.4	
その他MVNO	173	36.4	15.0	10.4	13.9	10.4	4.0	9.8	

- 直近3年間に事業者を切り替えたことがある利用者に対し、自らが現在利用している携帯電話サービスを選択した際に選択肢となった事業者の範囲について確認した。
- メイン回線及びサブ回線のいずれについても、「現在利用中の1社のみしか検討しなかった」との回答が約4割程度となっている。2社以上を比較検討した利用者においては、UQモバイル、ワイモバイル、楽天モバイルが選択肢となったと回答した利用者が比較的多くみられた。
- 現在利用しているサービス別にみた場合、MNO利用者においては、MNO事業者が提供するサービスが選択肢の中心となっているものの、MVNO事業者も一定程度選択肢として挙げられており、MVNO利用者においては、その反対の状況がみられる。

該当数を除き、単位：%

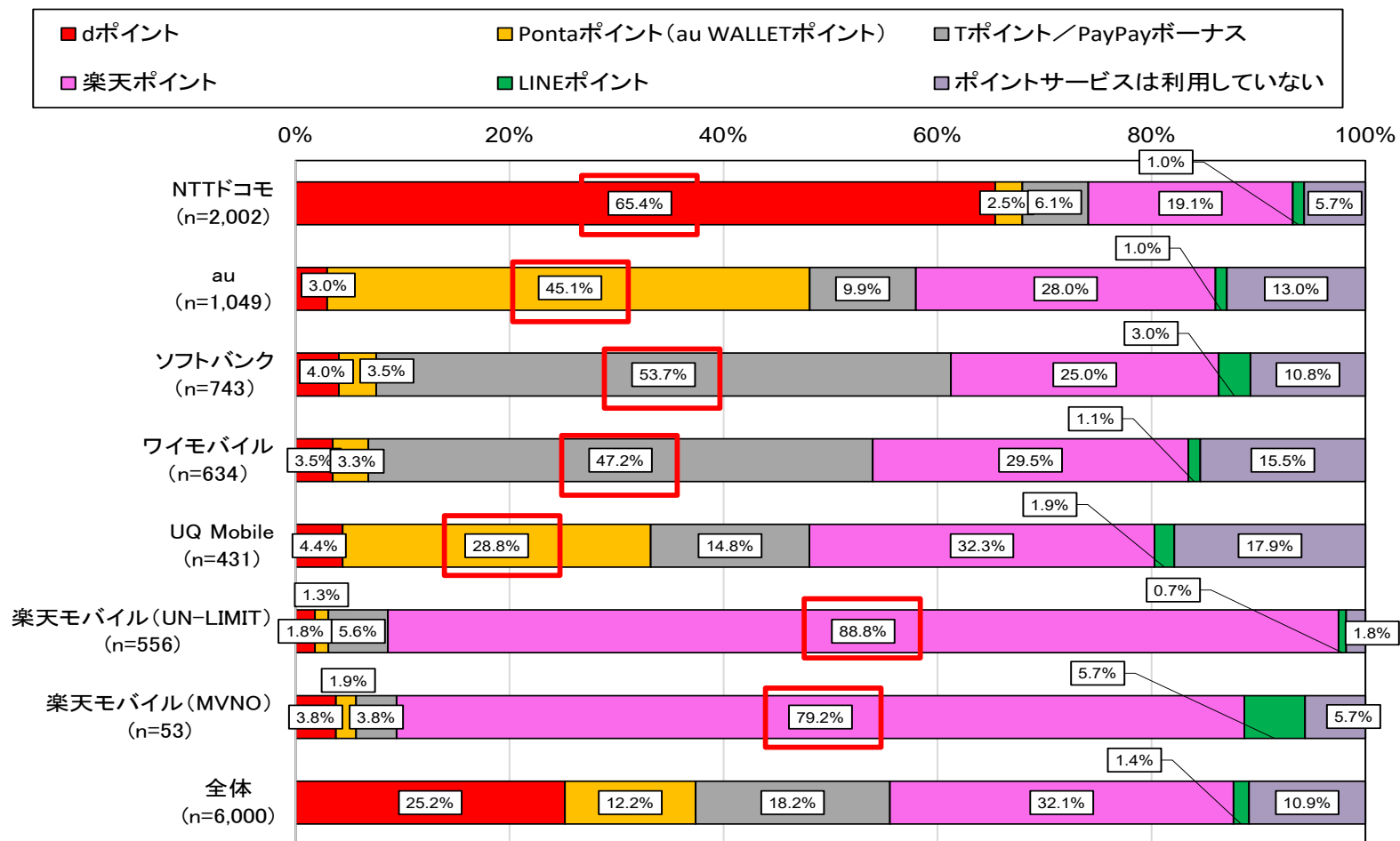
		該当数	現在の利用中の1社しか検討しなかった	2社以上検討した	わからない
全体		2402	41.0	45.5	13.5
現在利用している携帯電話サービス（メイン端末）	NTTドコモ	202	46.5	44.6	8.9
	ahamo	229	45.0	42.8	12.2
	au	154	33.8	50.6	15.6
	povo	107	43.9	43.9	12.1
	ソフトバンク	128	39.1	43.0	18.0
	LINEMO	61	31.1	50.8	18.0
	楽天モバイル(MNO)	463	45.6	42.3	12.1
	ワイモバイル	403	43.7	41.4	14.9
	UQモバイル	360	35.3	51.1	13.6
	その他MVNO	229	45.0	42.8	12.2

2社以上検討した回答者が挙げた他の選択肢(上位5つ)

楽天モバイル 10.5%	ワイモバイル 9.2%	UQモバイル 9.2%	au 6.8%	ahamo 6.7%
ソフトバンク 12.9%	au 10.9%	楽天モバイル 6.4%	ahamo 6.4%	UQモバイル 5.0%
楽天モバイル 10.0%	NTTドコモ 8.7%	povo 8.7%	ワイモバイル 4.8%	LINEMO 4.8%
NTTドコモ 9.7%	UQモバイル 7.8%	ソフトバンク 7.1%	ワイモバイル 5.2%	楽天モバイル 3.9%
ahamo 17.8%	LINEMO 8.4%	au 6.5%	楽天モバイル 6.5%	UQモバイル 5.6%
au 7.8%	NTTドコモ 7.0%	ワイモバイル 7.0%	UQモバイル 4.7%	ahamo 3.9%
povo 21.3%	ahamo 18.0%	ワイモバイル 8.2%	楽天モバイル 8.2%	UQモバイル 4.9%
ワイモバイル 10.4%	UQモバイル 10.4%	povo 5.6%	ahamo 5.4%	au 4.8%
ソフトバンク 8.7%	楽天モバイル 7.9%	UQモバイル 7.4%	LINEMO 5.0%	ahamo 3.2%
楽天モバイル 11.4%	ワイモバイル 10.8%	povo 7.2%	au 6.7%	ahamo 4.2%
楽天モバイル 10.5%	UQモバイル 9.5%	ワイモバイル 6.1%	povo 4.4%	ソフトバンク,LINEMO 3.7%

		該当数	現在の利用中の1社 か検討した	2社以上検討した	わからない	2社以上検討した回答者が挙げた 他の選択肢(上位5つ)				
全体		408	39.7	42.9	17.4					
現在利用している携帯電話サービス(サブ端末)	NTTドコモ	49	44.9	44.9	10.2	povo	NTTドコモ	ahamo	ソフトバンク	au,UQモバイル
	ahamo	12	25.0	50.0	25.0	8.8%	8.1%	8.1%	7.8%	7.8%
	au	24	25.0	50.0	25.0	楽天モバイル	ソフトバンク	au	povo	UQモバイル,ワイモバイル
	povo	47	40.4	48.9	10.6	14.3%	14.3%	12.2%	4.1%	4.1%
	ソフトバンク	26	34.6	38.5	26.9	NTTドコモ	au	ソフトバンク	LINEMO	-
	LINEMO	13	53.8	30.8	15.4	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	-
	楽天モバイル(MNO)	83	48.2	42.2	9.6	ahamo	povo	ワイモバイル	NTTドコモ	LINEMO,UQモバイル
	ワイモバイル	23	30.4	52.2	17.4	16.7%	16.7%	16.7%	12.5%	12.5%
	UQモバイル	24	37.5	45.8	16.7	ahamo	NTTドコモ	LINEMO	UQモバイル	ワイモバイル,楽天モバイル
	その他MVNO	12	25.0	50.0	25.0	19.1%	10.6%	8.5%	8.5%	6.4%
						ワイモバイル	au	ahamo,povo,NTTドコモ,LINEMO,UQモバイル,楽天モバイル		
						7.7%	7.7%	3.8%		
						ソフトバンク	povo	ワイモバイル,au,NTTドコモ,LINEMO,UQモバイル,楽天モバイル		
						15.4%	15.4%	7.7%		
						povo	ahamo	UQモバイル	ワイモバイル	LINEMO
						10.8%	9.6%	7.2%	6.0%	6.0%
						ソフトバンク	au	povo,楽天モバイル,UQモバイル,LINEMO,NTTドコモ		
						21.7%	13.0%	8.7%		
						楽天モバイル	ワイモバイル	LINEMO	au	povo,ahamo
						12.5%	8.3%	8.3%	4.2%	4.2%
						UQモバイル	ワイモバイル	povo	ahamo	au
						7.5%	5.6%	5.6%	4.7%	3.7%

- 日頃の買い物の際に「最も」利用しているポイントサービスについては、携帯電話サービスの利用に応じて得られるポイントサービスを挙げる利用者が多くみられた。ただし、楽天ポイントについては、楽天モバイル以外の携帯電話サービス利用者においても一定のシェアを有している。
- 携帯電話サービスの利用に応じて得られるポイントサービスが仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続するか否かについて確認したところ、利用を継続しないとの回答は17.2%にとどまった。



- MNPの利用数が増加している要因を分析するため、利用期間3年未満のMNP転入利用者に限定した利用期間別の理由を確認したところ、利用者が事業者を選択する理由としては、メイン・サブともに「月額料金が安い」「都合の良い料金体系がある」「料金プランがわかりやすい」の3つが上位であり、月額料金に関する事項を選択理由とする割合が高くなっている。
- メイン回線の利用期間半年未満の利用者、サブ回線の利用期間1年未満の利用者については、「端末購入の割引・キャッシュバック」を選択する割合が高くなっている。

【利用期間3年未満のMNP転入利用者に限定した利用期間別の理由】

	該当数	事業者選択の理由																													
		初期費用（手数料・端末価格等）が安い	月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	固定電話や固定インターネット回線、プロバイダ（ISP）などの通信サービスとの一括契約による割引サービスがある	家族割引サービスを活用させる	その他割引サービスが充実している	キャッシュバックが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	新しい事業者・ブランドだから	通信事業者のブランドイメージが良い	欲しい端末がある	端末購入の割引・キャッシュバック	端末をそのまま使えたから（SIMロック解除した場合も含む）	魅力的な付加サービス（オプション）がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	量販店やWebで手軽に購入・契約できる	解約の条件や手続きがわかりやすい	販売店や電話等で強く勧められた	家族や知人に勧められた	インターネット・SNS情報で評判が良い	自身が選択に関わっておらず（家族等が選択）、不明	MNP（電話番号をそのまま別の携帯電話事業者に契約変更）手数料がない又は安い（税抜1000円以下）	以前利用していた事業者（サービス）が廃止・他サービスと統合した	その他	
全体	1355	3.1	49.9	7.2	6.1	1.5	2.7	0.7	2.0	4.6	2.4	0.3	0.1	0.9	1.0	2.7	1.8	0.6	1.7	0.5	1.1	0.7	0.5	1.1	2.7	0.7	1.2	1.1	0.3	0.9	
メイン回線	半年未満	3.4	46.7	7.1	6.2	1.5	2.2	0.6	5.3	3.1	1.9	0.0	0.0	1.5	0.9	6.5	2.5	0.6	0.9	0.6	0.9	0.3	0.0	1.2	3.7	0.0	0.3	0.9	0.0	0.9	
	半年以上1年未満	3.9	51.8	5.7	6.8	1.8	2.9	1.1	1.1	3.9	3.2	0.0	0.0	0.7	1.4	2.5	1.1	0.4	2.5	0.4	1.8	0.7	1.1	0.4	1.4	0.7	0.7	1.4	0.4	0.4	
	1年以上2年未満	2.4	53.3	9.0	5.7	1.3	2.9	0.4	0.7	4.8	2.6	0.7	0.2	0.7	0.9	0.9	1.3	0.4	2.2	0.2	1.1	0.7	0.9	0.9	2.6	0.2	1.1	0.7	0.4	0.7	
	2年以上3年未満	3.0	46.3	5.7	5.7	1.3	2.7	0.7	1.3	6.7	2.0	0.3	0.3	0.7	0.7	1.7	2.7	1.0	1.0	1.0	0.7	1.0	0.0	2.0	3.0	2.0	2.7	1.7	0.3	1.7	
サブ回線	全体	2.7	42.7	9.1	6.4	1.8	1.8	0.9	5.5	0.9	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	5.5	0.0	2.7	2.7	1.8	0.0	0.9	0.0	1.8	2.7	1.8	1.8	1.8	0.9	0.0	
	半年未満	0.0	52.6	7.9	7.9	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	
	半年以上1年未満	3.8	53.8	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	0.0	37.5	8.3	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	
2年以上3年未満	9.1	18.2	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	

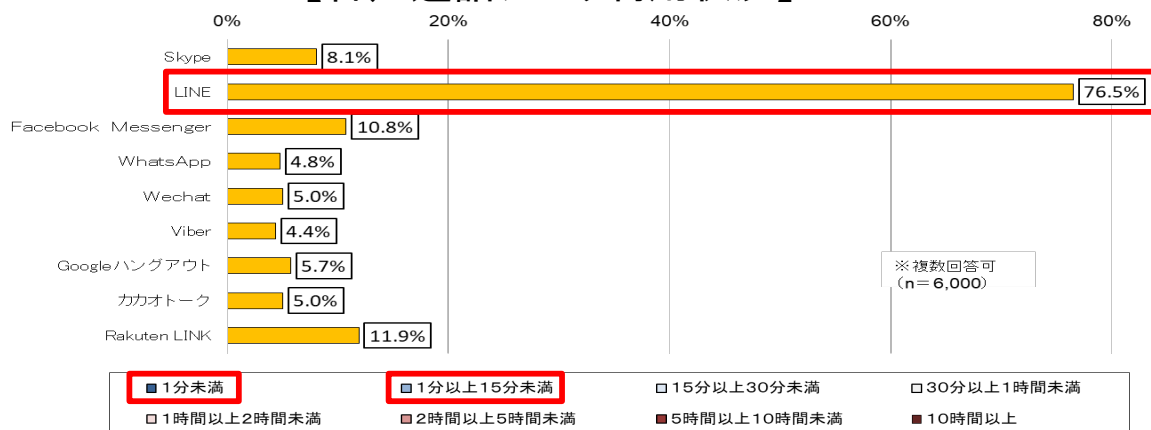
- MNPの利用数が増加している要因(MNP利用数:546万件(2020年度)→808万件(2021年度))を分析するため、利用期間3年未満のMNP転入利用者に事業者を変更した理由を確認したところ、メイン・サブともに「月額料金が安い」「都合の良い料金体系がある」「料金プランがわかりやすい」の3つが上位であり、月額料金に関する事項を選択理由とする割合が高くなっている。
- メイン回線の利用期間半年未満の利用者、サブ回線の利用期間1年未満の利用者については、「端末購入の割引・キャッシュバック」を選択する割合が高くなっている。

【利用期間3年未満のMNP転入利用者に限定した利用期間別の理由】

	該当数	初期費用(手数料・端末価格等)が安い	事業者選択の理由																												
			月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	固定電話や固定インターネット回線、プロバイダ(ISP)などの通信サービスとの一括契約による割引サービスがある	家族割引サービスを適用させる	その他割引サービスが充実している	キャッシュバックが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	新しい事業者・ブランドだから	通信事業者のブランドイメージが良い	欲しい端末がある	端末購入の割引・キャッシュバック	端末をそのまま使えたから(SIMロック解除した場合も含む)	魅力的な付加サービス(オプション)がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	量販店やWebで手軽に購入・契約できる	解約の条件や手続きがわかりやすい	販売店や電話等で強く勧められた	家族や知人に勧められた	インターネット・SNS情報で評判がいい	自身が選択に関わっておらず(家族等が選択)、不明	MNP(電話番号をそのまま別の携帯電話事業者に変更)手数料がない又は安い(税抜1000円以下)	以前利用していた事業者(サービス)が廃止・他サービスと統合した	その他	
全体	1355	3.1	49.9	7.2	6.1	1.5	2.7	0.7	2.0	4.6	2.4	0.3	0.1	0.9	1.0	2.7	1.8	0.6	1.7	0.5	1.1	0.7	0.5	1.1	2.7	0.7	1.2	1.1	0.3	0.9	
メイン回線	半年未満	323	3.4	46.7	7.1	6.2	1.5	2.2	0.6	5.3	3.1	1.9	0.0	1.5	0.9	6.5	2.5	0.6	0.9	0.6	0.9	0.3	0.0	1.2	3.7	0.0	0.3	0.9	0.0	0.9	
	半年以上1年未満	280	3.9	51.8	5.7	6.8	1.8	2.9	1.1	1.1	3.9	3.2	0.0	0.7	1.4	2.5	1.1	0.4	2.5	0.4	1.8	0.7	1.1	0.4	1.4	0.7	0.7	1.4	0.4	0.4	
	1年以上2年未満	454	2.4	53.3	9.0	5.7	1.3	2.9	0.4	0.7	4.8	2.6	0.7	0.2	0.7	0.9	0.9	1.3	0.4	2.2	0.2	1.1	0.7	0.9	0.9	2.6	0.2	1.1	0.7	0.4	0.7
	2年以上3年未満	298	3.0	46.3	5.7	5.7	1.3	2.7	0.7	1.3	6.7	2.0	0.3	0.3	0.7	0.7	1.7	2.7	1.0	1.0	1.0	0.7	1.0	0.0	2.0	3.0	2.0	2.7	1.7	0.3	1.7
サブ回線	全体	110	2.7	42.7	9.1	6.4	1.8	1.8	0.9	5.5	0.9	0.0	0.0	3.6	0.0	5.5	0.0	2.7	2.7	1.8	0.0	0.9	0.0	1.8	2.7	1.8	1.8	1.8	0.9	0.0	
	半年未満	38	0.0	52.6	7.9	7.9	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	
	半年以上1年未満	26	3.8	53.8	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	24	0.0	37.5	8.3	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	
2年以上3年未満	22	9.1	18.2	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	

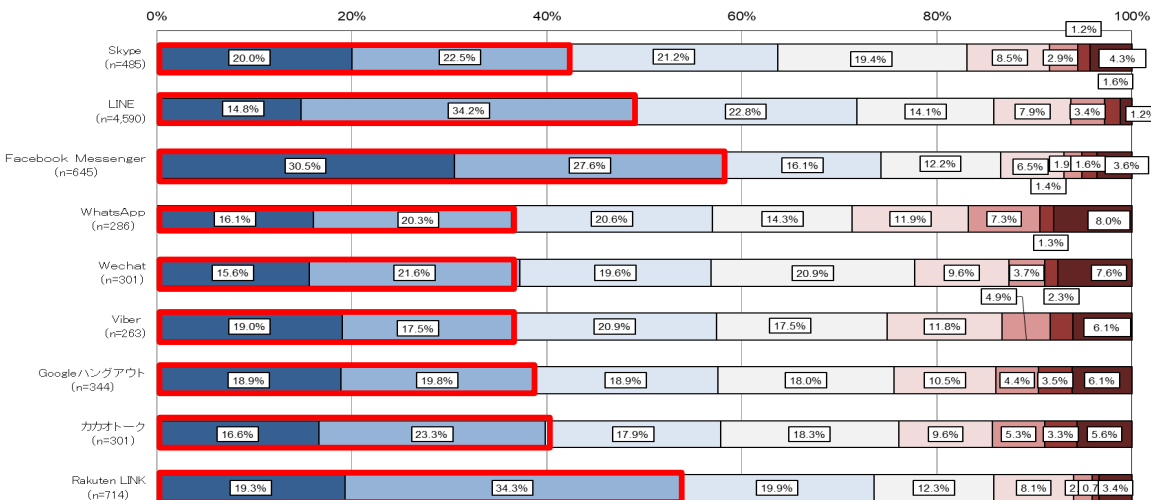
- 現在利用している音声通話アプリケーションについては、「LINE」が**76.5%**と突出していた。こうした通話アプリケーションを用いた通話の利用時間(1週間あたり)は、いずれのサービスでも、大多数が「1分未満」又は「1分以上15分未満」との回答であった。
- また、こうした音声通話アプリケーションについて、携帯電話サービスにおける通話との使い分けについて確認したところ、使い分けをしていないとの回答をした利用者は、いずれのサービスにおいても約2~3割に留まっており、携帯電話サービスにおける通話と通話アプリケーションとを使い分けしている利用者が圧倒的に多かった。このことから、携帯電話サービスにおける通話との代替性はあるものの、現時点においては、その代替性の程度は大きくないといえる。

【音声通話アプリ利用状況】



【携帯電話サービスにおける通話との使い分け状況】

サービス	使い分けをしていないとの回答割合
Skype (n=485)	19.8%
LINE (n=4,590)	20.0%
Facebook Messenger (n=645)	24.3%
WhatsApp (n=286)	22.0%
Webchat (n=301)	24.6%
Viber (n=263)	27.4%
Google ハングアウト (n=344)	28.8%
カカオトーク (n=301)	27.2%
Rakuten LINK (n=714)	23.8%



- 音声通話アプリの利用率はLINEが76.5%で突出している。LINEの平均利用時間は36.2分/週。
- 全体的に若年層ほど利用率が高く、平均利用時間も長い。

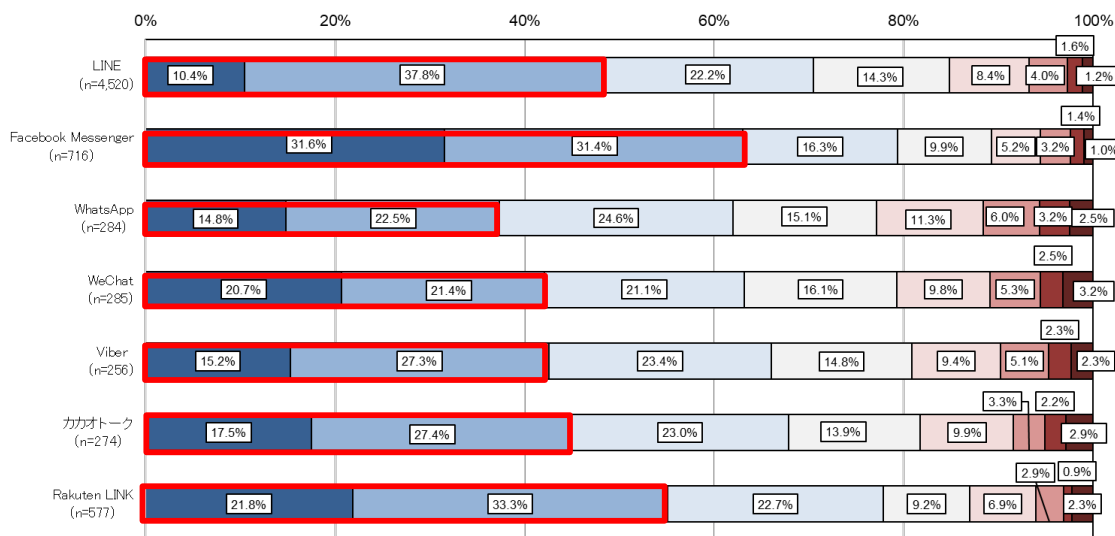
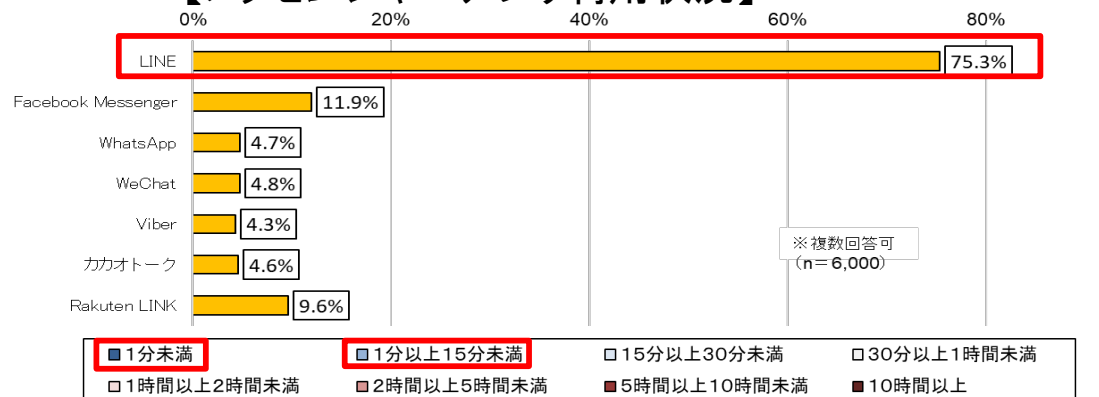
	音声通話アプリ利用 【Skype】		音声通話アプリ利用 【LINE】		音声通話アプリ利用 【Facebook Messenger】		音声通話アプリ利用 【WhatsApp】		音声通話アプリ利用 【Wechat】		音声通話アプリ利用 【Viber】		音声通話アプリ利用 【Google ハングアウト】	
	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)	利用率(%)	平均利用 時間(分)
全体	8.1	36.2	76.5	36.2	10.8	29.3	4.8	49.2	5.0	41.1	4.4	48.3	5.7	51.5
10代	18.4	36.8	91.8	76.7	18.4	29.3	14.3	63.3	12.2	41.3	12.2	66.3	12.2	41.3
20代	15.3	38.1	88.1	59.4	15.8	40.7	12.1	48.6	12.5	50.4	10.8	49.2	12.4	55.6
30代	11.6	41.4	83.3	42.7	12.8	34.8	8.1	48.6	8.0	43.1	7.6	48.5	9.2	54.0
40代	7.6	37.5	75.5	33.6	10.7	22.9	4.0	48.3	4.2	33.7	3.6	47.4	4.9	63.4
50代	4.2	29.0	70.5	26.1	8.8	25.9	1.5	63.6	1.8	30.6	1.2	32.3	2.4	41.8
60代以上	5.1	25.5	70.5	25.1	7.9	22.7	1.5	34.0	2.1	27.0	1.7	53.2	2.9	16.1

平均利用時間:アンケート選択肢の中央値×回答数による加重平均で算出。

出所:2022年度利用者アンケート(市場検証会議)

- 現在利用しているメッセージングアプリについては、「LINE」が75.3%と突出していた。こうしたメッセージングアプリの利用時間(1週間あたり)については、いずれのサービスでも、大多数が「1分未満」又は「1分以上15分未満」との回答であった。
- また、こうしたメッセージングアプリについて、携帯電話サービスにおけるメールとの使い分けについて確認したところ、使い分けをしていないとの回答をした利用者は、通話アプリケーションの場合よりも割合が多くなっているものの、いずれのサービスにおいても約2~3割となっており、携帯電話サービスにおけるメールとメッセージングアプリとを使い分けている利用者が圧倒的に多かった。このことから、携帯電話サービスにおけるメールとの代替性はあるものの、現時点においては、その代替性の程度は大きくないといえる。

【メッセージングアプリ利用状況】



【携帯電話サービスにおけるメールとの使い分け状況】

メッセージングアプリ	使い分けをしていないとの回答割合
LINE (n=4,520)	26.8%
Facebook Messenger (n=716)	23.9%
WhatsApp (n=284)	20.8%
Webchat (n=285)	20.0%
Viber (n=256)	22.7%
カカオトーク (n=274)	22.6%
Rakuten LINK (n=577)	26.7%

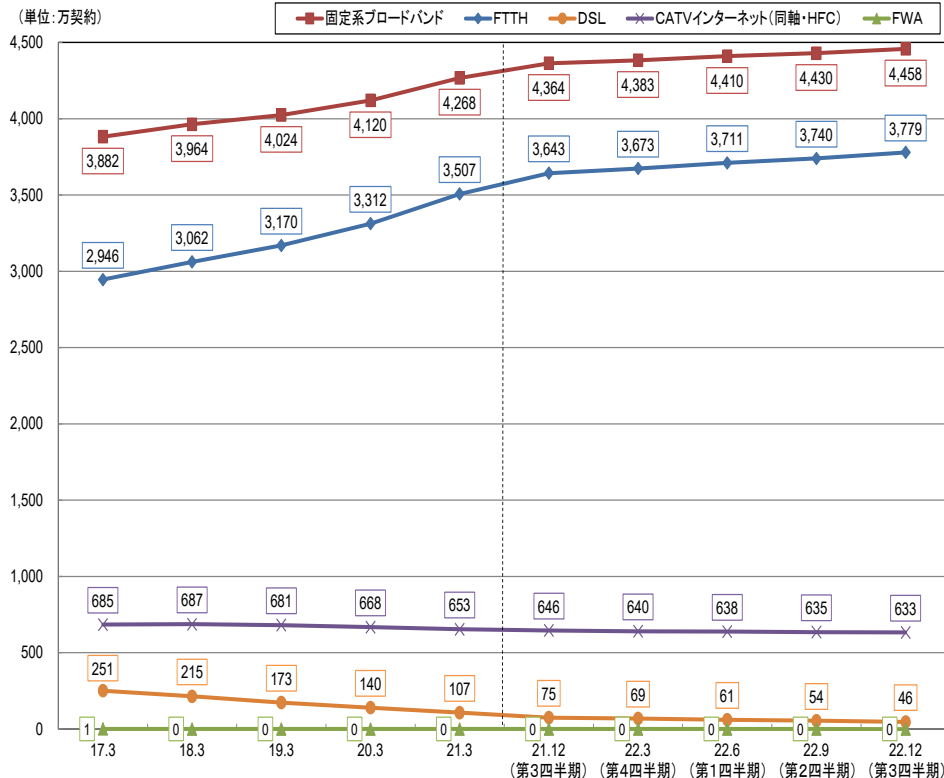
④ 固定系通信市場

- 2022年12月末時点における固定系ブロードバンド市場の契約数は4,458万(前期比+0.6%、前年同期比+2.2%)となっている。このうち、FTTH契約数は3,779万(前期比+1.1%、前年同期比+3.7%)であり、固定系ブロードバンド契約数全体に占める割合は84.8%(前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.3ポイント)となっている。
- FTTH市場(設備設置事業者別)の事業者別シェア※(2022年12月末)をみると、NTT東西が62.3%(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲1.3ポイント)、KDDIグループが11.0%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.2ポイント)、オプテージが4.3%(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)。
※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。
- FTTH市場(サービス提供主体別※)の事業者別シェア(2022年12月末)をみると、NTTドコモが19.8%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)、NTT東西が18.0%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.4ポイント)、ソフトバンクが11.9%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0ポイント)、KDDIグループが9.7%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)。
※ 卸電気通信役務の提供を受け、最終利用者にFTTHサービスの提供を行う事業者を含む。
- FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア(2022年12月末)をみると、NTT東西(サービス卸)が81.5%(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲0.7ポイント)、KDDIが9.3%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.4ポイント)となっている。
- FTTHサービスとセットで提供を受けているサービスについて、MNO系光コラボ利用者においては、約4割の者がFTTHサービスと「セットで携帯電話サービスの提供を受けている」としており、現在利用中の携帯電話サービスの利用開始と同時かそれ以降にFTTHサービスの利用を開始したとする者が6割を超えている。このことから、携帯電話サービスの選択を軸としてFTTHサービスを選択している者が一定程度存在することがうかがえる。
- 2022年12月末時点におけるISP(固定系)の契約数は4,326万(前期比+0.3%、前年同期比▲0.1%)となっている。
- 2022年12月末時点における固定電話市場の事業者別シェアは、NTT東西が63.8%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.9ポイント)、KDDIグループが22.1%(前期比、前年同期比ともに+0.1ポイント)、ソフトバンクが6.9%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.5ポイント)。050-IP電話の事業者別シェアは、ソフトバンクが41.3%(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、NTTコミュニケーションズが22.9%(前期比+0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)、楽天モバイルが15.3%(前期比+0.1ポイント、前年同期比▲0.3ポイント)、KDDIグループが7.2%(前期比、前年同期比ともに▲0.1ポイント)。

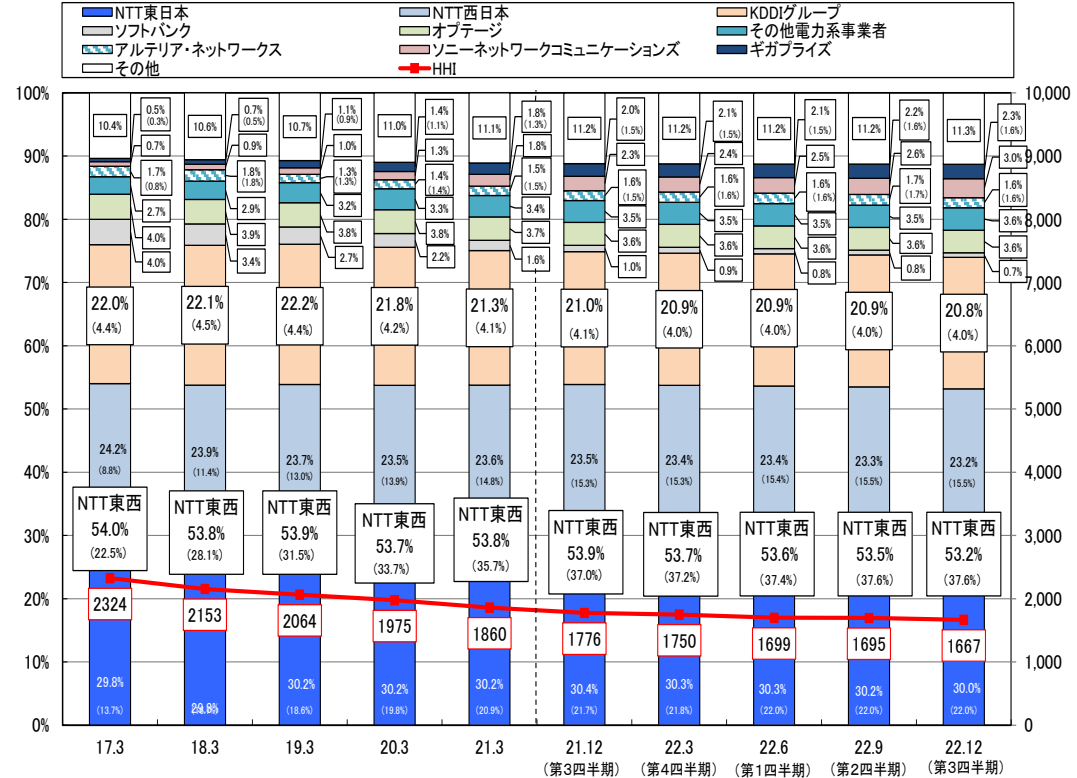
- 2022年12月末時点における固定系ブロードバンド※市場の契約数は**4,458万** (前期比+0.6%、前年同期比+2.2%)となっている。このうち、**FTTH契約数は3,779万**(前期比+1.1%、前年同期比+3.7%)であり、**固定系ブロードバンド契約数全体に占める割合は84.8%**(前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.3ポイント)となっている。
- 事業者別シェアは、**NTT東西が15.6%**(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.3ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると53.2%)、**KDDIグループが16.8%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると20.8%)、**オプテージが3.6%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)となっている。HHIは**1,667**(前期比▲28、前年同期比▲109)。

※ FTTH、DSL、CATVインターネット(同軸・HFC)及びFWA。

【固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



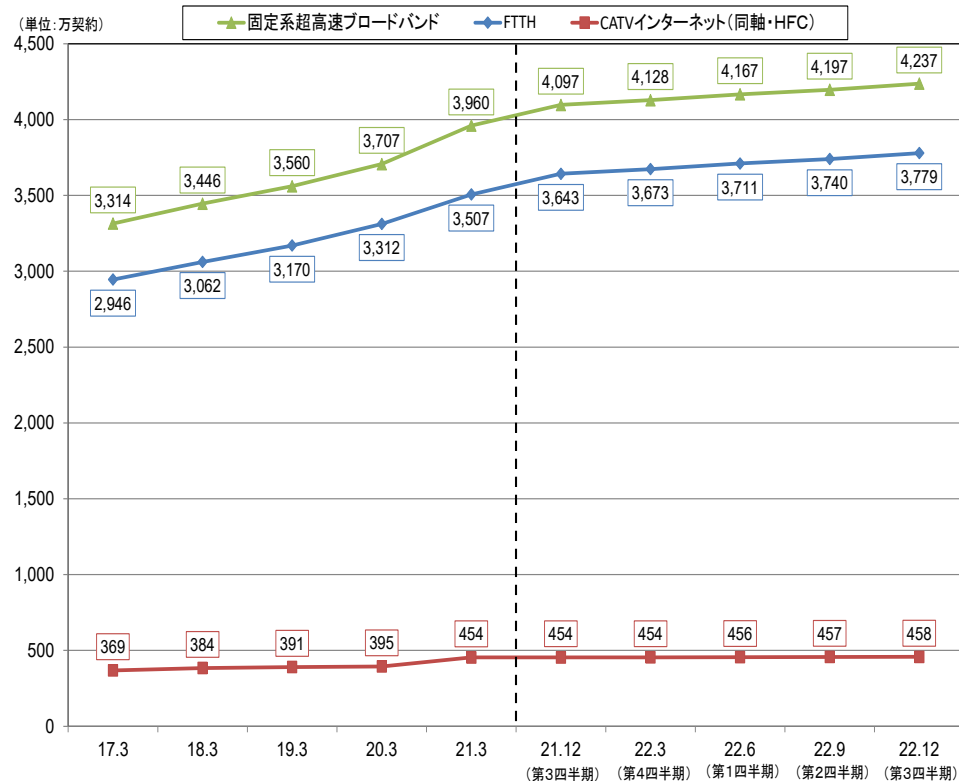
注1: 固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネット(同軸・HFC)を対象としており、FWAを含んでいない。
 注2: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー、中部テレコミュニケーション、OTNet及びUJ:COMグループが含まれる。以下、特段の記載がない限り同じ。
 注3: 「その他電力系事業者」には、Qinet、北陸通信ネットワーク、STNet、エネルギア・コミュニケーションズ及びファミリーネット・ジャパンが含まれる。
 注4: 括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。
 注5: 令和4(2022)年度第2四半期以前については、現在、ソニーネットワークコミュニケーションズにより契約数の再集計を行っている。

- 2022年12月末における固定系超高速ブロードバンド※1市場の契約数は**4,237万**(前期比+1.0%、前年同期比+3.4%)、このうち、CATVインターネット(通信速度下り30Mbps以上)は**458万**(前期比+0.2%、前年同期比+0.8%)となっている。
- 事業者別シェアは、NTT東西が**16.1%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.2ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると55.6%)、KDDIグループが**5.6%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると9.8%)、CATV事業者※2が**18.0%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント)。HHIは**3,562**(前期比▲41、前年同期比▲118)。

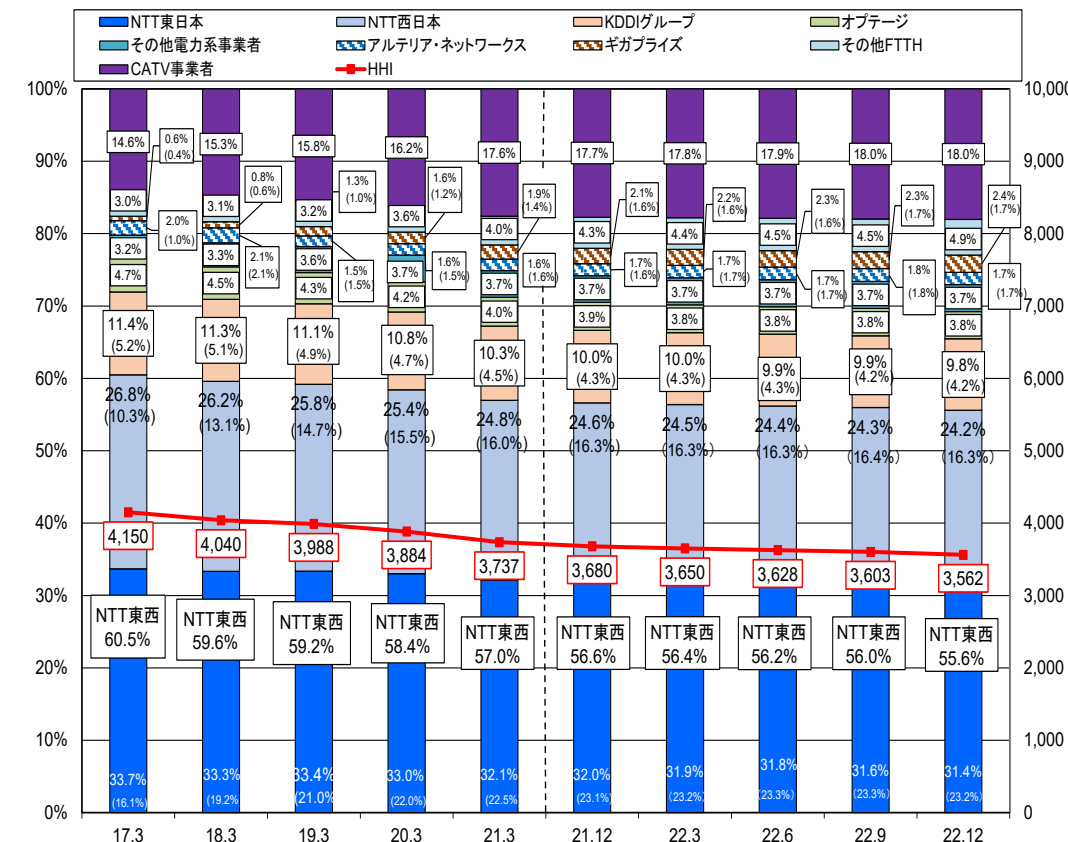
※1 FTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

※2 CATV事業者が提供するFTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

【固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系超高速ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1: 「CATV事業者」には、J:COMグループが含まれる。

注2: 括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。

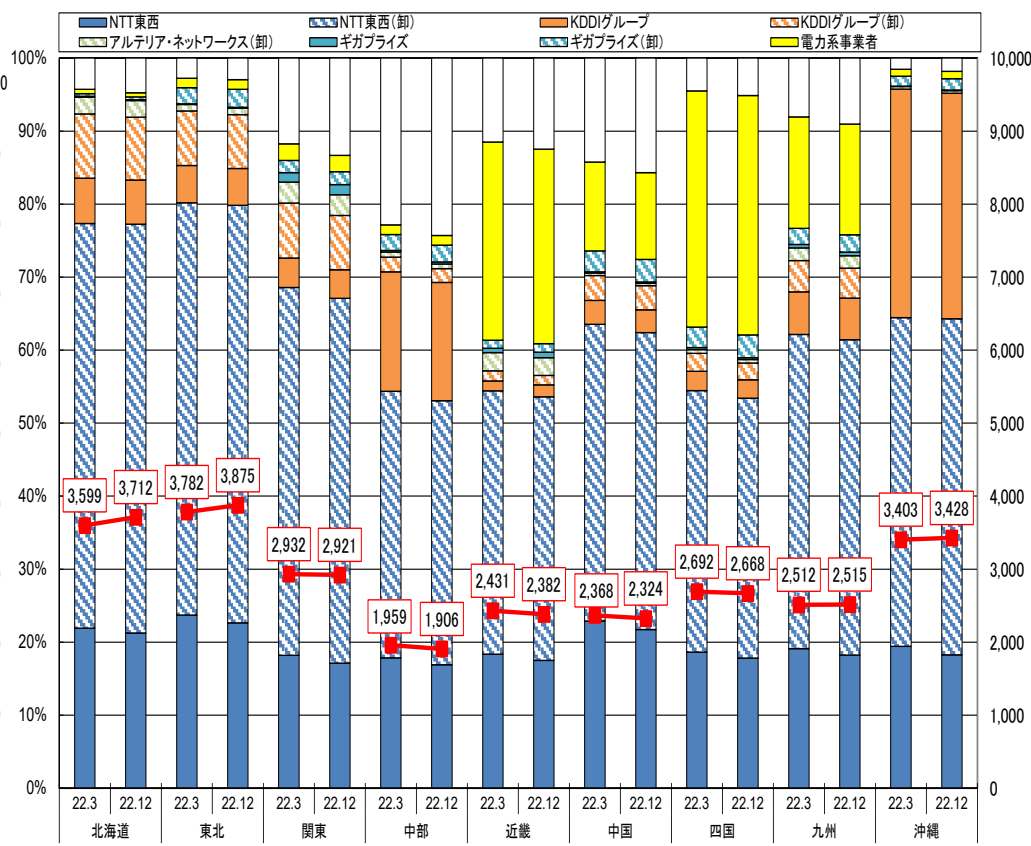
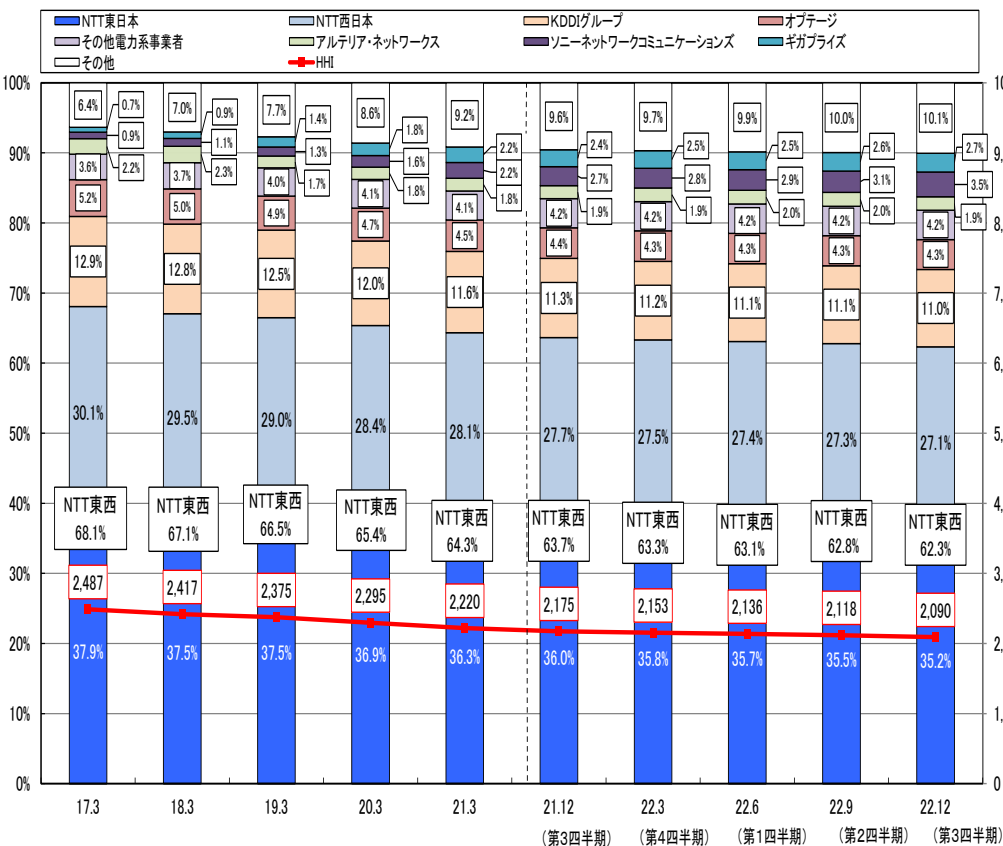
出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

- FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア※（2022年12月末）をみると、NTT東西が**62.3%**（前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲1.3ポイント）、KDDIグループが**11.0%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.2ポイント）、オプテージが**4.3%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント）。HHIは**2,090**（前期比▲28、前年同期比▲84）。
- 2022年3月末時点と比較して、NTT東西の小売シェアは、全ての地域ブロックで減少している一方、卸電気通信役務（サービス卸）の提供に係るものを含めたシェアは、最も高い東北で約8割、最も低い近畿でも過半を占めており、依然としてNTT東西の設備シェアが高い。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア及び市場集中度の推移】

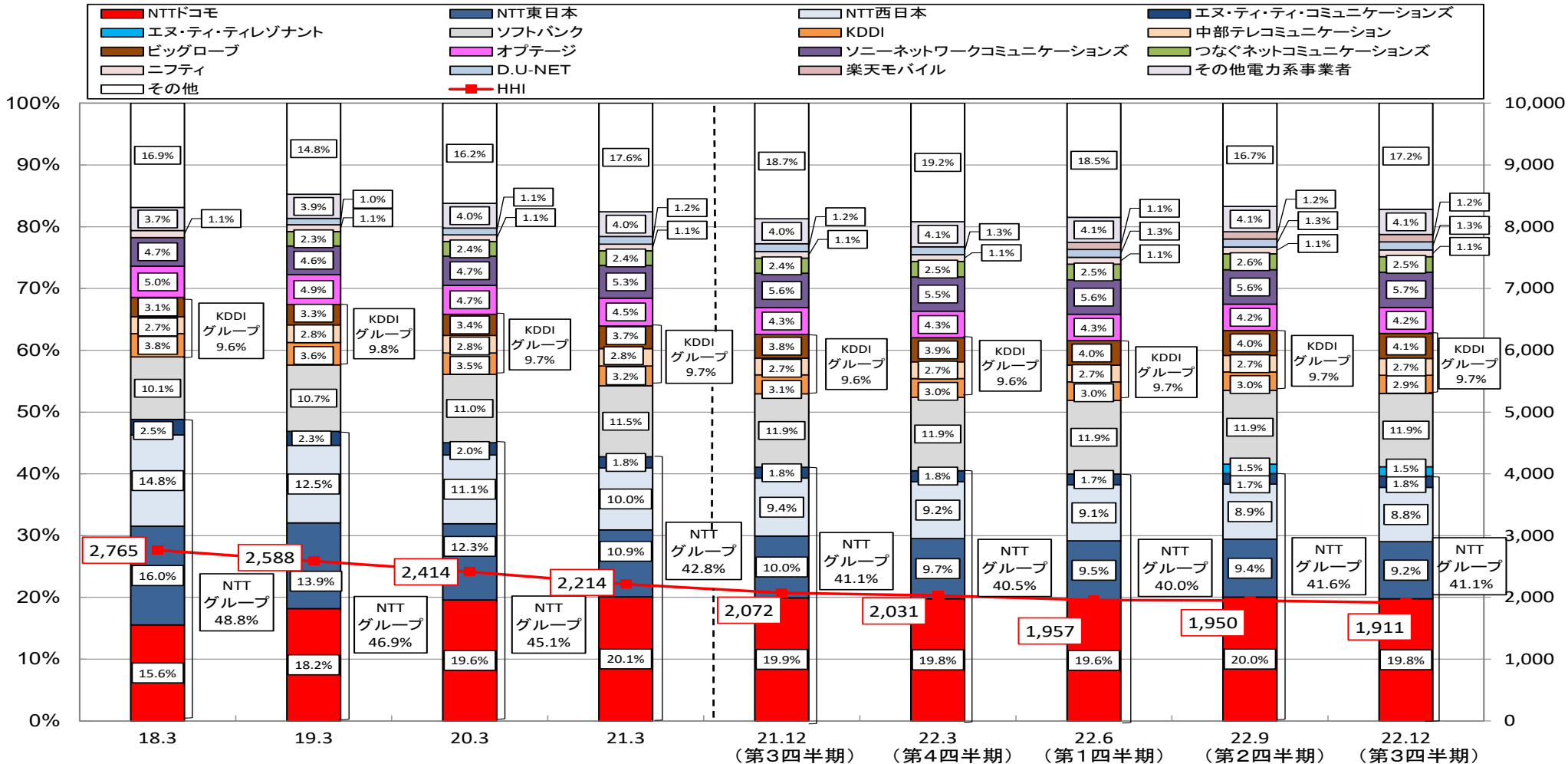
【FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア（地域ブロック別）】



FTTH市場(サービス提供主体別)の事業者別シェア

- FTTH市場(サービス提供主体別※1)の事業者別シェア(2022年12月末)をみると、NTTドコモが19.8%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)、NTT東西が18.0%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.4ポイント)、ソフトバンクが11.9%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0ポイント)、KDDIグループ※2が9.7%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)。HHIは1,911(前期比▲39、前年同期比▲160)。
- NTTドコモが最大のシェアを有しているが、直近では横ばい傾向にある。

※1 卸電気通信役務の提供を受け、最終利用者にFTTHサービスの提供を行う事業者を含む。
 ※2 下記グラフにおいて「KDDIグループ」としている事業者が含まれる。

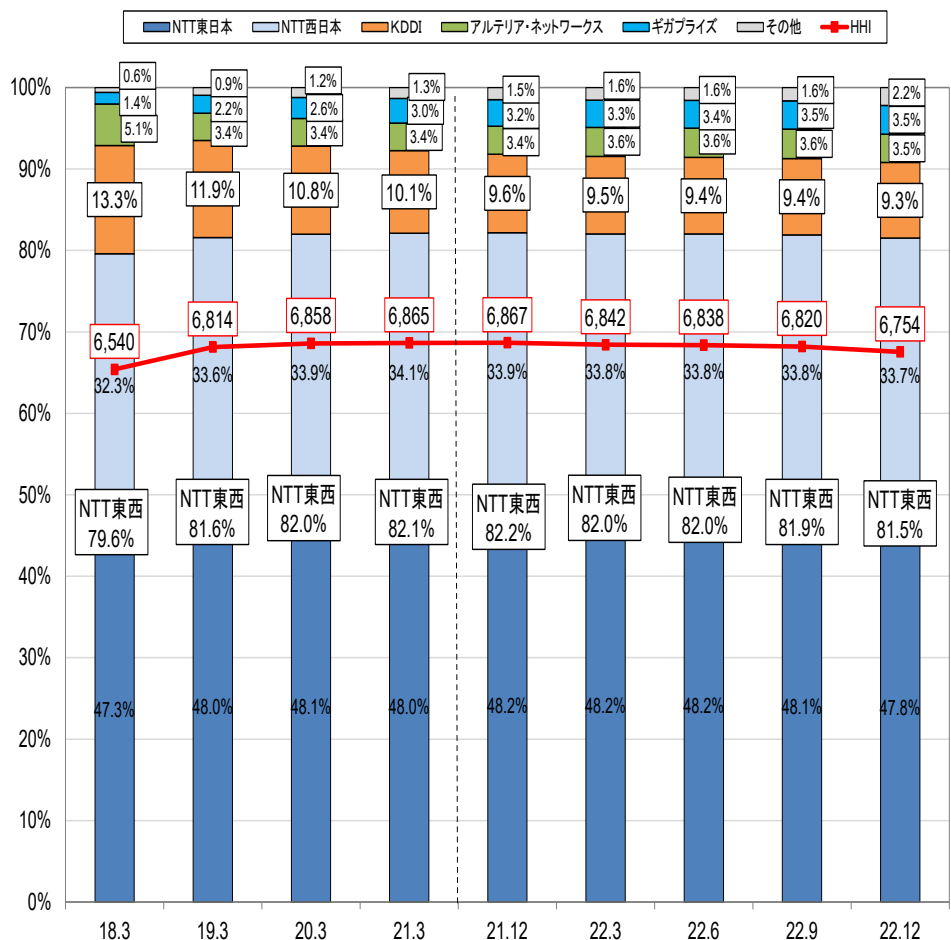


出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

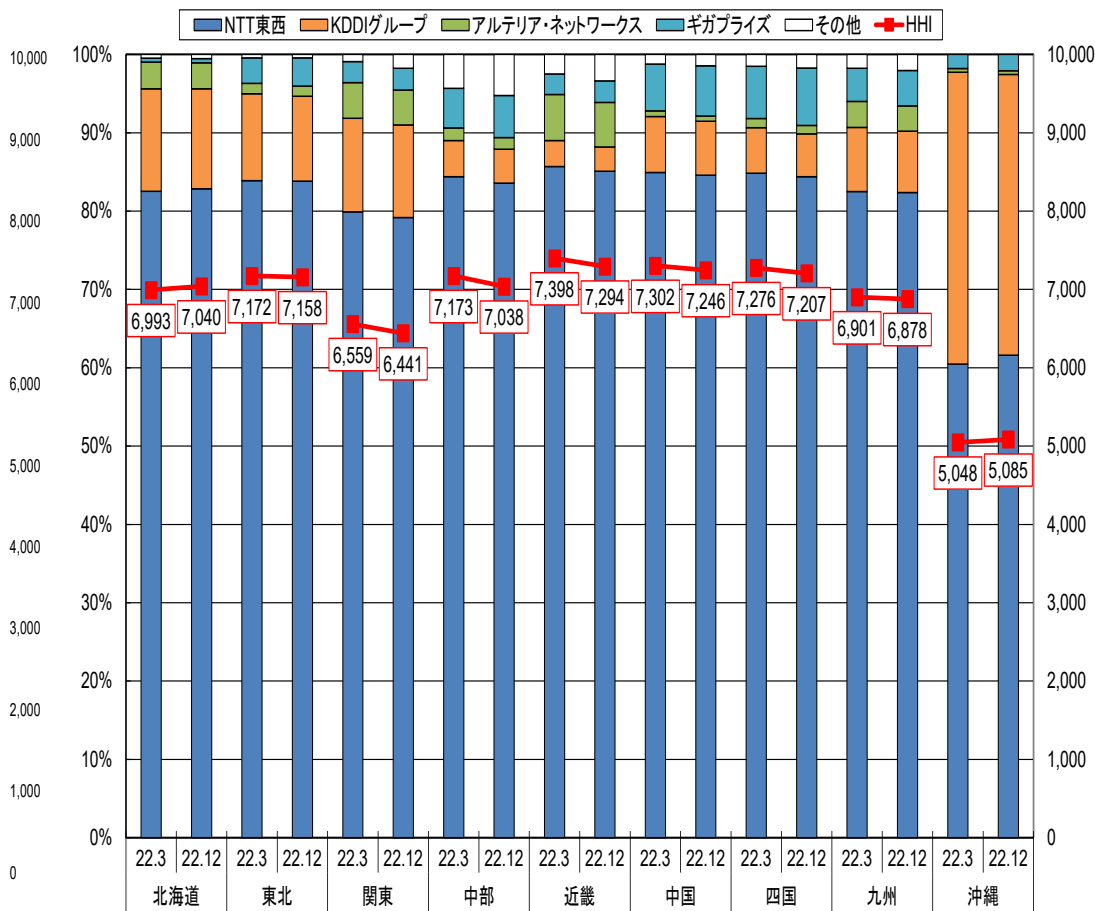
注:卸電気通信役務の提供を受ける事業者については、再卸契約数も含めてカウント。

- FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア(2022年12月末)をみると、NTT東西(サービス卸)が**81.5%**(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲0.7ポイント)、KDDIが**9.3%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.4ポイント)となっている。HHIは**6,754**(前期比▲65、前年同期比▲113)。
- 地域ブロック別でみると、NTT東西のシェアが関東、沖縄を除く全ての地域で8割超(最も低い沖縄でも6割を占める。)となっている。HHIは、最も高い地域は近畿で7,294、最も低い地域は沖縄で5,085。

【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移(地区ブロック別)】

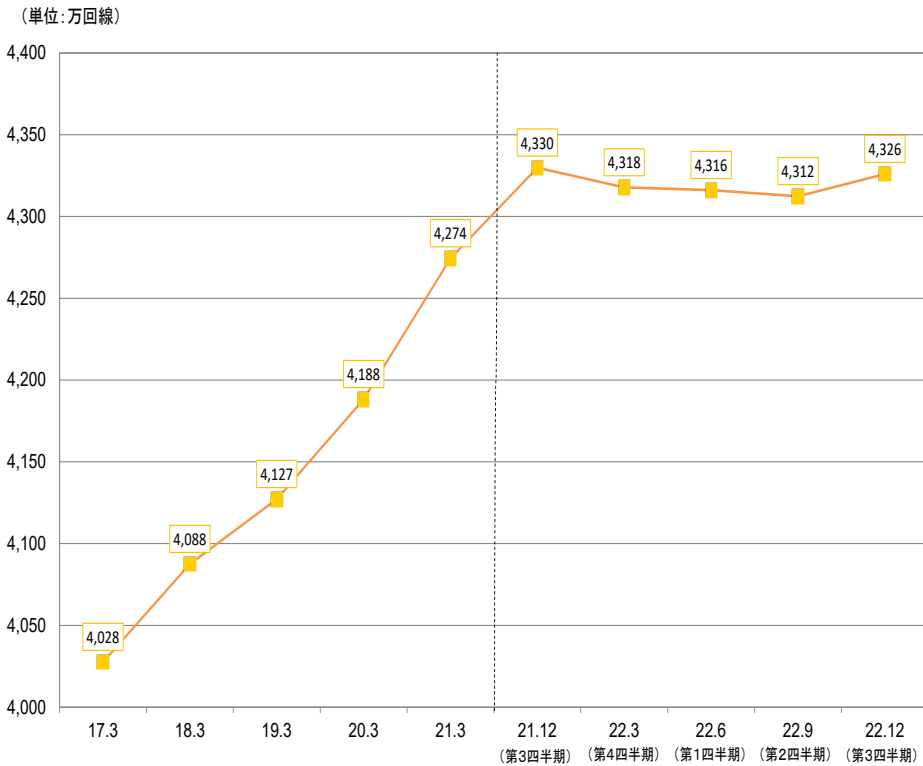


注: 設備を設置して提供する事業者及び接続により提供する事業者による 卸電気通信役務の提供に係る事業者別シェアであり、当該卸先事業者による再卸先事業者への再卸に係るものは含まない。

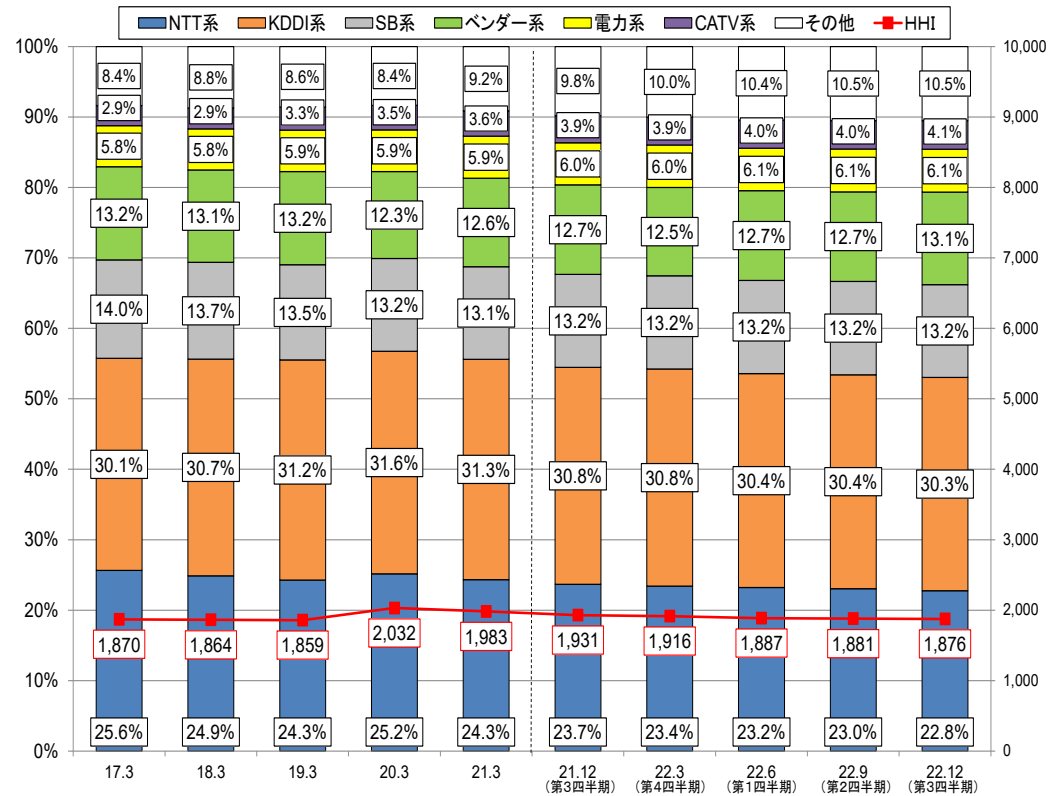
出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2022年12月末時点におけるISP(固定系)の契約数は**4,326万**(前期比+0.3%、前年同期比▲0.1%)となっている。
- ISP(固定系)契約数における事業者別シェアは、**KDDI系が30.3%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント)、**NTT系が22.8%**(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.9ポイント)、**ソフトバンク系が13.2%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0ポイント)及び**ベンダー系が13.1%**(前期比、前年同期比ともに+0.4ポイント)となっている。HHIは**1,876**(前期比▲5、前年同期比▲54)。

【ISP(固定系)の契約数】



【ISP(固定系)契約数における事業者別シェア】



注1: 主契約のみの契約数。

注2: NTT系のシェアには、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、NTTぷらら(令和4(2022)年度第1四半期まで)、NTTドコモ等が含まれる。

注3: KDDI系のシェアには、KDDI、中部テレコミュニケーション、J:COM、ビッグロープ等が含まれる。

注4: ソフトバンク系のシェアには、旧ソフトバンクBB、旧ワイモバイル等が含まれる。

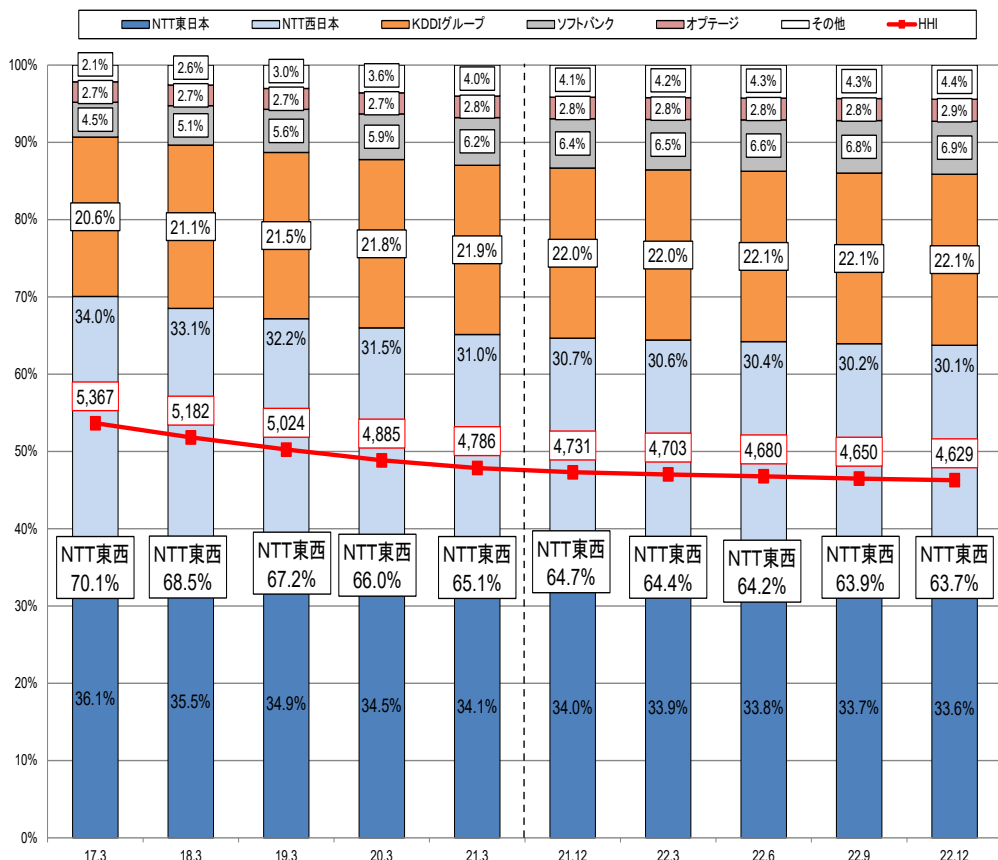
注5: ベンダー系のシェアには、ソニーネットワークコミュニケーションズ、ニフティ等が含まれる。

注6: 電力系のシェアには、オプテージ、STNet、QTnet等が含まれる。

固定電話市場の事業者別シェア

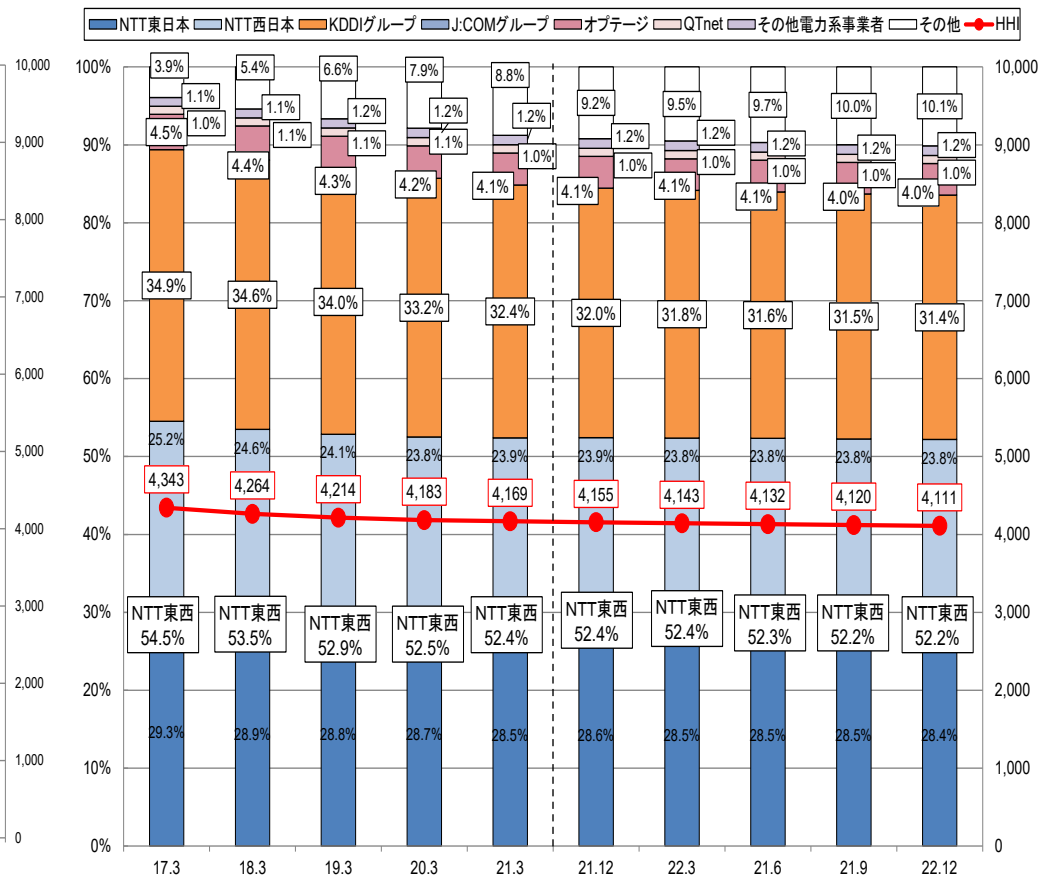
- 2022年12月末時点における固定電話市場の事業者別シェアは、NTT東西が**63.7%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.9ポイント）、KDDIグループが**22.1%**（前期比、前年同期比ともに+0.1ポイント）、ソフトバンクが**6.9%**（前期比±0ポイント、前年同期比+0.5ポイント）。HHIは**4,629**（前期比▲21、前年同期比▲102）。
- 0ABJ-IP電話の利用番号数における事業者別シェアは、NTT東西が**52.2%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント）、KDDIグループが**31.4%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.6ポイント）、オプテージが**4.0%**（前期比、前年同期比ともに±0ポイント）。HHIは**4,111**（前期比▲10、前年同期比▲45）。

【固定電話の契約数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注:「KDDIグループ」には、KDDI、中部テレコミュニケーション及びJ:COMが含まれる。

【0ABJ-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】

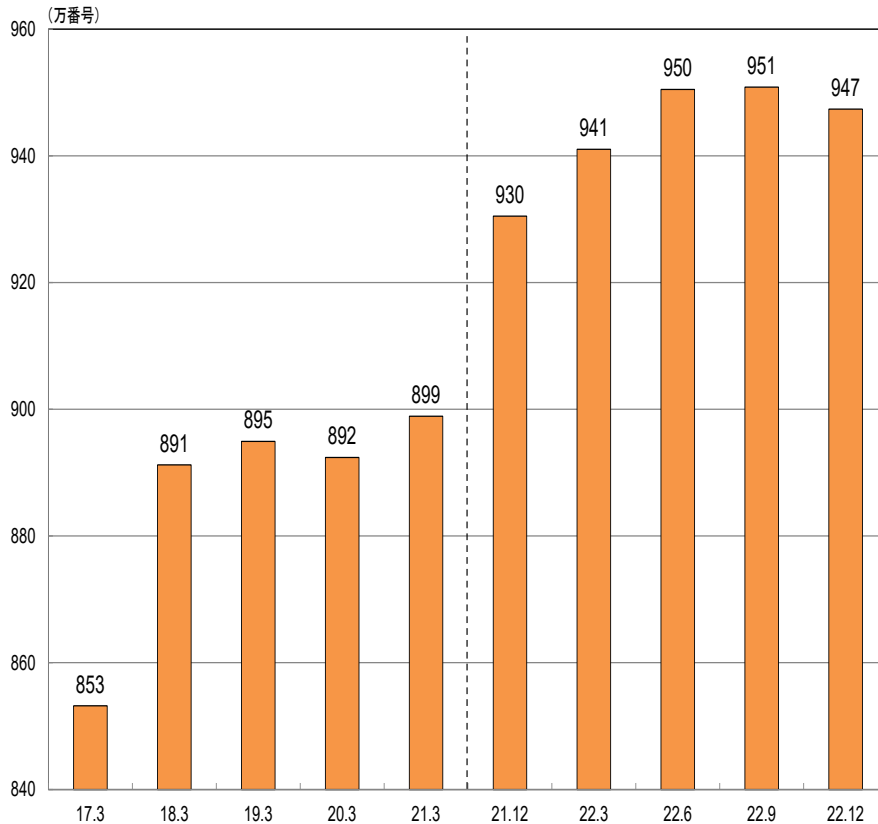


出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

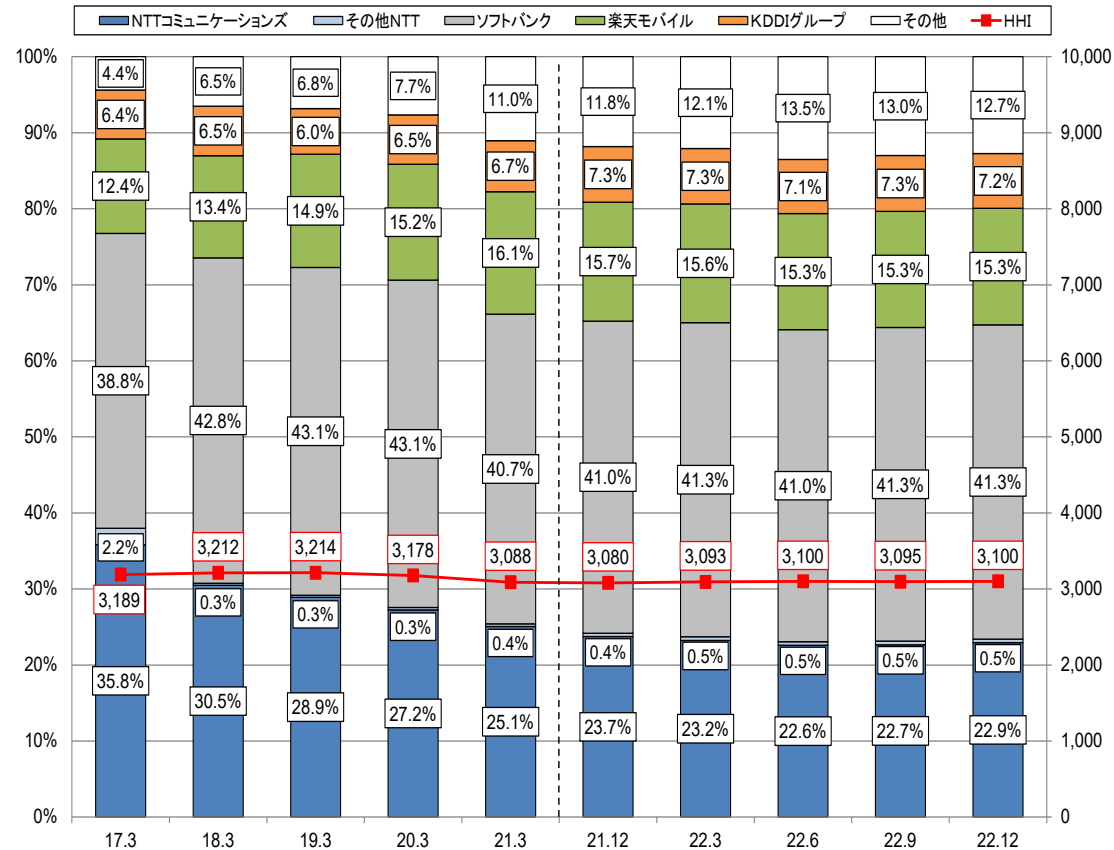
- 2022年12月末時点における050-IP電話の利用番号数※は**947万**(前期比▲0.4%、前年同期比+1.8%)。
- 事業者別シェアは、ソフトバンクが**41.3%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、NTTコミュニケーションズが**22.9%**(前期比+0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)、楽天モバイルが**15.3%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比▲0.3ポイント)、KDDIグループが**7.2%**(前期比、前年同期比ともに▲0.1ポイント)。HHIは**3,100**(前期比+4、前年同期比+19)。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【050-IP電話の利用番号数の推移】



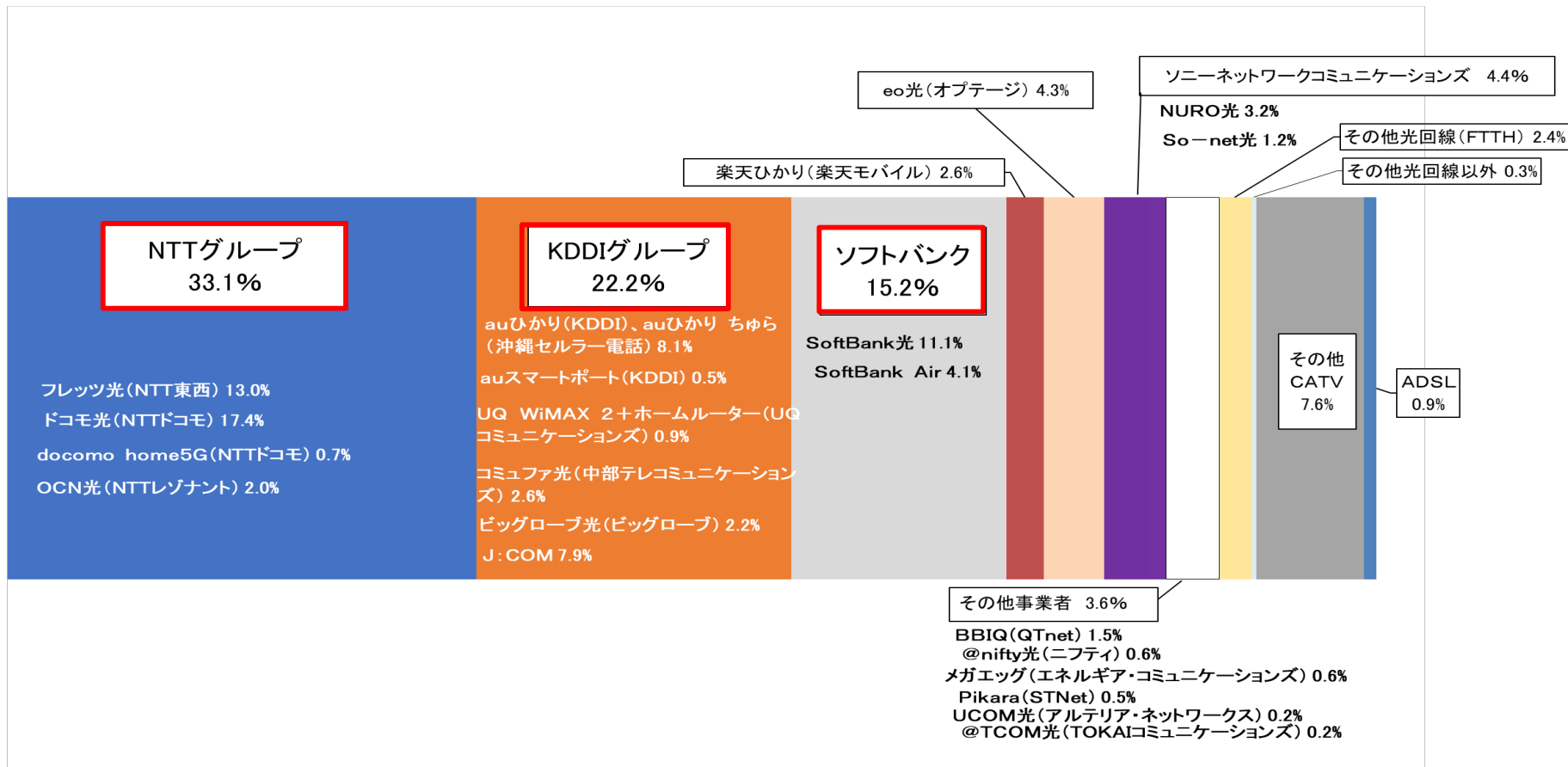
【050-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



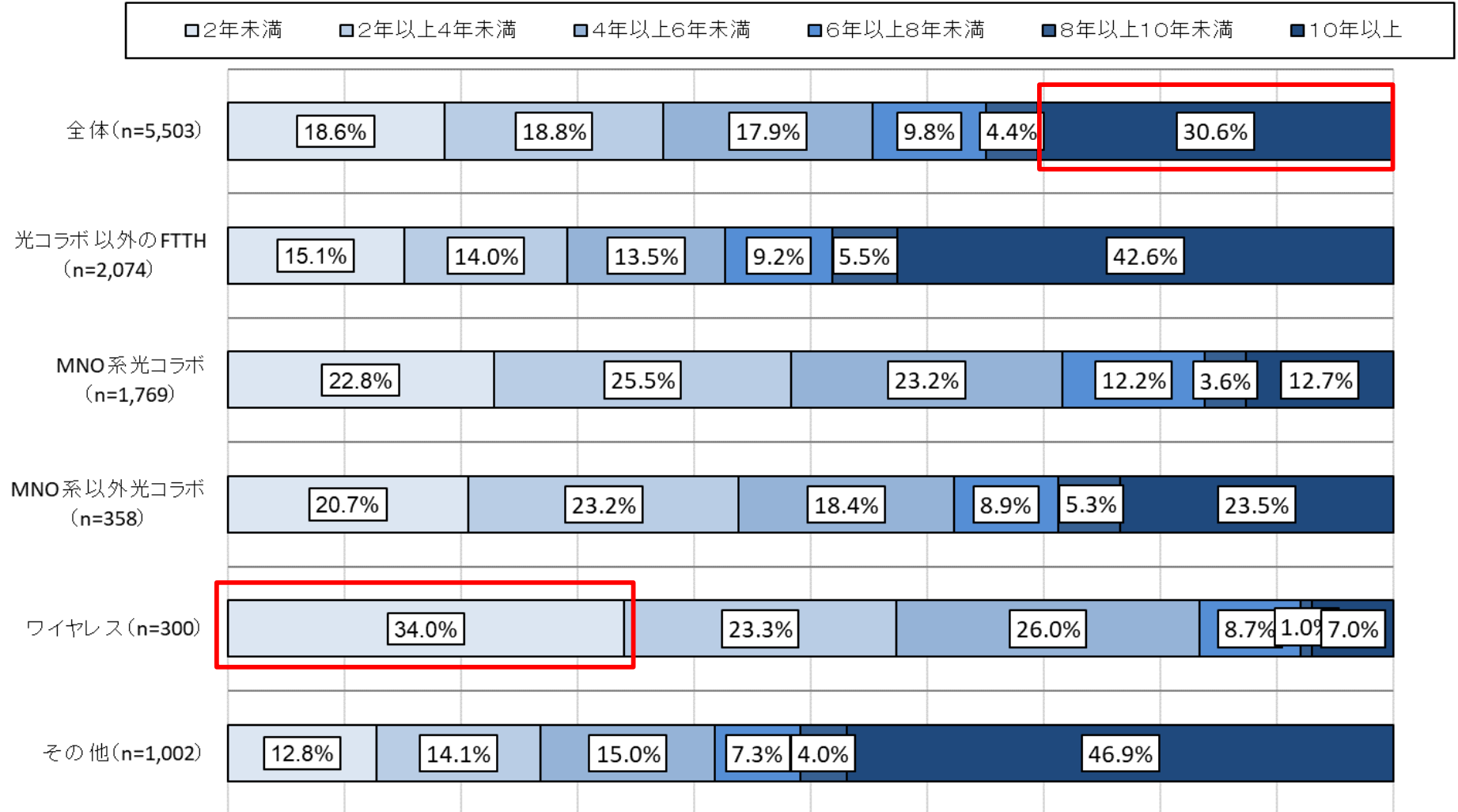
注1: その他NTTには、NTTぷらら(2016(平成28)年度第4四半期)、NTT-ME、NTTネオमित、NTTPCコミュニケーションズ、NTTドコモが含まれる。

注2: 「KDDIグループ」には、KDDI及び中部テレコミュニケーションが含まれる。

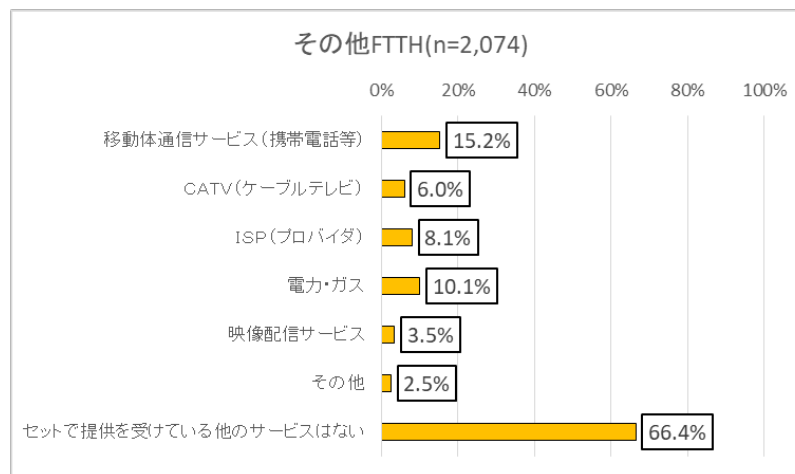
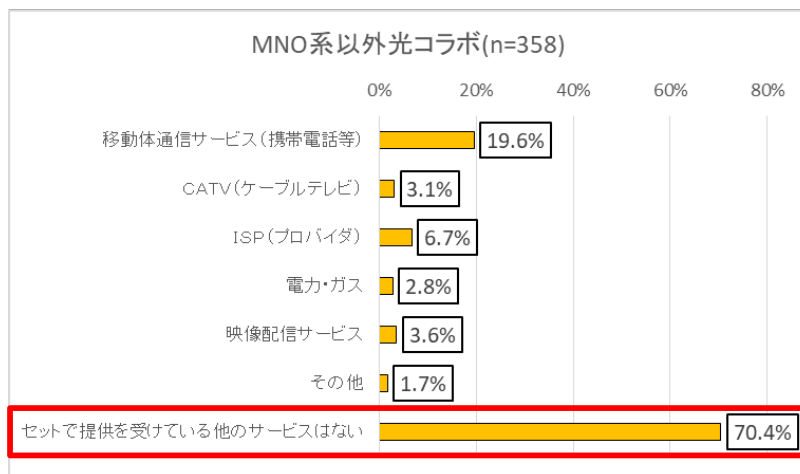
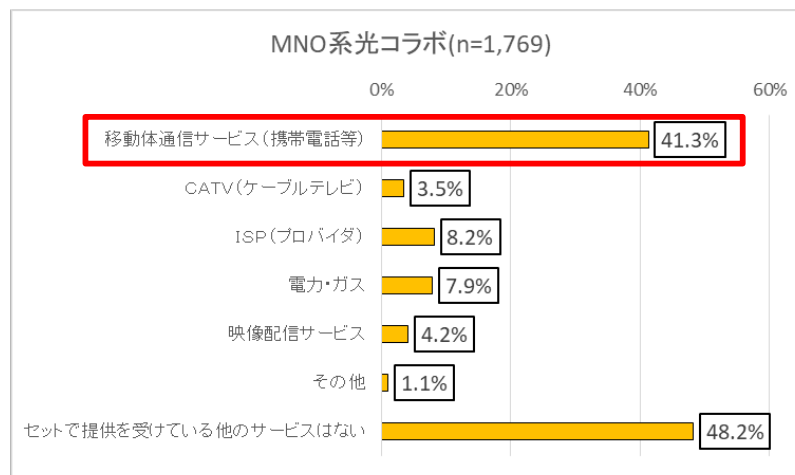
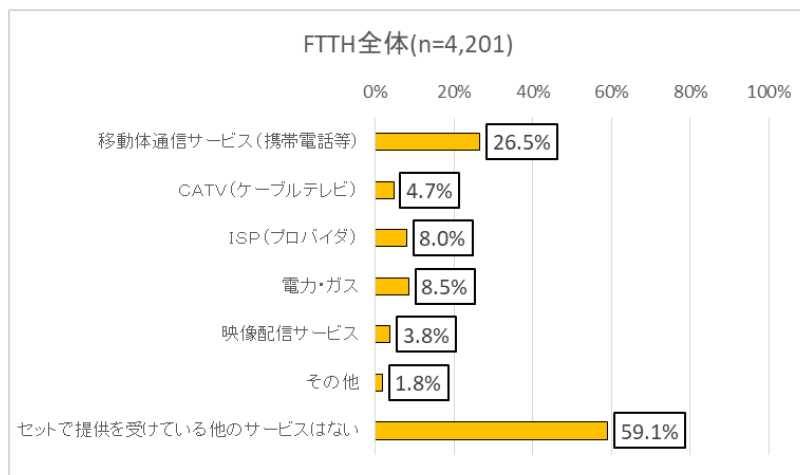
- 現在利用している固定インターネットサービスとして回答があったのは、NTTグループ(フレッツ光、ドコモ光、OCN光)が**33.1%**と最多であり、次いで、KDDIグループが**22.2%**、ソフトバンクが**15.2%**であった。



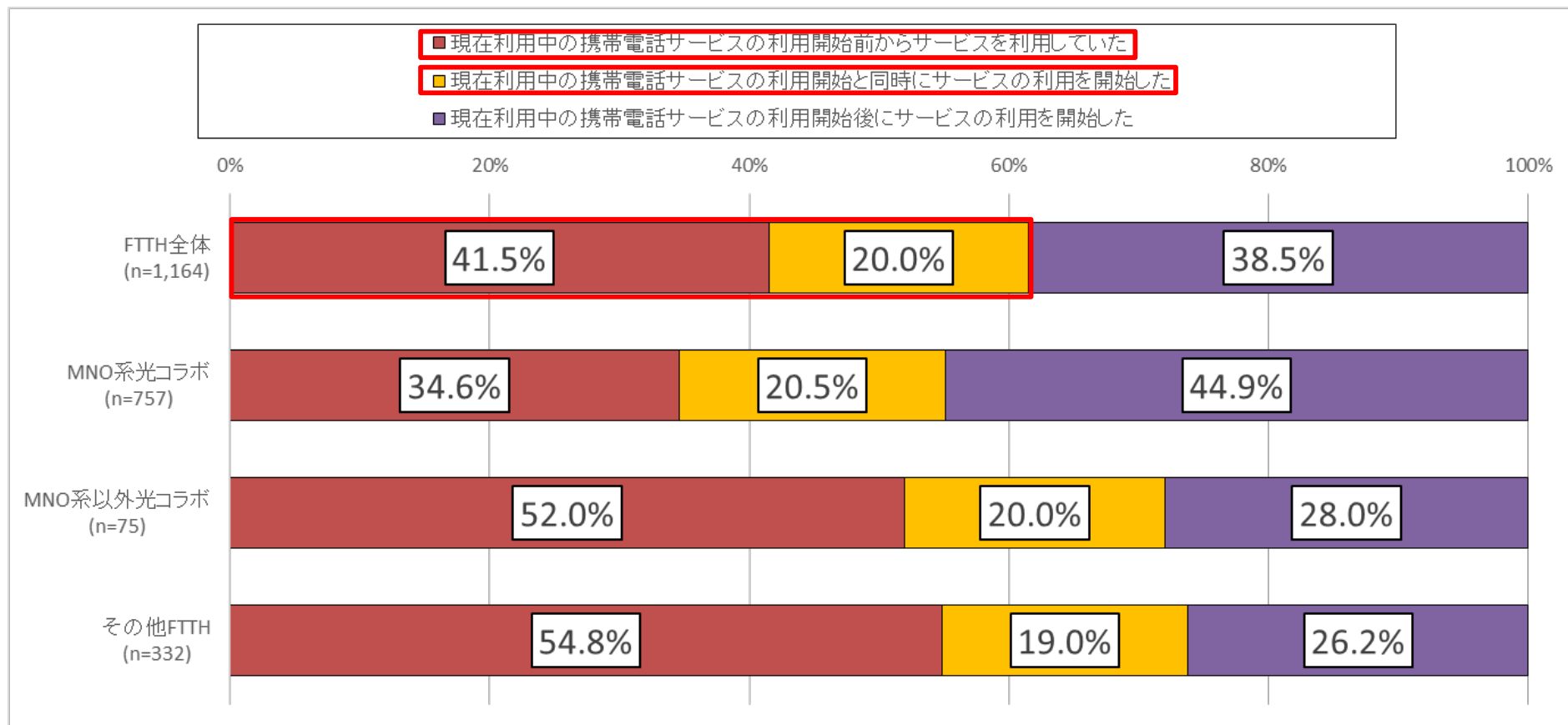
- 10年以上同一の事業者のサービスを継続している利用者の割合が最も多い(30.6%)。
- ワイヤレスは利用期間2年未満の利用者が最も多い(34.0%)。



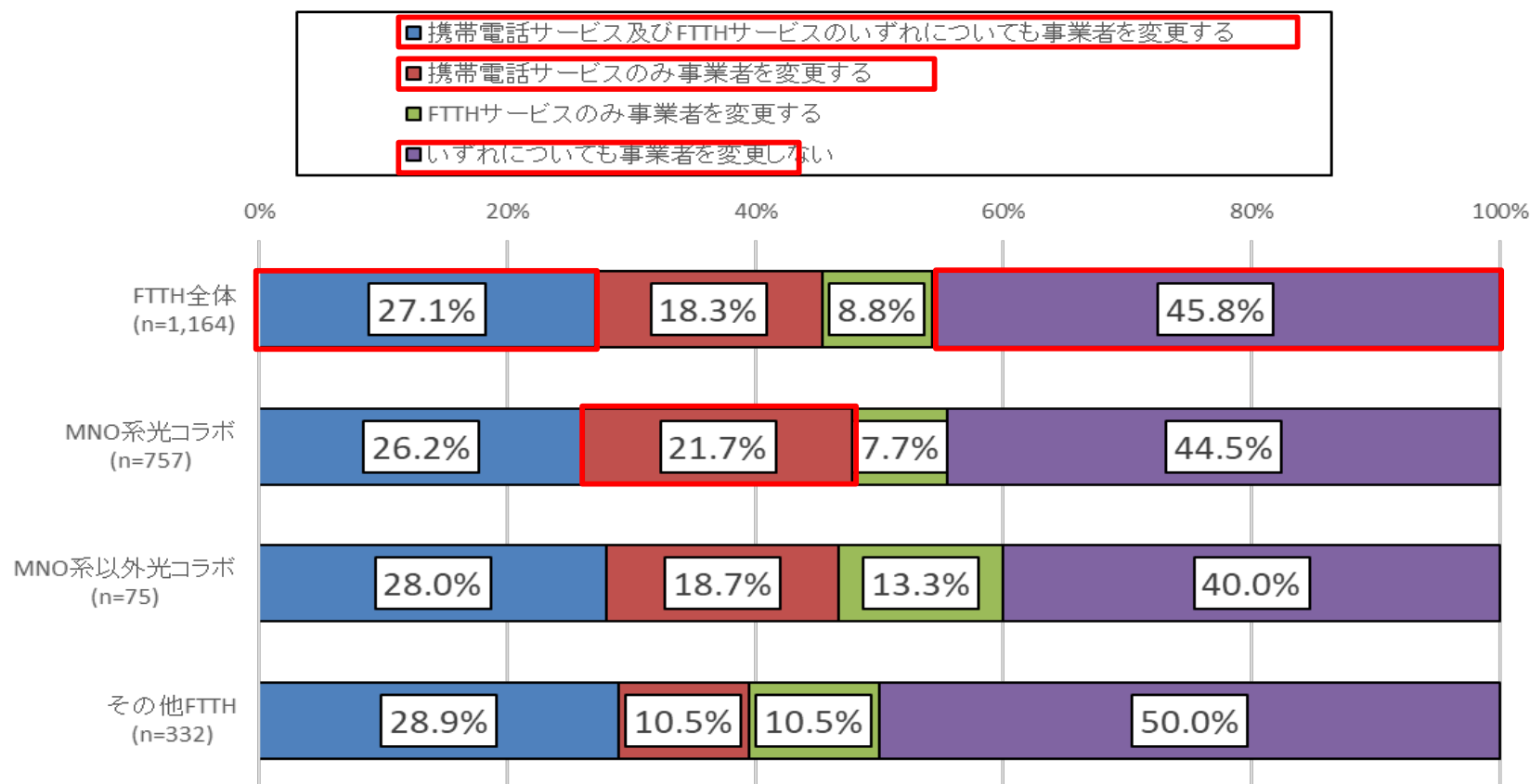
- FTTHサービスとセットで提供を受けているサービスについて、MNO系光コラボ利用者においては、約4割がFTTHサービスと「セットで携帯電話サービスの提供を受けている」としているのに対し、それ以外のFTTH利用者(MNO系以外の光コラボ利用者、光コラボ以外のFTTH利用者)においては、7割程度が「セットで提供を受けているサービスはない」としている。



- 同一の事業者からFTTHと携帯電話サービスの提供を受けている利用者に対し、FTTH利用開始時期と携帯電話サービスの利用開始時期の前後関係について確認したところ、MNO系光コラボ利用者においては、**現在利用中の携帯電話サービスの利用開始と同時かそれ以降にFTTHサービスの利用を開始したとする者が6割を超えている。**



- 同一の事業者からFTTHと携帯電話サービスの提供を受けている利用者に対し、仮にセット割引が全事業者において廃止された場合にどのような対応をとるかについて確認したところ、「携帯電話サービスとFTTHサービスのいずれについても事業者を変更しない」と回答した利用者の割合は45.8%であり、「携帯電話サービスとFTTHサービスのいずれについても事業者を変更する」という回答が27.1%と一定程度存在した。また、「MNO系光コラボ利用者においては、FTTHサービスのみ事業者を変更する」と回答した利用者が21.7%と一定程度みられた。



⑤ 法人向けサービスの実態把握

- 基本方針3(3)の法人向けサービスの実態把握として、令和4年度においては、令和3年度検証において検討を行った法人向けサービスをめぐる市場画定の在り方を踏まえ、SIerやベンダー等を含めた関係事業者や、需要者側である民間企業等へのヒアリングやアンケートを通じて、法人向けサービスをめぐる各市場の実態を把握した。
- 具体的には、令和4年度市場検証においては、サービス供給側の実態把握として、事業者ヒアリング及び事業者アンケートを実施するとともに、サービス需要側の実態把握として、法人ユーザ企業等向けアンケートを実施することにより、供給側・需要側の両面から法人向けサービスの競争状況の実態把握を行った。
- 令和4年度の市場検証に当たり、特に法人向けサービスの実態把握に当たり、以下の3つの観点から、検証・分析を行った。
 - ① 各事業者における法人向けサービスの提供状況（特に、5G、IoT）
 - ② 法人向けサービスの提供形態
 - ③ 法人向けサービス市場における事業者間競争の状況及び市場画定

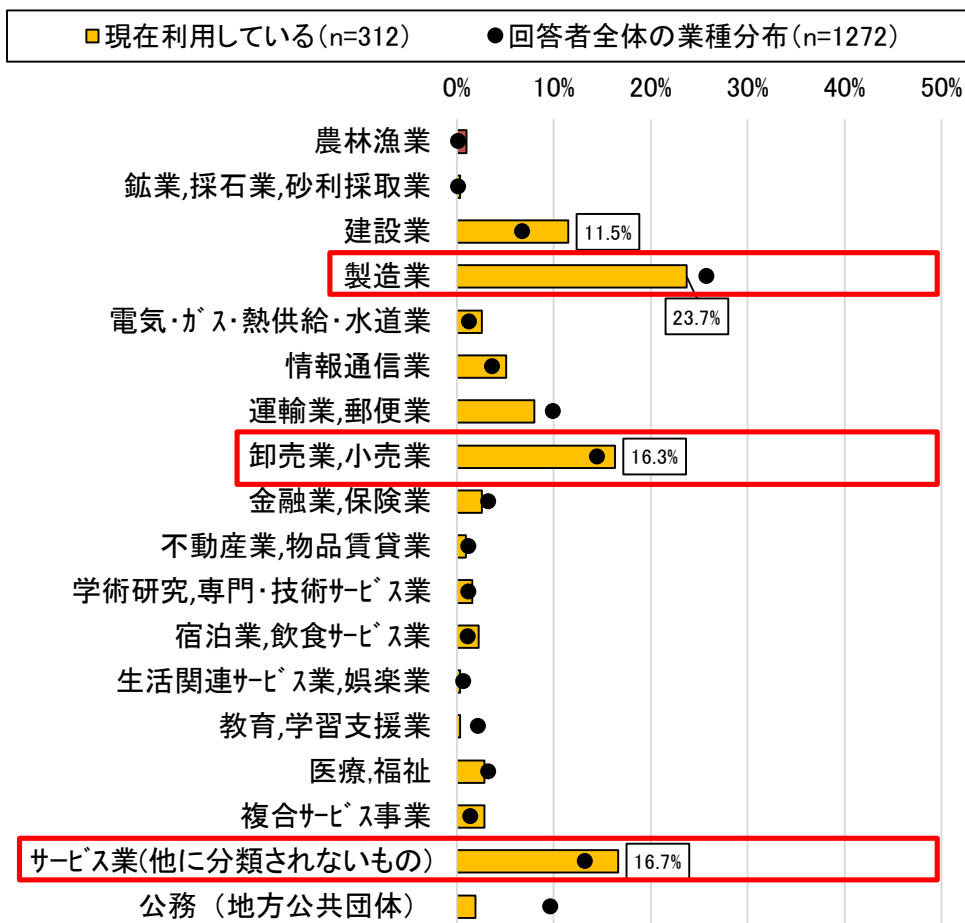
【参考】令和3年度市場検証における法人向けサービスを巡る試行的な市場画定

法人向けサービス市場	ネットワーク市場	移動系通信（法人向け）市場	例：法人向け携帯電話、通信モジュールなど
		固定系通信（法人向け）市場	例：WANサービスなど
	ソリューション市場		例：SI、コンサルティングなど
	その他		例：ソフトウェア、ハードウェアなど

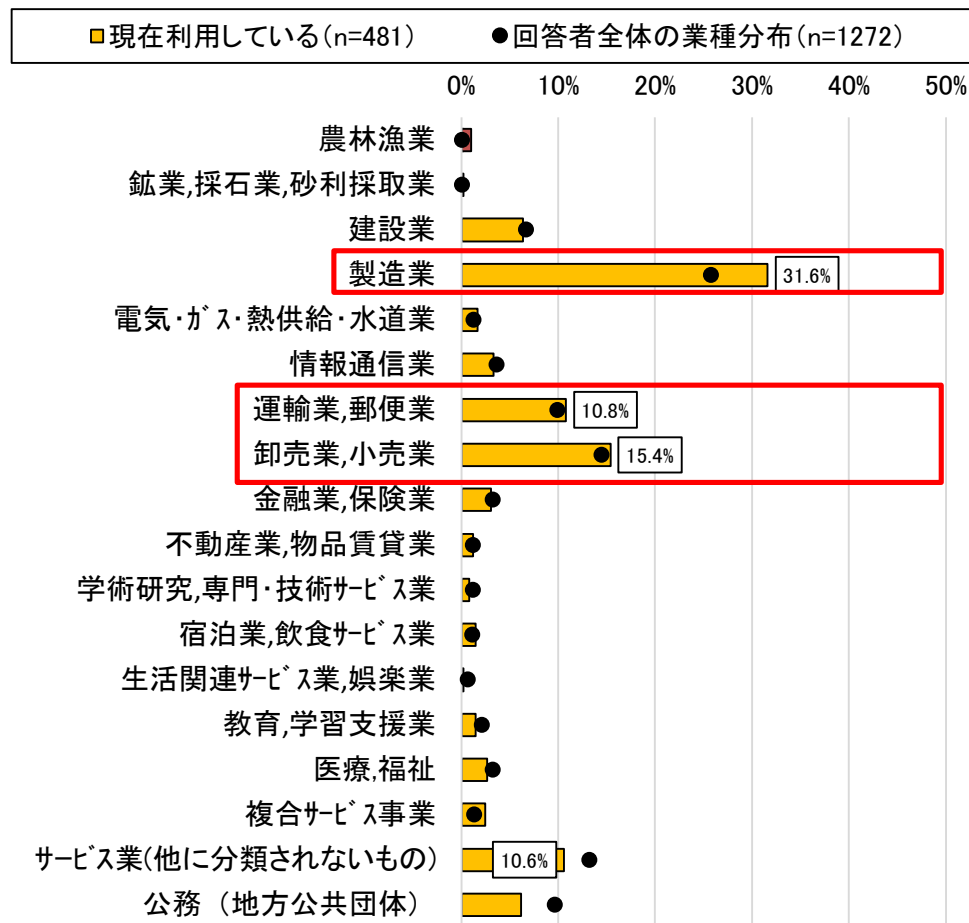
- 法人向けサービスについては、ネットワーク・ソリューション含め、多種多様なサービスが提供されている。5Gについては、製造業、サービス業、卸売業、小売業での利用が多く、IoTについては、製造業、卸売業、小売業、運輸業、郵便業での利用が多い。
- 法人向けサービスの提供形態については、電気通信事業者が、SIer等の再販業者にネットワーク回線を提供し、当該再販事業者が、法人ユーザ企業等にサービスを提供する、再販型、及び電気通信事業者自身が、法人ユーザ企業等に対しサービスを提供する、直販型が存在。
- 用途及び調達方法(回線単体、又はSLとセット)に着目し、法人向けサービスの事業者間競争を分析すると、以下の結果が分かった。
 - 拠点間通信の用途では、回線単独での導入と、SLとセットで導入する割合が近接している一方、インターネット利用、IoT機器接続、音声通話利用の用途では、回線単独での導入を行う需要者の割合が多い。
 - 競争事業者の範囲としては、用途等にかかわらず、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)、国内SIer、PaaS/IaaS事業者、及びデータセンター事業者。また、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)だけでなく、他のレイヤーの事業者が競争事業者の範囲に含まれていることから、レイヤーをまたいだ競争が行われている可能性がある。競争事業者として主要なのは、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)と国内SIer。
 - 需要者からの調達先候補としての認識を確認すると、用途等にかかわらず、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)が、国内SIerよりも需要者から調達先候補として強く認識されている。国内SIerよりも、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)の方が調達先候補の中でより優先される傾向にある。
 - 調達先決定の際に重視する点は、いずれの用途等においても、「通信サービスの品質」や「サービスの価格」が上位に入っている。一方、「調達先事業者の総合的な事業能力」、「知名度・ブランド力」、「海外事業との連携状況」、「海外事業での顧客サポート力」などは上位5位に含まれておらず、重視する比率は低い。
 - 地理的範囲としては、現時点では、国内市場を想定することが適切であるものの、Paas/IaaS事業者(Amazon, Microsoft, Googleなど)の動向には注視する必要がある。
- 法人向けサービス市場については、以下のとおり市場画定できるのではないかと。
 - 用途ごとに、需要者が選択する回線の範囲が異なり、用途によっては、移動系・固定系通信の双方が候補となっている。法人ユーザ企業等のニーズに応じ、市場横断的なサービスが提供されており、需要者の用途等ごとに一定の市場を構成。
 - 必ずしも調達方法により、市場が細分化されているとまではいえない。
 - 国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)及び国内SIerが主要な競争事業者であり、地理的範囲は全国と考えることが適当。ただし、Paas/IaaS事業者(Amazon, Microsoft, Googleなど)の動向には注視が必要。

- 多種多様な業種において法人向けサービスが提供されている。
- 5Gを利用する企業等のうち、**製造業が2割程度**を占め、サービス業(他に分類されないもの)や卸売業、小売業と続く。
- IoT機器接続用途で法人向けサービスを利用する企業等のうち、**製造業が3割程度**を占め、卸売業、小売業、運輸業、郵便業と続く。

5G



IoT機器接続 (3G、4G、5G、ローカル5G、BWA、LPWA、Wi-Fi、Bluetooth)

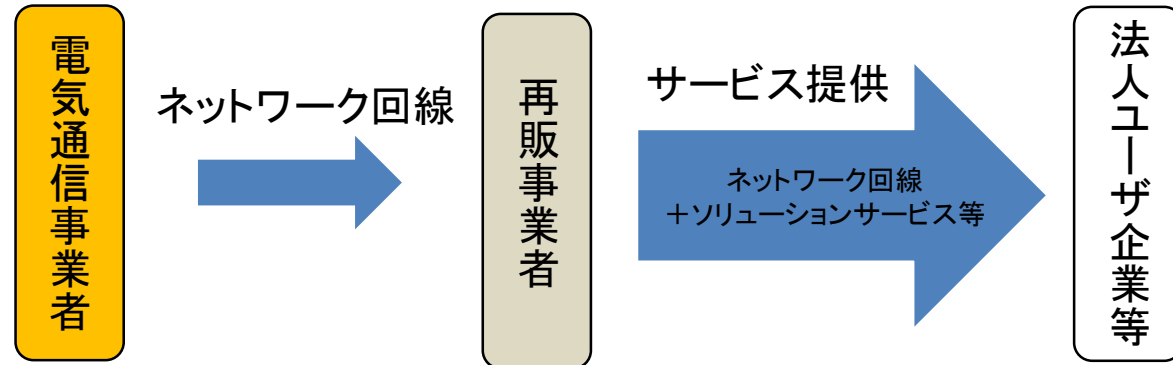


- 法人向けサービスの提供状況をまとめると以下のとおりであり、電気通信事業者、SIer等により、幅広く提供されている。

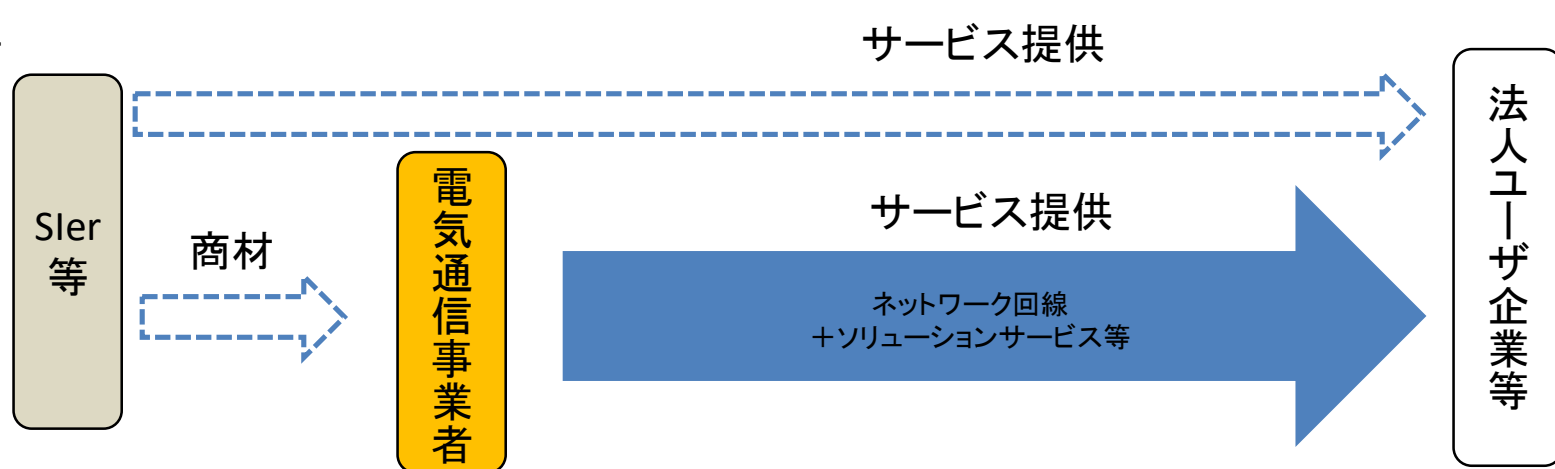
	サービス例(提供事業者)
ネットワークサービス	法人向け固定電話(NTT東西、KDDI、ソフトバンク、NTTコム等)
	法人向けWANサービス(NTT東西、KDDI、ソフトバンク、NTTコム、富士通等)
	法人向け携帯電話(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、NTTコム、富士通等)
	IoTサービス(NTT東西、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、NTTコム、富士通等)
	その他(5GSAを活用した映像伝送(KDDI)等)
ソリューションサービス	オフィスまるごとサポート ITサポート&セキュリティ(NTT東)等
	マネージド ゼロトラスト(KDDI)等
	BXO Professional Consulting & Support(NTTデータ)等
	安全運転支援サービス「くるみえ」(NEC)等

- 法人向けサービスの提供形態としては、
 - ① 電気通信事業者が、SIer等の再販事業者にネットワーク回線を提供し、当該再販事業者が、法人ユーザ企業等にサービスを提供する、再販型
 - ② 電気通信事業者自身が、法人ユーザ企業等に対しサービスを提供する、直販型（必要に応じて、SIer等が同法人ユーザ企業等にサービスを別途提供したり、当該電気通信事業者が商材を調達し、法人ユーザ企業等に提供することもある）
- の2つの提供形態に整理できる。

①再販型



②直販型

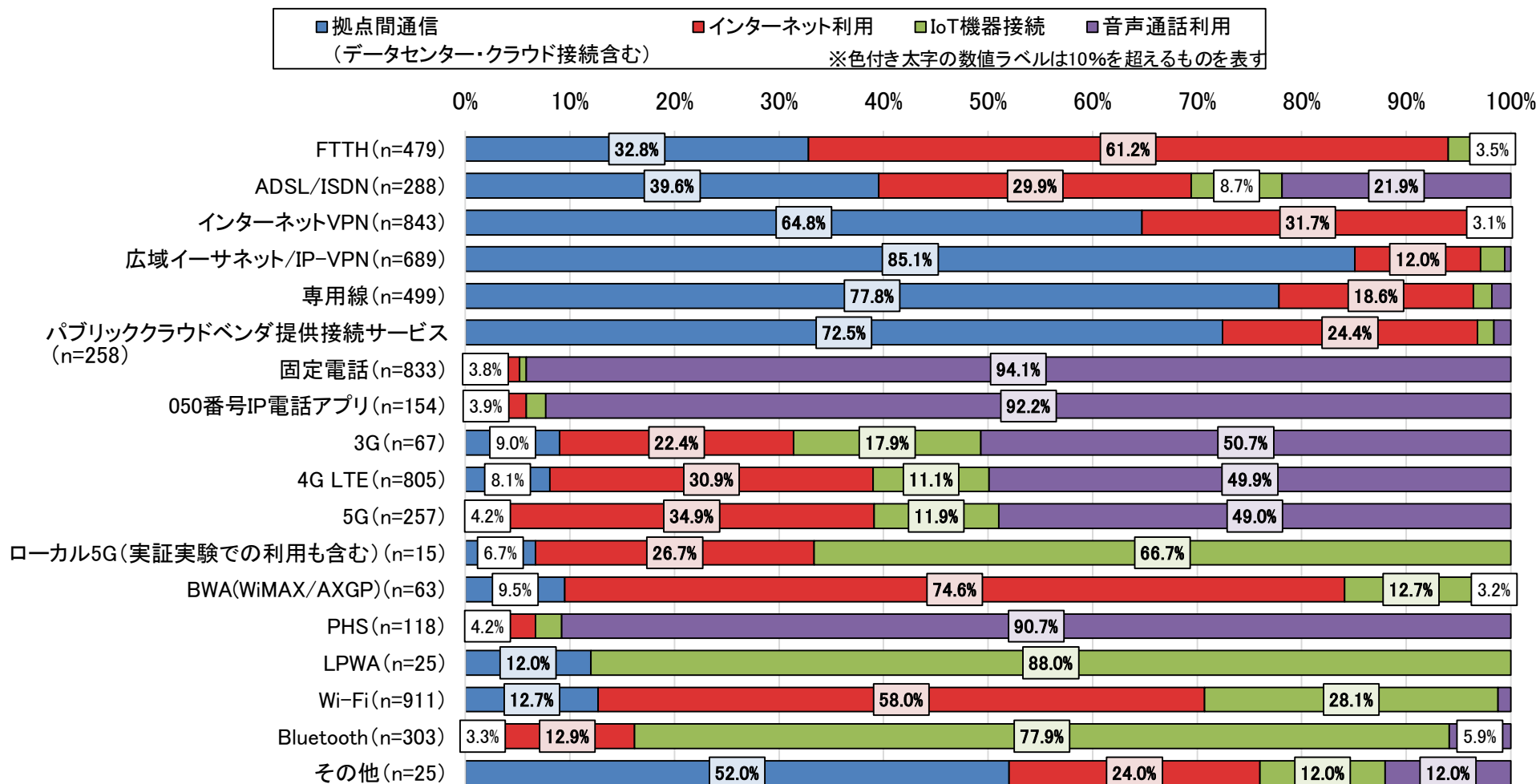


- 法人向けサービス市場における事業者間競争の状況について、需要者側の認識に基づいた分析を行うため、まず、法人向けサービスの用途を切り口に、市場を分けて分析した。具体的には、まず、「拠点間通信」、「インターネット利用」、「IoT機器接続」及び「音声通話利用」という用途ごとに、需要者から選ばれているネットワーク回線について、分析を行った結果、以下のとおりである。
- 令和4年度市場検証においては、法人向けサービス市場全体の動向を整理・分析する目的で市場を画定することとし、同じ用途に対しては、各回線が代替的であるとみなし、同一商品の市場にあるとみなすとはどうか(ただし、厳密な意味での個別の市場画定を行うには、利用可能なサービスの種類・機能等の内容面の特徴、音質・画質・通信速度・セキュリティレベル等の品質、使用可能言語・使用可能端末等の利便性などを考慮する必要があることに留意が必要。)

用途	ネットワーク回線の種類※
拠点間通信 (データセンター・クラウド接続含む)	FTTH、ADSL/ISDN、インターネットVPN、広域イーサネット/IP-VPN、専用線、パブリッククラウドベンダ提供サービス、LPWA、Wi-Fi
インターネット利用	FTTH、ADSL/ISDN、インターネットVPN、広域イーサネット/IP-VPN、専用線、パブリッククラウドベンダ提供サービス、3G、4G、5G、ローカル5G、BWA、Wi-Fi、Bluetooth
IoT機器接続	3G、4G、5G、ローカル5G、BWA、LPWA、Wi-Fi、Bluetooth
音声通話利用	ADSL/ISDN、固定電話、050、3G、4G、5G、PHS

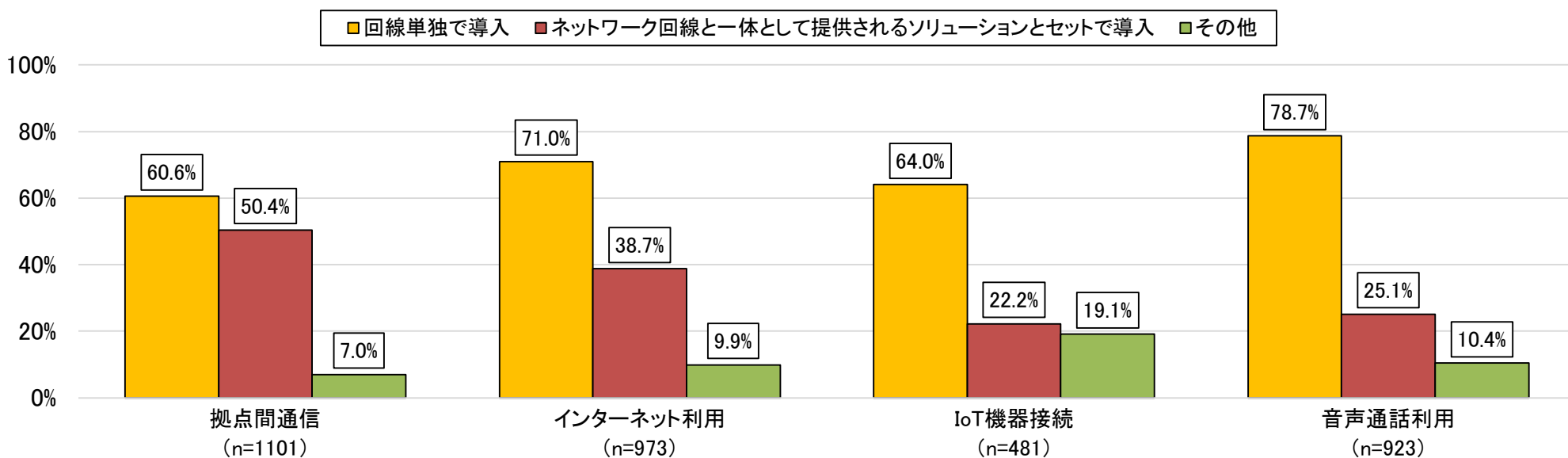
※ネットワーク回線の種類別に、用途ごとに、どの程度の需要者が利用しているかを分析し、需要者の10%以上が利用していると回答した回線を記載している。

- 「FTTH」や「BWA」、「Wi-Fi」はインターネット利用、「ローカル5G」や「LPWA」、「Bluetooth」は「IoT機器接続」が主な用途となっている。



- さらに、用途ごとに画定した商品の範囲について、調達方法(回線単独で導入、ネットワーク回線と一体として提供されるソリューションとセットで導入等)の観点から分析すると、以下の特徴が見受けられる。
 - 拠点間通信の用途では、回線単独での導入と、ソリューションとセットで導入する割合が近接している一方、インターネット利用、IoT機器接続、音声通話利用の用途では、回線単独での導入を行う需要者の割合が多い。
- 同じ用途内であっても、調達方法の違いにより、競争事業者の範囲等にどのような影響があるか、分析を行うため、市場の分析を行うに当たり、以下の8種類の市場に分け、分析を行う。

	拠点間通信	インターネット利用	IoT機器接続	音声通話利用
回線単独	市場①-1	市場②-1	市場③-1	市場④-1
SLとセット	市場①-2	市場②-2	市場③-2	市場④-2



※各用途は複数回線種別において一つでも同用途として利用していると回答したものを対象に集計

出所: 2022年度事業者アンケート(市場検証会議)

市場	主要事業者のサービス例
市場①－1 (拠点間通信・回線単体)	フレッツVPN(NTT東西) WANサービス(富士通)
市場①－2 (拠点間通信・SLとセット)	オフィスまるごとサポート ITサポート&セキュリティ(NTT東) オフィスプライムサポート(NTT西) ゼロトラストセキュリティ構築・運用サービス(富士通)
市場②－1 (インターネット利用・回線単体)	フレッツ光(NTT東西) SmartInternet(ソフトバンク)
市場②－2 (インターネット利用・SLとセット)	SASEソリューション(NTTコム) FENICS ビジネスSDN(富士通)
市場③－1 (IoT機器接続・回線単体)	KDDI IoT 通信サービス LTE/LPWA(KDDI) IoT回線単体プラン(ソフトバンク)
市場③－2 (IoT機器接続・SLとセット)	安全運転支援サービス「くるみえ」(NEC) ウォークスルー店舗(無人決済)(NTTデータ)
市場④－1 (音声通話利用・回線単体)	おとく光電話(ソフトバンク株式会社) KDDI光ダイレクト(KDDI株式会社)
市場④－2 (音声通話利用・SLとセット)	あんしんマネージャー/NEXT(NTTドコモ) オフィスリンク(NTTドコモ)

- 8種類の市場において、需要者による調達先候補に係る回答を分析した結果、いずれの市場においても、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)、国内SIer、PaaS/IaaS事業者、及びデータセンター事業者が、調達先候補として選ばれていることが確認された。
- したがって、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)、国内SIer、PaaS/IaaS事業者、及びデータセンター事業者が、各市場における競争事業者の範囲と考えることができるのではないかと。また、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)だけでなく、国内SIer、Paas/Iaas事業者といった、他のレイヤーの事業者が競争事業者の範囲に含まれていることから、レイヤーをまたいだ競争が行われている可能性があるのではないかと。
- また、調達先候補として需要者から認識されている割合が多いのは、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)及び国内SIerである。それを踏まえると、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)と国内SIerは、少なくとも、8種類の市場において、主要な競争事業者であると考えられるのではないかと。

	該当数	(国内の電気通信事業者)	(海外の電気通信事業者)	国内ITコンサルティング	海外ITコンサルティング	(国内IT/ES/DC/IE/TA/日立・富士通)	(外資IT/BS/MI/HR/PEなど)	その他	データセンター事業者	その他
全体	1272	55.7	2.8	7.0	1.5	47.1	4.3	19.3	19.7	5.8
①-1: 拠点間通信×回線単体	667	63.9	3.7	7.2	1.6	46.0	4.2	21.4	20.7	5.4
①-2: 拠点間通信×SLとセット	555	56.6	2.5	7.6	0.9	57.8	4.7	22.5	22.5	4.5
②-1: インターネット利用×回線単体	691	62.7	3.6	7.7	1.6	48.8	4.3	21.3	20.7	4.9
②-2: インターネット利用×SLとセット	377	53.3	1.6	8.2	1.3	54.4	6.6	25.5	24.9	3.7
③-1: IoT機器接続×回線単体	308	64.3	3.2	5.2	1.6	50.3	4.2	21.8	22.7	5.5
③-2: IoT機器接続×SLとセット	107	67.3	0.9	7.5	0.0	61.7	5.6	24.3	24.3	1.9
④-1: 音声通話利用×回線単体	726	61.6	3.9	7.3	1.5	50.3	5.0	22.5	21.5	5.1
④-2: 音声通話×SLとセット	232	59.5	2.2	7.3	1.3	52.6	8.2	28.9	24.1	1.7

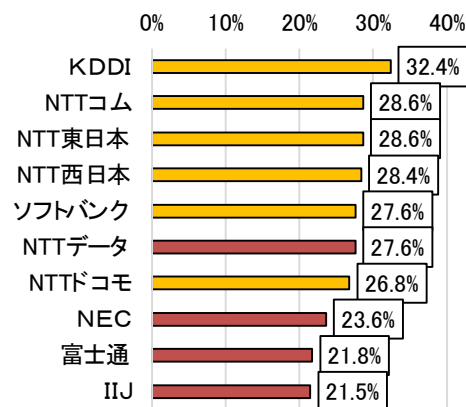
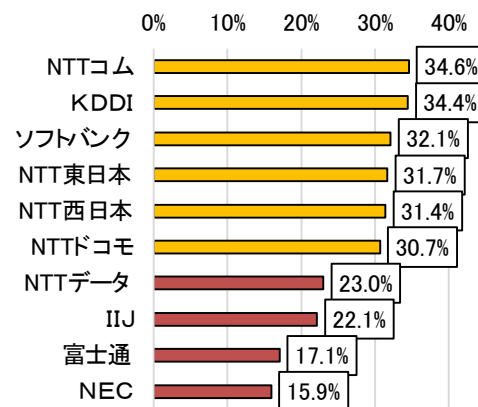
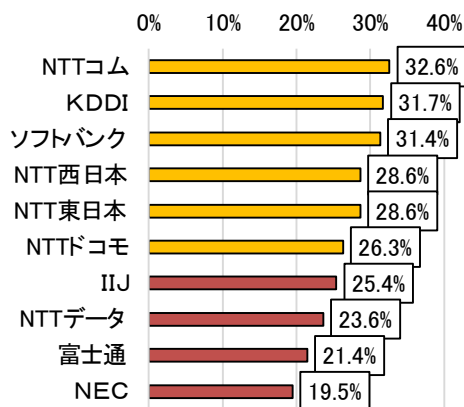
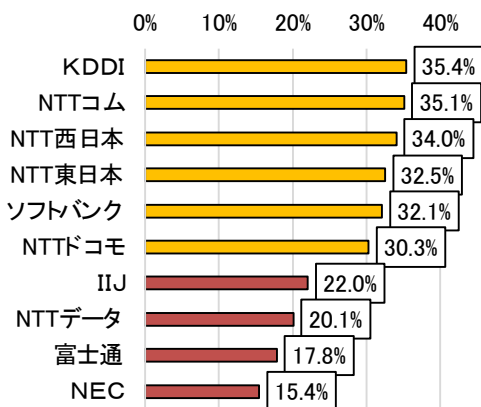
- 8種類の市場において、需要者の調達先候補として選ばれた割合の高い、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)及び国内SIerについて、需要者から調達先候補として選択された数が多い上位10者を分析すると、以下のとおりであった。
- 用途等にかかわらず、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)が、国内SIerより選ばれた割合が高く、上位を占め、需要者から調達先候補として強く認識されている(下記、グラフにおいて国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)は黄色、国内SIerは赤)。

●①-1: 拠点間通信×回線単体(n=667)

●①-2: 拠点間通信×SLセット(n=555)

●②-1: インターネット利用×回線単体(n=691)

●②-2: インターネット利用×SLセット(n=377)

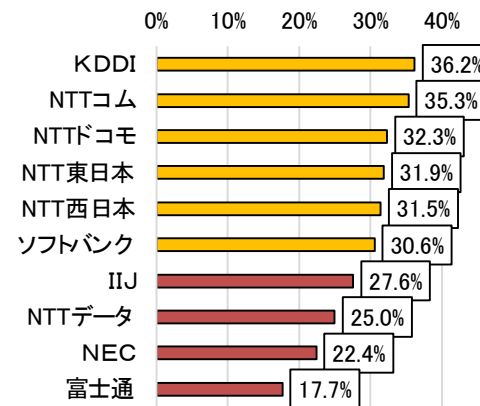
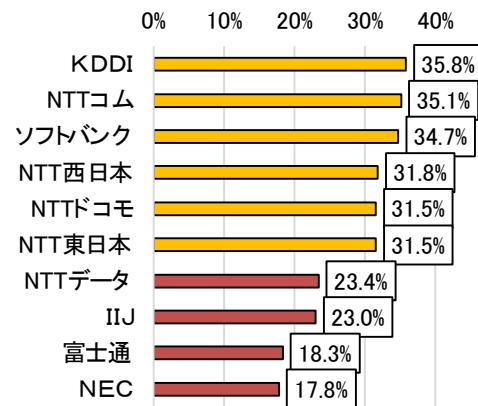
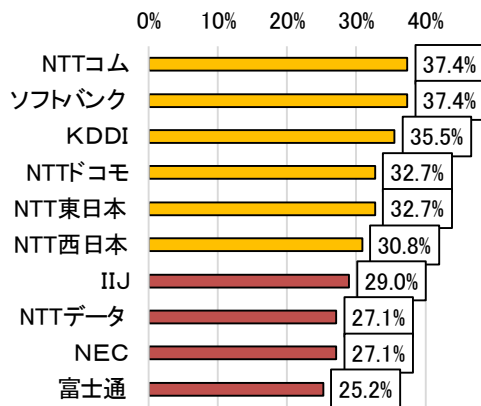
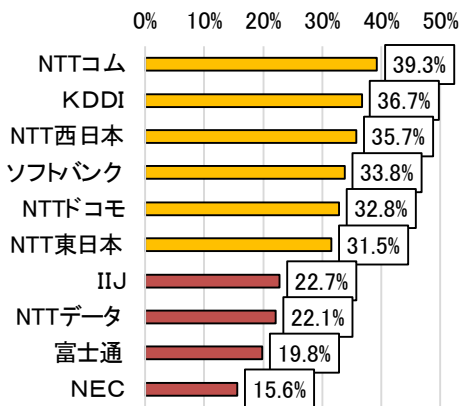


●③-1: IoT機器接続×回線単体(n=308)

●③-2: IoT機器接続×SLセット(n=107)

●④-1: 音声通話×回線単体(n=726)

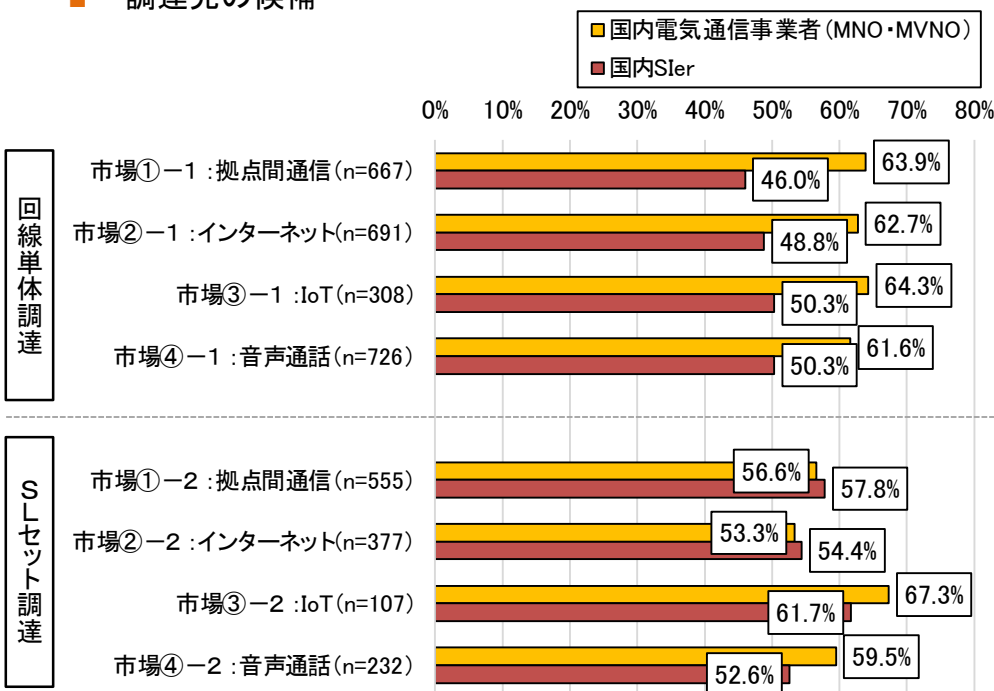
●④-2: 音声通話×SLセット(n=232)



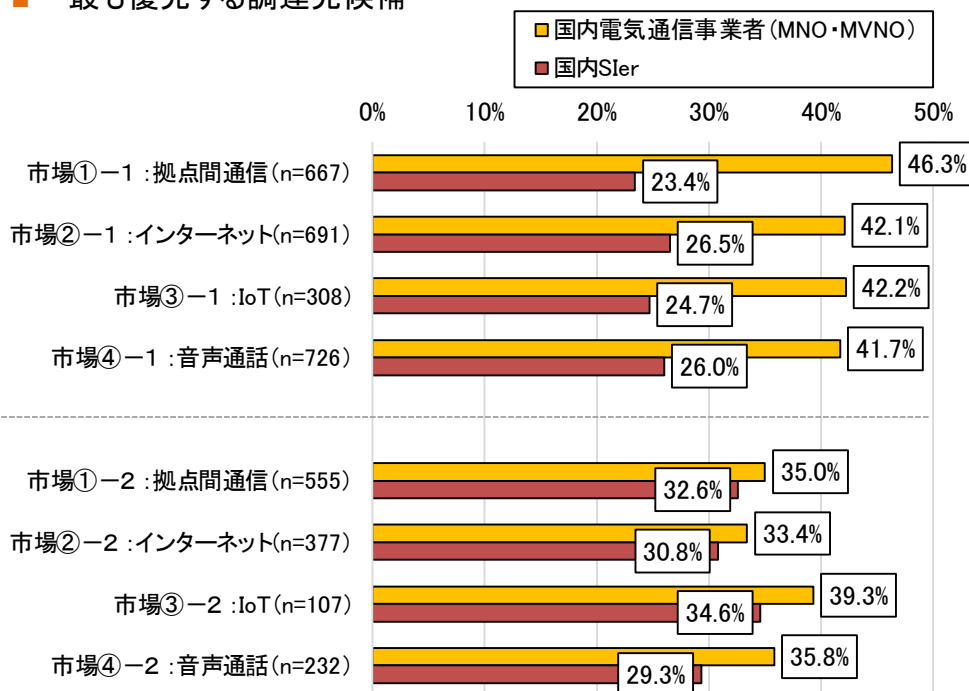
※IIJは国内電気通信事業者または国内SIerとして選択された回答数を合算(重複排除)して集計している

- 調達先候補として回答される割合が高い、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)、国内SIerについて、**需要者が調達先候補を複数した場合、最も優先する調達先を1つのみ選択した場合を比較した結果、以下の特徴が見受けられる。**
 - 調達先の候補を複数選択させると、SLとセットで調達される「拠点間通信」(市場①-2)及び「インターネット利用」(市場②-2)用途については、国内SIerを選ぶ需要者の割合の方が、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)より多く、他の市場においては、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)を選ぶ需要者の割合の方が、国内SIerより多い。
 - 最も優先する調達先を1つのみ選択させると、いずれの市場においても、調達方法にかかわらず、国内SIerよりも、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)が選ばれる割合が高い。
- 以上を踏まえると、国内SIerは需要者にとって調達先候補として認識されているものの、いずれの市場においても、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)の方が調達先候補の中でより優先される傾向にあるのではないかと考えられる。

■ 調達先の候補

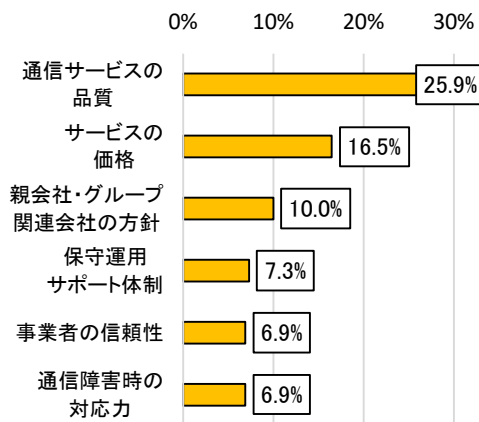


■ 最も優先する調達先候補

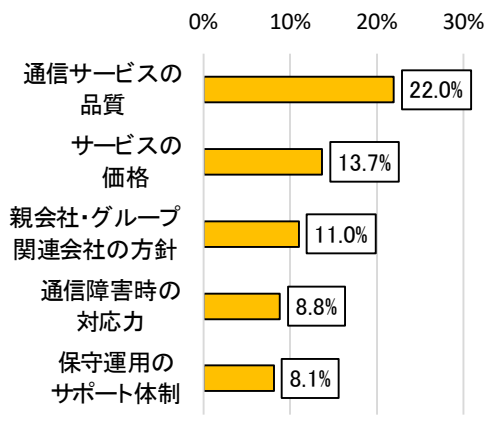


- 8種類の市場別に、調達先決定の際に重視する点の上位5位を分析すると、いずれの市場においても、「通信サービスの品質」や「サービスの価格」が上位に入っている。
- 一方、「調達先事業者の総合的な事業能力」、「知名度・ブランド力」、「海外事業との連携状況」、「海外事業での顧客サポート力」などは上位5位に含まれておらず、重視する比率は低い。

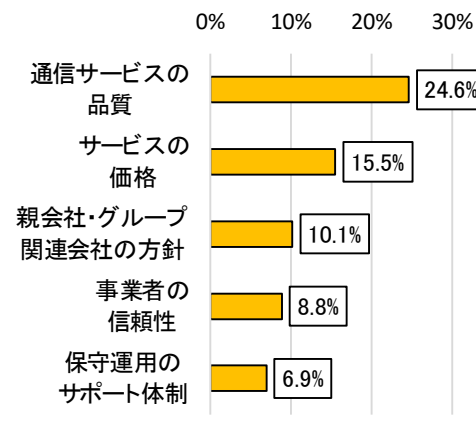
●①-1: 拠点間通信×回線単体(n=667)



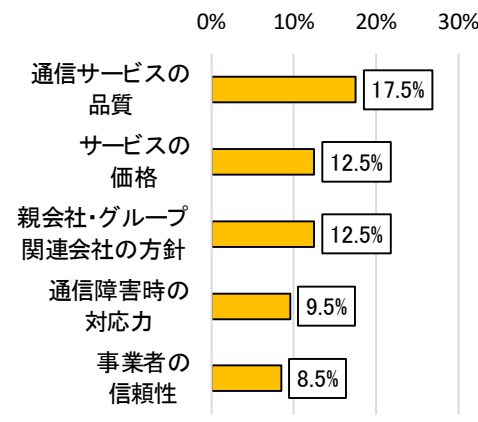
●①-2: 拠点間通信×SLセット(n=555)



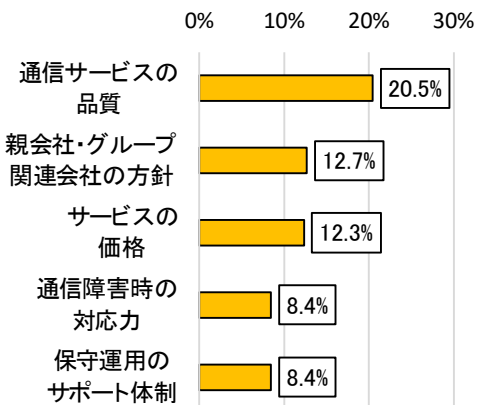
●②-1: インターネット利用×回線単体(n=691)



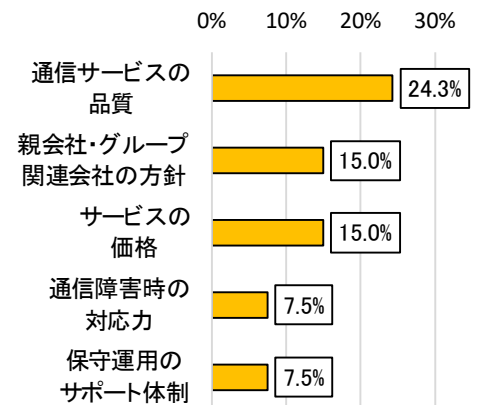
●②-2: インターネット利用×SLセット(n=377)



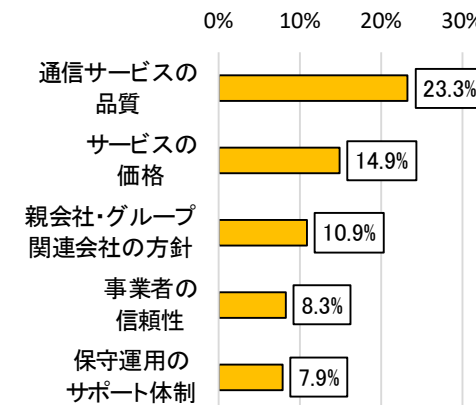
●③-1: IoT機器接続×回線単体(n=308)



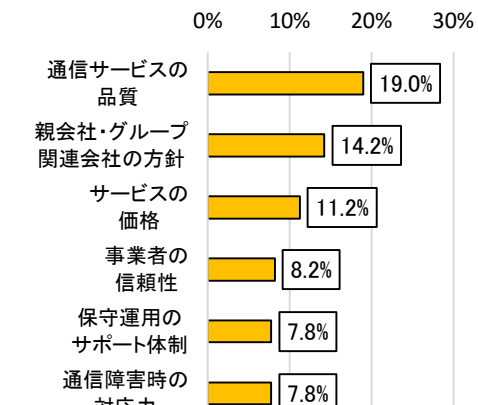
●③-2: IoT機器接続×SLセット(n=107)



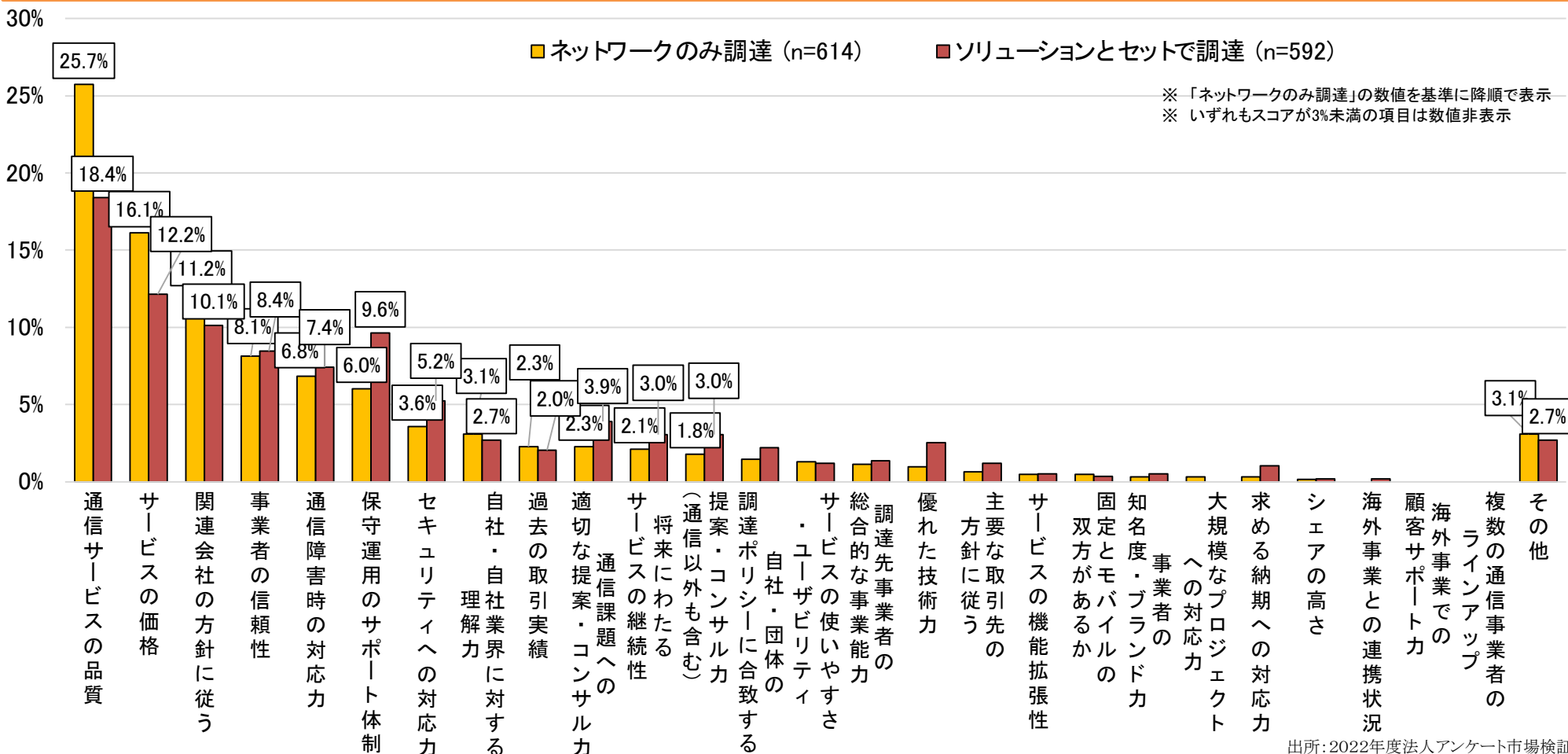
●④-1: 音声通話×回線単体(n=726)



●④-2: 音声通話×SLセット(n=232)

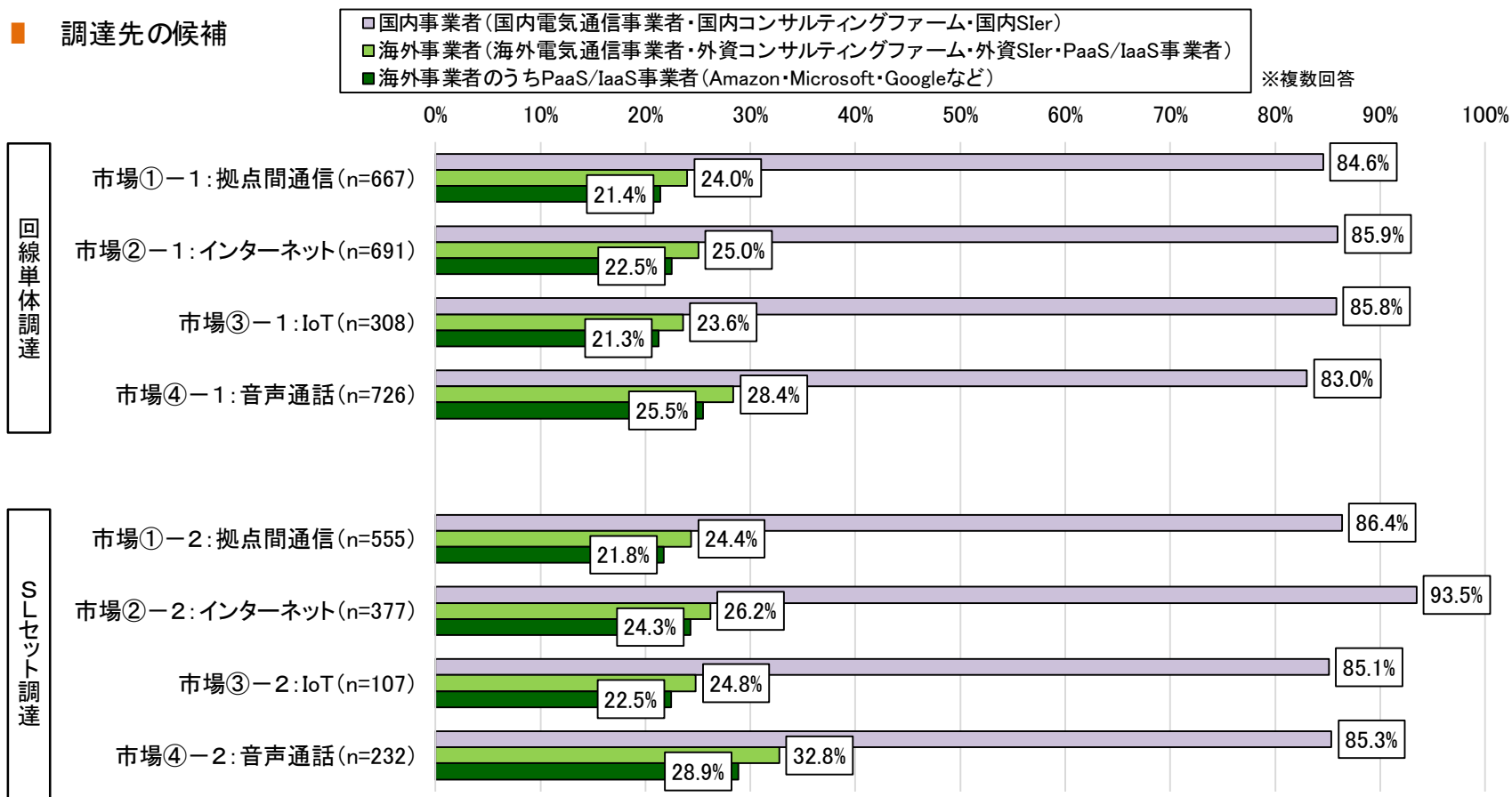


- ネットワーク調達パターン別に調達先の重視点を見ると、ネットワークのみ調達する企業等はソリューションとセットで調達する企業等に比べて「通信サービスの品質」や「サービスの価格」をより重視している。
- 一方、ソリューションとセットで調達する企業等はネットワークのみ調達する企業等に比べて「保守運用のサポート体制」や「セキュリティへの対応力」、「通信課題への適切な提案・コンサル力」など通信に付随するソリューションをより重視している。
- 「調達先事業者の総合的な事業能力」、「知名度・ブランド力」、「海外事業との連携状況」、「海外事業での顧客サポート力」などを重視する比率は低い。

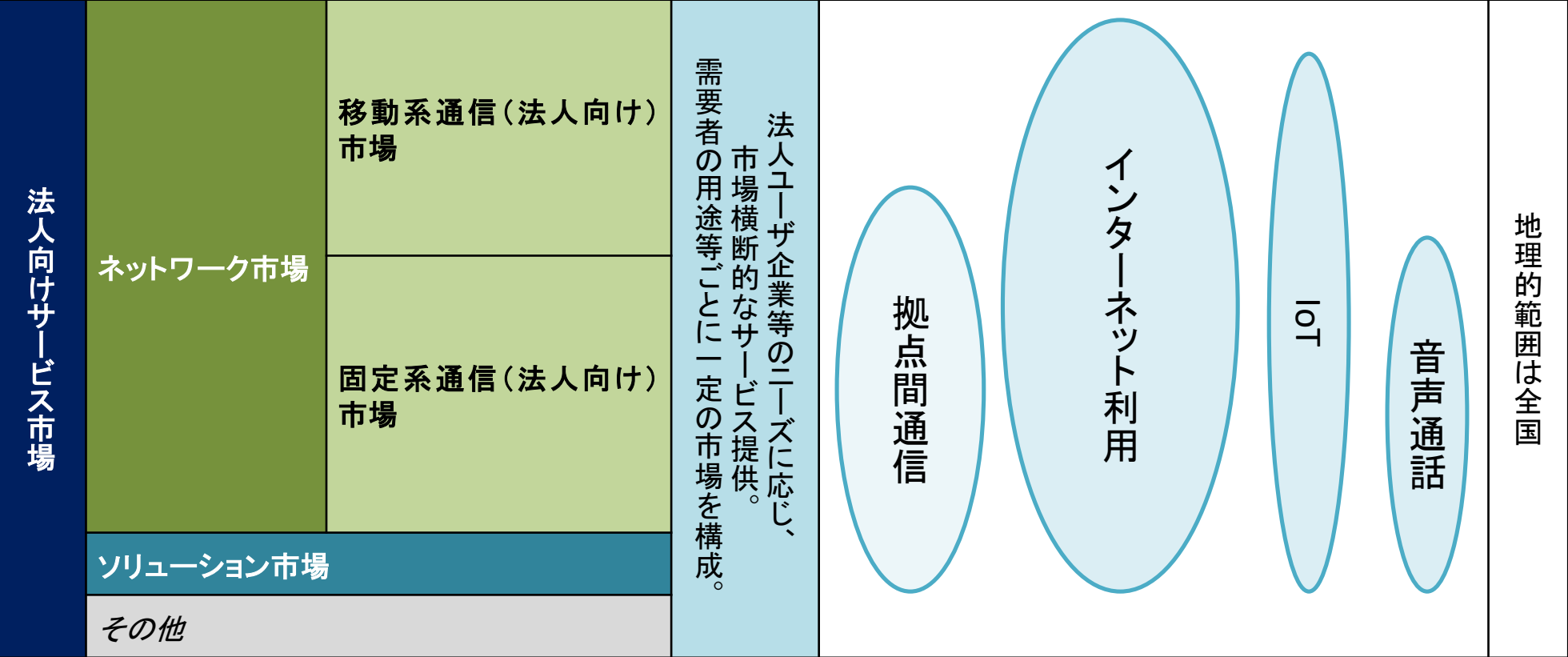


- 8種類の市場について、需要者が選択した調達先候補を国内・海外に分けることで、事業者間競争の地理的範囲の分析を試みたところ、以下のとおりであった。
 - いずれの市場においても、国内事業者を選択する需要者が8割を超えており、海外事業者よりも圧倒的に多い。
 - 海外事業者の内訳を確認すると、Paas/IaaS事業者 (Amazon, Microsoft, Googleなど) が、その大半を占めている。
- 以上を踏まえると、8種類の市場について、地理的範囲としては、現時点では、国内市場を想定することが適切であるものの、Paas/IaaS事業者 (Amazon, Microsoft, Googleなど) の動向には注視する必要があるのではないか。

■ 調達先の候補



- 令和4年度の検証を踏まえると、法人向けサービスについては、以下の特徴があることが分かり、それに基づくと、以下のとおり、市場画定を行うことができるのではないかと考えられる。
 - 用途ごとに、需要者が選択する回線の範囲が異なり、用途によっては、移動系通信・固定系通信の双方が候補となっている。法人ユーザ企業等のニーズに応じ、市場横断的なサービス提供されており、需要者の用途等ごとに一定の市場を構成している。
 - 調達方法ごとの違いについて分析を行ったところ、競争事業者の範囲に違いはなく、調達先決定の際に重視する点についても大きな違いがなかった。それを踏まえると、必ずしも調達方法により、市場が細分化されているとはまではいえない。
 - 法人向けサービス市場においては、国内の電気通信事業者(MNO・MVNO)及び国内SIerが主要な競争事業者であり、地理的範囲は全国と考えることが適当。ただし、Paas/Iaas事業者(Amazon, Microsoft, Googleなど)の動向には注視が必要。



參考資料

利用者アンケート(移動系・固定系)について

- 市場動向の分析として定点的に観測する指標のうち、事業者のサービス間の代替性に関する指標を補完するものとして、利用者アンケートを実施。
- 各事業者のサービスをどの程度代替的と捉えているか、どのようなサービスの利用意向を持っているかなど、報告規則に基づく報告内容等では確認できない利用者の認識・利用意向について把握。

アンケート対象者	固定インターネットサービス (FTTH、CATV、ADSL又はSoftBank Air等の固定設置型ワイヤレスルータのいずれか) 及び移動系通信の利用者 (有効回答数: 6,000人※)
実施方法	インターネット調査 (民間事業者に委託)
実施期間	第1回調査 (移動系通信): 令和4年12月27日～令和5年1月5日 第2回調査 (固定系通信): 令和5年1月6日～令和5年1月10日

※6,000人のうち、固定ブロードバンドを利用する者 (5,503人) が第1回調査 (移動系通信) 及び第2回調査 (固定系通信) の両方に回答している。このほか、移動系通信のみを利用し、固定ブロードバンドを利用しない者 (497人) が、第1回調査 (移動系通信) のみに回答している。

共通設問

- F1 あなたの性別をお答えください。(SA)
- F2 あなたの年齢をお答えください。/歳(NU)
- F3 お住まいの都道府県をお答えください。(SA)
- F4 同居人数をお答えください。(SA)
- F5 居住形態についてお答えください。(SA)
- F6 あなたの職業をお答えください。(SA)
- F7 お勤めの会社(団体など)の業種について、最も当てはまるものをお答えください。(SA)
- F8 あなたの世帯年収について当てはまるものをお選びください。(SA)
- F9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、あなたの世帯年収に変化がありましたか。(SA)
- F10 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、あなたの世帯年収にどの程度変化がありましたか。(SA)

移動系通信

- IQ1 現在契約している携帯電話事業者・サービスの回線数について当てはまるものを1つお答え下さい。(SA)
- IQ2 現在利用している携帯電話端末の台数について当てはまるものを1つお答え下さい。(SA)
- IQ3_1 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)複数のサービスを契約している場合は、メインで利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- IQ3_2 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)複数のサービスを契約している場合は、サブ(2台目)として利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- IQ4 複数の携帯電話事業者・サービスをどのように携帯電話端末で利用しているかについて当てはまるものを1つお答え下さい。(SA)
- IQ5 複数の携帯電話事業者・サービスを契約している理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ6 現在契約している携帯電話事業者・サービスでの通常SIMカード/eSIMの利用状況について当てはまるものを1つお答え下さい。(MXSA)
- IQ7_1 現在メインで利用している携帯電話事業者の利用年数はどの程度ですか。(SA)
- IQ7_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者の利用年数はどの程度ですか。(SA)
- IQ8_1 以前メインとして利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ8_2 以前サブ(2回線目)として利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ9 以前利用していた携帯電話事業者・サービスから現在契約している携帯電話事業者・サービスへの変更方法について当てはまるものを1つお答え下さい。(MXSA)
- IQ10_1 現在メインで利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在メインとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ10_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在サブとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ11_1 現在メインで利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ11_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ12 あなたが店舗等ではなく、インターネット(オンラインショップ、通信販売など)で申込み又は契約を行った理由として当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ13_1 あなたがメインで利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがメインで利用している端末についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ13_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがサブ(2回線目)として利用している端末についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)

移動系通信(続き)

- IQ14_1 現在メインで利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- IQ14_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- IQ15_1 現在メインで利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ15_2 現在サブ(2回線目)として利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ16 携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスとのセット割を現在利用している場合、仮にそのセット割がなくなったとして、携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスの事業者を変更しますか。
- IQ17 携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスとのセット割を現在利用していない場合、セット割を利用していない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ18 携帯電話サービスと固定インターネットサービスとの用途を使い分けしていますか。以下の各項目について、携帯電話サービスを通じて主に利用しているか、固定インターネットサービスを通じて主に利用しているか、そもそも利用等をしていないか、それぞれお答えください。(SA)
- IQ19_1 あなたがメインで利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ19_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ20_1 現在メインで利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。／契約事務手続き／料金／通信速度・品質／データ通信容量／アフターサポート／契約・問合せ窓口の対応(SA)
- IQ20_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。／契約事務手続き／料金／通信速度・品質／データ通信容量／アフターサポート／契約・問合せ窓口の対応(SA)
- IQ21_1 現在メインで利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ21_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ22_1 現在メインで利用している携帯電話端末について当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ22_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話端末について当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ23_1 現在メインで利用している携帯電話端末の購入金額(割賦支払いの場合は合計した総支払額)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ23_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話端末の購入金額(割賦支払いの場合は合計した総支払額)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ24_1 以前メインで利用していた携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ24_2 以前サブ(2台目)として利用していた携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ25 携帯電話サービスの利用に応じて貯まるポイントのうち、最も利用頻度の高いポイント(カード)を1つお答えください。(SA)
- IQ26 【IQ25で回答したポイント】は、現在利用している携帯電話サービスを利用開始する前から利用していましたか。(SA)
- IQ27 【IQ25で回答したポイント】が仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(SA)
- IQ28 携帯電話(端末)を活用した以下の決済サービスを利用していますか。最もよく利用する決済サービスを1つお答えください。(SA)
- IQ29 【IQ28で回答したサービス】は、現在利用中の携帯電話サービスを利用開始する前から利用していましたか。(SA)
- IQ30 現在利用中の携帯電話サービスにおいて、【IQ28で回答したサービス】の利用が仮にできなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(SA)
- IQ31 第5世代移動通信(5G)サービスの提供が開始されましたが、現時点において、第5世代移動通信サービスへの切り換え時期についてどのようにお考えですか。(SA)
- IQ32 5Gサービスへの切り替えをすぐにはしないこととしている理由について当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ33 アプリケーションの無料通話等、サービス自体に固有の電話番号が与えられない音声通話アプリケーションについてお聞きます。以下のうち、現在利用している音声通話アプリケーションをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ34 携帯電話サービスにおける通話との使い分けをしていますか。使い分けをしている場合、どのように使い分けしていますか。(MXSA)

移動系通信(続き)

- IQ35 メッセンジャーアプリについてお聞きします。以下のうち、現在、利用しているメッセンジャーアプリをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ36 携帯電話サービスにおけるメール(キャリアメール・フリーメール)との使い分けをしていますか。使い分けをしている場合、どのように使い分けしていますか。(MXSA)
- IQ37 SNSサービスの利用についてお聞きします。以下のうち、現在、利用しているSNSサービスをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ38 音楽配信サービスの利用についてお聞きします。以下のうち、現在、利用している音楽配信サービスをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ39 有料動画配信サービスの視聴についてお聞きします。以下のうち、現在、視聴している有料動画配信サービスをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの視聴時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ40_1 あなたがメインで利用している携帯電話サービスの1か月あたりのデータ通信量(Wi-Fi接続は含まず、携帯電話回線のデータ通信のみについてお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ40_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの1か月あたりのデータ通信量(Wi-Fi接続は含まず、携帯電話回線のデータ通信のみについてお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ41 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスの契約を何らかに変更しましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ42 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスに関する認識・行動等において何らかの変化がありましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ43 円安・物価高騰により、携帯電話サービスの契約や携帯電話端末購入で何らかの変更しましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ44 円安・物価高騰により、携帯電話サービスや携帯電話端末に関する認識・行動等において何らかの変化がありましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ45_1 仮にあなたが現在メインで利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ45_2 仮にあなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ46 【IQ45_1で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ47 【IQ45_2で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ48 【IQ45_1で回答したサービス】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ49 【IQ45_2で回答したサービス】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)

固定系通信

- KQ1 現在、ご自宅で利用している固定インターネットサービスとして当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ2 現在利用中のプラン速度をお答えください。(SA)
- KQ3 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者のサービスを継続して何年程度利用していますか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ4 現在利用中の光回線(FTTH)を提供する事業者から、FTTHサービスとのセットで他のサービス(携帯電話サービスを除く)の提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- KQ5 現在利用中の光回線(FTTH)とセットで提供を受けているサービス(携帯電話サービスを除く)の利用を開始した時期について当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ6 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者と契約した際のことについてお伺いします。あなたが現在利用している固定インターネット回線(事業者)を選択した理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ7 現在利用している固定インターネット回線(事業者)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)各~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。／契約事務手続き／料金／通信速度・品質／データ通信容量／工事の有無／アフターサポート／契約・問合せ窓口の対応(SA)
- KQ8 現在利用している固定インターネット回線(事業者)以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ9 現在お使いの【KQ1で回答したサービス】の月額利用料(税込)について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ10 仮に、現在利用中の事業者の固定インターネット回線が利用できなくなった場合、他のどの事業者(サービス)を利用したいと考えますか。(SA)
- KQ11 【KQ10で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ12 【KQ10で回答したサービス】に現時点において切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ13 これまで、固定インターネット回線、または事業者を変更したことがありますか。また、変更したことがある場合は、現在の固定インターネット回線、事業者をお使いになる直前に、どの固定インターネット回線、事業者を利用していましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ14 前問でお答えいただいた直近の事業者の変更は、どのような理由によるものですか。最も当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ15 現在、ご自宅で契約している固定電話サービス(「050」から始まる番号を利用するIP電話(固定電話器を用いて通話するもの)を含みます。)のうち、当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ16 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスの契約を何らかに変更しましたか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ17 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスに関する認識・行動等において何らかの変化がありましたか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ18 円安・物価高騰により、固定インターネットサービスの契約やオプションなど何らかの変更しましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- KQ19 円安・物価高騰により、固定インターネットサービスの契約やオプションなどに関する認識・行動等において何らかの変化がありましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)

事業者アンケートについて

- 市場動向の分析及び業務の適正性確認の一環として、電気通信事業者らに対するアンケートを以下のとおり実施。

<p>対象者</p>	<p>【電気通信事業分野における市場動向の分析関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電気通信市場全体 <ul style="list-style-type: none"> ・移動系通信(55者):MNO事業者(7者)、SIMカード型契約数が5万以上のMVNO事業者(32者※)、その他(17者) ※MNOと重複あり(1者) ・固定系通信(50者):自己設置又は接続の契約数10万以上の事業者(21者)、回線の卸提供を受ける契約数が3万以上の事業者(28者)、その他(1者) ○法人向けサービス: <ul style="list-style-type: none"> 上記「電気通信市場全体」対象者(移動系通信:55者、固定系通信:50者)及びSIer/ベンダー ○(法人向けサービスのうち)ローカル5G: <ul style="list-style-type: none"> 上記「電気通信市場全体」対象者(移動系通信:55者、固定系通信:50者)及びSIer/ベンダー ○研究開発競争の状況の把握: <ul style="list-style-type: none"> NTT、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル <p>【電気通信事業者の業務の適正性等の確認関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制対象事業者:NTT東西、NTTドコモ ・その他の事業者:上記3者以外のアンケート(電気通信市場全体)対象者(移動:54者、固定:48者)
<p>実施方法</p>	<p>総務省において実施</p>
<p>実施期間</p>	<p>令和4年12月7日～令和5年1月10日</p>

電気通信市場
全体

- ① FTTH(小売・卸売)、ISP、移動通信(小売・卸売)、その他のそれぞれの市場における競争状況に関して、最近(直近1~2年程度)変化を感じる事項
- ② FTTH(小売・卸売)、ISP、移動通信(小売・卸売)、その他のそれぞれの市場における公正な競争を確保する上での課題

法人向けサービス

- ① 各社における法人向けサービスの概要(セグメント別*の契約数、売上高、主なサービス内容、他事業者との連携)
*:法人向けネットワークサービス(法人向け移動系通信サービス、法人向け固定系通信サービス)、ソリューションサービス、その他
- ② 法人向けサービスにおける事業者間競争に関する現状認識
- ③ ソリューション市場等の隣接市場からネットワーク市場への公正競争上の懸念

ローカル5G
(法人向けサービスのうち)

- ① ローカル5Gの主な活用事例(代表的な活用領域ごと)
- ② ローカル5G事業におけるNTT東西、NTTドコモ、NTTコムとの連携状況等
- ③ NTTドコモ以外のMNOとローカル5G事業者や、地域BWA事業者と全国BWA事業者の連携状況等
- ④ ローカル5G市場における公正な競争を確保するうえでの課題等

研究開発競争の
状況の把握

- ① 各社における研究開発の概要(昨年度からのアップデート)
- ② 各社における共同研究開発の現状や異業種連携の現状(昨年度からのアップデート)
- ③ NTT持株における基礎研究とNTTドコモ等の行う応用研究との関係(昨年度からのアップデート)
- ④ NTT持株における基礎研究に係る各社の拠出額

法人向けサービスのユーザ企業等アンケートについて

- 市場動向の分析として定点的に観測する指標のうち、法人向けサービスをめぐる政策対応を検討する際の前提として、法人サービスの実態把握に関するアンケートを実施。
- 各民間企業・自治体のICT投資額、サービス利用状況、ネットワーク回線種別・用途、法人向けサービス利用状況などについて把握する。

アンケート対象者	従業員数300人以上の民間企業:9,500社 都道府県+東京都特別区+政令指定都市+人口10万人以上の自治体(市):331団体 (有効回答数:民間企業1,149社、自治体:123団体)
実施方法	インターネット調査(民間事業者に委託)
実施期間	令和5年2月1日~3月3日

- Q1 貴社・団体の所在地をご回答ください。(SA)
- Q2 貴社・団体の直近事業年度末における従業員数または職員数をご回答ください。(SA)
- Q3_1 貴社における直近事業年度の年間売上高をご回答ください。(SA)※民間企業のみ
- Q3_2 貴自治体の区分について、あてはまるものをご回答ください。(SA)※自治体のみ
- Q4_1 貴社における直近事業年度の年間営業利益をご回答ください。(SA)※民間企業のみ
- Q4_2 貴自治体の人口について、あてはまるものをご回答ください。(SA)※自治体のみ
- Q5 貴社における直近事業年度末における資本金をご回答ください。(SA)※民間企業のみ
- Q6 貴社の業種をご回答ください。(SA)※民間企業のみ
- Q7 貴社・団体の各年度のICT投資額(※)をご回答ください。(MXSA)※2020年～2024年(予定)について
- Q8 貴社・団体の、2022年度におけるICT投資額のうち、それぞれの項目への投資額を回答してください。(MXSA)
- Q9 貴社・団体において、今後3年間でそれぞれの項目について、ICT投資額はどのように変化すると考えますか。2022年度との比較でご回答ください。(MXSA)
- Q10 今後のICT投資の方針について、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q11 今後のICT投資に当たり、重視するポイントについてあてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q12 貴社・団体に利用されているネットワーク回線の種類をご回答ください。(MA)
- Q13 貴社・団体に利用されているネットワーク回線の種類別の主な用途をご回答ください。(MXSA)
- Q14 貴社・団体に利用されているネットワーク回線について、そのネットワークを選定した理由をご回答ください。(MXMA)
- Q15 現在利用されているネットワークの導入時期について、あてはまるものをご回答ください。(MXSA)
- Q16 ご利用のネットワークで問題となっている点についてあてはまるものをご回答ください。(MXMA)
- Q17 貴社・団体に主に利用している通信回線の障害発生時に備えた対策について、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q18 貴社・団体に、今後新たにご利用を検討されているネットワークについて、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q19 貴社・団体において、ネットワーク回線を検討・導入する際、どのようなパターンで検討・購入しているか最も近いものをご回答ください。(SA)
- Q20 現在利用しているネットワーク回線について、あてはまるものをお答えください。(MXSA)
- Q21 貴社・団体に利用されているネットワークとセットで導入されるソリューションの内容について、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q22 前問でご回答いただいた現在利用されているソリューションの導入時期について、あてはまるものをご回答ください。(MXSA)
- Q23 ご利用のソリューションで問題となっている点についてあてはまるものをご回答ください。(MXMA)
- Q24 貴社・団体に、今後新たにご利用を検討されているICTサービス・ソリューションについて、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q25 ネットワーク回線をソリューションとセットで導入していると回答した方にお伺いします。ソリューションの導入案件数は過去1年間(2022年1月～12月)でどの程度であったかお答えください。(SA)
- Q26 過去1年間(2022年1月～12月)におけるネットワーク回線の新規契約数(切り替え含む)について、あてはまるものをご回答ください。(MXSA)
- Q27 貴社・団体における、ネットワーク・回線の調達先事業者候補についてあてはまるものをご回答ください。また、候補として最も優先する調達先もご回答ください。(MA, SA)
- Q28 ネットワーク・回線の調達先候補として国内通信事業者の具体的な事業者名をご回答ください。(MA, SA)
- Q29 ネットワーク・回線の調達先候補として事業者の具体的な事業者名をご回答ください。(MA, SA)
- Q30 ネットワーク・回線の調達先を決定する際に重視する点をご回答ください。また、そのうち最も重視する点をご回答ください。(MXMA)

- Q31 ネットワーク・回線サービスを導入するに当たり、課題となることについて、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q32 ネットワーク・回線の調達先の切り替えの検討有無について、あてはまるものをご回答ください。(SA)
- Q33 ネットワーク・回線の調達先の切り替え経験の有無について、あてはまるものをご回答ください。(SA)
- Q34 ネットワーク・回線の調達先の切り替えを検討した、または実施したと回答の方にお伺いします。その理由について、あてはまるものをご回答ください。(MXMA)
- Q35 ネットワーク・回線の調達先の切り替えに当たり課題となることについて、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q36 ネットワーク・回線の調達価格を抑えるための取り組みについて、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q37 ICTサービス・ソリューションを巡る調達に関する公正競争上の懸念点があればご回答ください。(MA)
- Q38 貴社のネットワークにおいて、近年検討したもの、またその中で実際に実施したものについて、あてはまるものをご回答ください。(MXMA/SA)
- Q39 貴社・団体における拠点間通信として「パブリッククラウドへの接続」とお答えの方にお聞きします。同サービスへの変更方法についてあてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q40 ネットワーク・回線サービスのうち、5Gまたはローカル5Gを利用していると回答した方にお伺いします。5Gまたはローカル5Gを利用するメリットについて、あてはまるものをご回答ください。(MXMA)
- Q41 ネットワーク・回線サービスのうち、5Gまたはローカル5Gを利用していると回答した方にお伺いします。5Gまたはローカル5Gを利用するデメリット(改善を期待する点)について、あてはまるものをご回答ください。(MXMA)
- Q42 セルラー／アンライセンスLPWAを利用について、あてはまるものをご回答ください。(MXMA/SA)
- Q43 NB-IoTを利用したことがあると回答した方にお伺いします。NTTドコモが2020年3月にNB-IoTの提供を終了したことによる、貴社・団体への影響について、あてはまるものをお答えください。(MA)
- Q44 Sigfoxを利用したことがあると回答した方にお伺いします。Sigfox社の経営再建による、貴社・団体への影響について、あてはまるものをお答えください。(MA)
- Q45 貴社・団体における、いわゆる「DX(デジタル・トランスフォーメーション)※」に関する取り組みの状況について、あてはまるものをご回答ください。(SA)
- Q46 IoTの取り組みについてお伺いします。IoTで利用するネットワーク・回線の変更を行う際の問題点について、あてはまるものをご回答ください。(MA)
- Q47 最後に、貴社・団体名、ご担当部署名等をお書きください。(FA)